



令和5年度

横浜市市民協働条例に基づく  
市民協働の取組状況報告書

---

令和6年9月

横浜市

— 目 次 —

1	はじめに	1
2	市民協働の取組状況	2
3	市民協働を推進するための取組	
(1)	市民協働提案事業	4
(2)	市民の皆様への「協働」に関する周知	4
(3)	市職員が「協働」を推進するための取組	6
(4)	中間支援組織の育成	7
(5)	横浜市市民活動推進基金（よこはま夢ファンド）の活用状況	7
(6)	その他の協働を推進するための取組	8
4	横浜市市民協働推進委員会	9
5	協働契約を締結した事業紹介（①～⑩）	10～50
<参考>	横浜市市民協働条例	51～55

【資料編】

各区局における協働事業

(1)	分野ごとの事業数について	資-1
(2)	区役所所管の協働事業<一覧表>	資-2～5
(3)	局所管の協働事業<一覧表>	資-6～9
(4)	区役所所管の協働事業<概要>	資-10～24
(5)	局所管の協働事業<概要>	資-25～36

	協働推進に関する資料	資-37
--	------------	------

# 令和5年度横浜市市民協働条例に基づく 市民協働の取組状況について

## 1 はじめに

「横浜市市民協働条例」は、市民協働に関する基本的事項を定めることにより、市民等が自ら広く公共的又は公益的な活動に参画することを促進し、自主的・自律的な市民社会の形成に資することができるよう、平成25年4月に施行された条例です。

当該条例第20条の規定に基づき、令和5年度の市民協働の取組状況を報告します。

### 【参考】 条例に基づく報告（条例第20条）

第20条 市長は、市における市民協働の取組み状況について、適宜、議会に報告するものとする。

### 【参考】 条例における定義（条例第2条）

第2条 この条例において「市民等」とは、市民、法人、地方自治法（昭和22年法律第67号）第260条の2第1項に定める地縁による団体及びこれらに類するものをいう。

2 この条例において「市民協働」とは、公共的又は公益的な活動及び事業を横浜市（以下「市」という。）と市民等とが協力して行うことをいう。

3 この条例において「市民公益活動」とは、市民等が行う公共的又は公益的な活動をいう。

4 この条例において「市民協働事業」とは、市と市民等が第8条に定める基本原則に基づいて取り組む事業をいう。

5 この条例において「中間支援組織」とは、市と市民等を相互に媒介し、市民等の自立と課題解決を支援するため、市民等のネットワーク化と交流促進、情報収集と提供、相談とコンサルティング、調査研究、人材育成と研修、活動支援と助成又は政策提言等を行う組織をいう。

## 2 市民協働の取組状況

令和5年度において、市民の皆様と本市が市民協働により取り組んだ事業は、266事業です。（区役所所管143事業、局所管123事業）〔詳細は「資料編」をご参照ください。〕

このうち、条例第12条の規定により令和5年度に協働契約を締結した事業は、40事業（69件）です。

＜令和5年度に協働契約を締結した市民協働事業一覧＞ ※全協働契約事業40事業（69件）

・10ページから各事業（①から④⑩）を紹介しています。

番号	事業名	担当区局	件数
①	にしく市民活動支援センター運営事業	西区	1件
②	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ運営事業	南区	1件
③	港南区民活動支援センター運営事業	港南区	1件
④	自治会町内会向けICT活用講座事業	港南区	1件
⑤	保土ケ谷区の「住み良いまちづくり活動」	保土ケ谷区	1件
⑥	星川駅周辺等の魅力づくりに関する事業	保土ケ谷区	1件
⑦	ほどがや市民活動支援センター運営事業	保土ケ谷区	1件
⑧	LINKAI横浜金沢魅力発信事業（新規）	金沢区	1件
⑨	ジモ活～地元で活動・活躍・復活しませんか～	金沢区	1件
⑩	港北水と緑の学校事業	港北区	1件
⑪	わがまち港北映像ライブラリ事業	港北区	1件
⑫	専門アドバイザー伴走型 新しい地域運営スタイル推進事業（新規）	都筑区	1件
⑬	地域づくりステップアップ講座交流事業（新規）	戸塚区	1件
⑭	とつか区民活動センター運営事業	戸塚区	1件
⑮	さかえ区民活動センター運営事業	栄区	1件
⑯	ゆめが丘大規模集客施設開業等関連イベントの実施（新規）	泉区	1件
⑰	瀬谷区寄り添い型生活支援事業	瀬谷区	2件
⑱	循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業	脱炭素・GREEN×EXPO推進局	1件
⑲	脱炭素行動変容促進事業（新規）	脱炭素・GREEN×EXPO推進局	1件
⑳	「SDGsデザインセンター」事業	脱炭素・GREEN×EXPO推進局	1件
㉑	市庁舎低層部を中心とする共創・オープンイノベーション推進事業（新規）	政策経営局	1件
㉒	国際平和推進のための啓発活動協働事業	国際局	1件
㉓	地域の担い手応援事業（協働による地域人材の発掘・育成関連事業）	市民局	12件
㉔	NPO 組織基盤強化ワークショップ協働事業	市民局	1件
㉕	横浜市市民協働推進センター運営事業	市民局	1件
㉖	スタートアップ成長支援業務	経済局	1件
㉗	創業・スタートアップ支援情報発信事業	経済局	1件
㉘	スタートアップ社会実装推進事業	経済局	1件
㉙	イノベーション人材育成事業	経済局	1件
㉚	横浜市イノベーション人材交流促進業務委託事業	経済局	1件
㉛	横浜市中小企業人材確保支援事業	経済局	1件
㉜	ニューノーマル社会における商店街活性化促進プロジェクト事業（新規）	経済局	1件
㉝	地域子育て支援拠点事業	こども青少年局	18件
㉞	生活リスクを抱える女性のための総合相談支援事業	こども青少年局	1件
㉟	横浜市ことぶき協働スペース事業	健康福祉局	1件

③⑥	よこはまウォーキングポイント事業	健康福祉局	1件
③⑦	食品ロス削減・プラスチック対策プロモーション協働事業	資源循環局	1件
③⑧	空家等対策に関する地域活用支援（新規）	建築局	1件
③⑨	横浜市マンション管理組合サポートセンター事業	建築局	1件
④⑩	ヨコハマ市民まち普請事業	都市整備局	1件
合 計			69件

**【参考】協働契約とは（条例第 12 条）**

第12条 市は、第9条第1項の選定（市民協働事業の相手方となる市民等の選定）又は第10条第2項の決定（市民等の提案による市民協働事業の採用の決定）により市民協働事業を行う場合は、規則で定める軽易なものを除き、当該市民協働事業を行う市民等と市民協働事業に関する契約（以下「協働契約」という。）を締結するものとする。

2 前項の協働契約には、事業目的、事業の進め方並びに役割、費用及び責任の分担その他規則で定める事項を定めるものとする。

〈協働契約形態の種類〉

種別	内容
委託型	市が行うべき事業であるが、市にはない第三者（市民）の優れた特性や能力を活かした方がより良い成果やサービスが期待できるときに、その全部または一部を委ねる形態。市が有していない専門性や柔軟性、ネットワークの活用が求められるような事業等に有効。
補助型	市民が主体となって行う事業について、市が公益上必要であると認めた場合に、市が資金面（事業費）で協力する形態。多様化する市民ニーズに対応するため、先駆性をもつ市民と一緒に新たに取り組む事業等に有効。
負担金型	協働で行う公共的公益的な事業について、その事業に要する経費を市（またはお互い）が負担する形態。市民側から提案等によって、市民と市がお互いに応分の負担をし合って取り組む事業等で活用されている。
共催型	市民と市が共に主催者として共同で一つの事業を行う形態。イベント等の実施に係る企画、広報、実施において市民と市の両者の意見や特性、ネットワークを活かす事業等に有効。

(AMPERSAND（アンパサンド） 協働実践 ～市民と市職員のための協働契約ハンドブック～  
より引用)

### 3 市民協働を推進するための取組

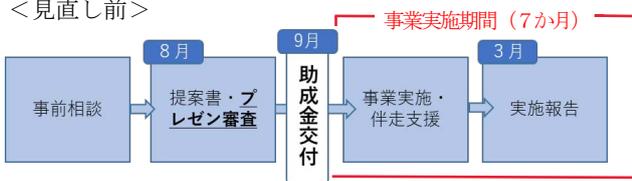
#### (1) 市民協働提案事業

市民等からの協働事業の提案を支援するため、平成 29 年度から令和元年度に行った「協働事業の提案支援モデル事業」での検証を踏まえ、令和 2 年度から「協働の提案支援事業」を開始しました。協働事業の提案を受け付け、所管課との調整と伴走支援を行い、審査により採択された団体への助成金を交付（上限 30 万円）しています。

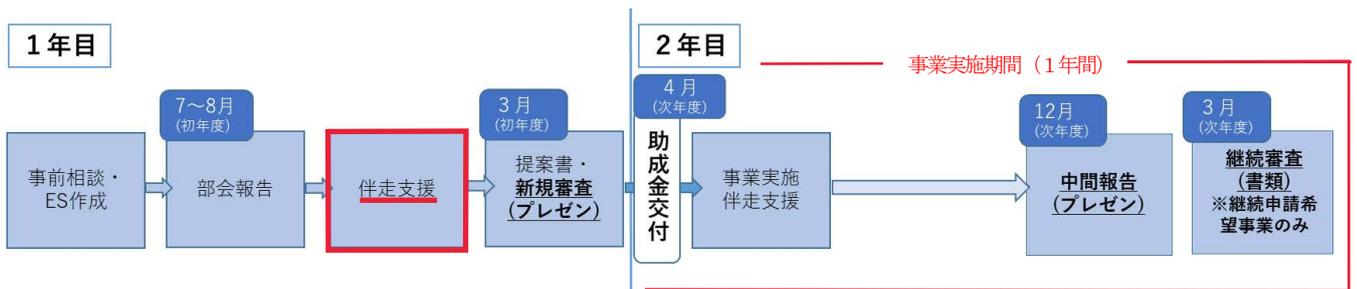
令和 5 年度から「市民協働提案事業」に名称を変更し、事業実施期間を 7 か月間から 1 年間へ変更、また助成金交付前から伴走支援を実施するなど、より助成金の活用がしやすくなるよう制度変更を行いました。

令和 5 年度は 1 件の提案があり、団体と行政所管課が提案内容の議論や調整を重ねたうえで、協働事業を実施しました。

<見直し前>



<見直し後>



<令和 5 年度実施事業>

提案事業名	実施団体・所管課	事業内容
横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだいの地域の支援	ちよこっと子育てレスキュー隊 市民局市民協働推進課 こども青少年局障害児福祉保健課	療育や子育てのよりよい環境づくりに向け、横浜市北部療育センターにて、障害児のきょうだいの一時預かりを実施しました。（参考：資料編27ページ）

#### (2) 市民の皆様への「協働」に関する周知

ア 「市民協働推進センター」（詳細は35ページ）

地域における様々な課題の解決や新しい取組を創発するため、多様な主体の交流・連携が生まれる対話と創造の場として、「横浜市市民協働推進センター」を運営しています。ホームページやSNS、各種イベント等を通じ市民協働の取組などを発信しています。

イ 「AMPERSAND（アンパサンド） 協働実践 ～市民と市職員のための協働契約ハンドブック～」

平成 28 年度に実施した条例の施行状況の検討をもとに、協働契約ハンドブックに関する検討会や横浜市市民活動支援センター（現 横浜市市民協働推進センター）、市民局市民協働推進課が協働して作成したハンドブックです。



ウ 「Let's 協働入門」

市民局地域支援部と特定非営利活動法人市民セクターよこはま（横浜市市民協働推進センターの運営団体）が協働して作成した、市民と行政のためのハンドブックです。



<市民協働推進センターで実施したイベント>

(ア) 「市民協働スタートアッププログラム2023」

市民活動や協働への理解を深め、実践につながることを目指し、市民活動に意欲関心がある方を対象に、協働の取組に必要な知識や具体的な事例の共有、ワークショップを行う連続講座を開催しました。

(開催日) 令和5年9月から令和5年11月まで  
 〈全4回〉  
 (参加者) 延べ78名



(イ) 「コラボレーション@スペース」

「次世代の活動・協働を考える」をテーマに、第1回では「ChatGPT」、第2回では「地産地消」を取り上げ、実践者や研究者を交えて“協働”の価値とその魅力を学び、これからの横浜をもっと豊かで暮らしやすい街にしていきたいと思う方々が集う場として、座談会形式で開催しました。

(開催日) 令和5年5月・7月  
 〈全2回〉  
 (参加者) 延べ99名 (オンライン51名)



(ウ) 「ヨコラボ2023 (YOKOHAMA Co-lab. 2023)」

複雑化・多様化する社会課題や地域課題の解決に向け、市民活動団体やNPO 法人、企業などの多様な主体と行政との協働・共創の取組をさらに推進していくため、新たな公民連携の発信・対話の場としフォーラムを開催しました。

「市民協働の経験から見えてきた協働・共創の未来」をテーマに、「市民協働」の事例紹介やパネルディスカッションを行いました。

(開催日) 令和5年10月30日・31日、  
 11月1日・2日・4日  
 〈計5日間〉  
 (参加者) 1,161名



ヨコラボ2023「市民協働の経験から見えてきた協働・共創の未来」をテーマとしたパネルディスカッションの様子

(3) 市職員が「協働」を推進するための取組

ア 市職員の「協働」に関する研修等

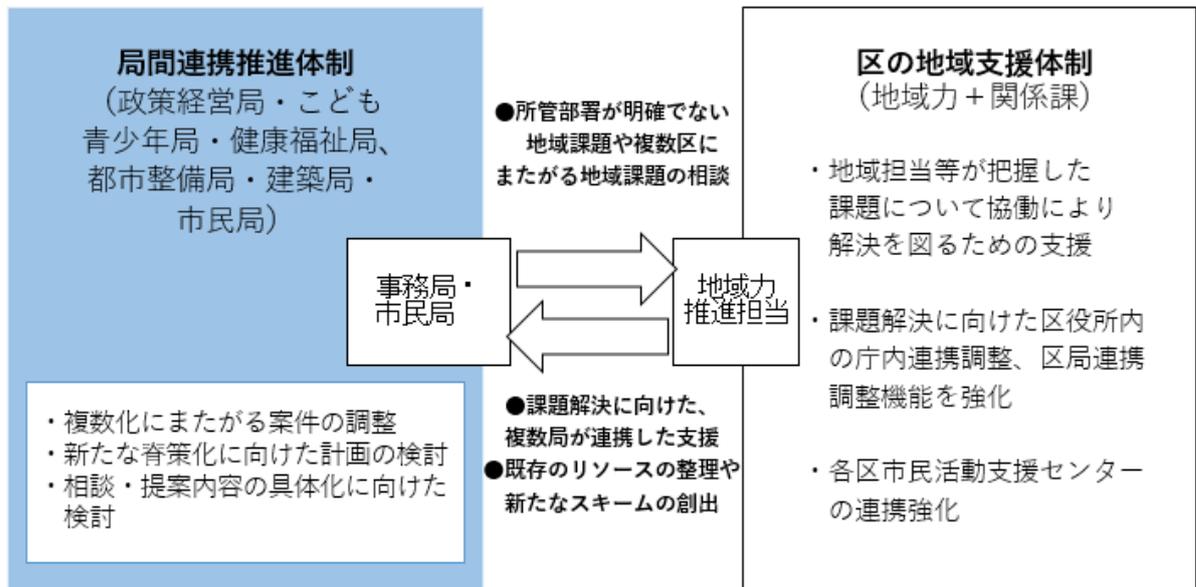
「協働」の理念や考え方は、横浜市職員行動基準に明記され、横浜市職員には市民の皆さんをはじめ多様な主体と協働・共創した地域課題への取組が求められています。

市民の皆さんとの共感を重ね、ゆるぎない信頼関係を築くことができる職員の育成を目指し、下記のような研修を実施しました。

研修名	目的・内容	参加人数
新採用職員研修	採用・昇任等の機会において「協働」の基本を理解することに加え、取り組む際のポイント等を学ぶ。	695名
新任責任職（課長補佐・係長・専任職）		511名
協働研修2023 ～人をつなぐコツ教えます！～	NPOが手掛けている中間支援からそのイロハを学び、市職員の間接支援業務に役立てる。	30名
新任地区担当向け研修	地区担当として地域支援に携わる職員が、円滑に地域と顔の見える関係を築くために、地域との関係づくりのノウハウを学ぶ。	130名

イ 市民協働局間連携会議

地域課題の解決や市民協働の取組の実現、将来の施策への可能性を検討するため、地域コミュニティ政策に関わる6つの局が参加する会議を定期的で開催しています。



【参考】横浜市職員行動基準（令和3年3月1日改定） 該当部分抜粋

1 私たちは、市民・社会の要請を実現するため行動します。  
（省略）

(4) 地域や社会の課題を共に解決するため、市民をはじめ多様な主体との協働・共創に取り組みます。

## (4) 中間支援組織の育成

## ア 各区市民活動支援センター機能強化

(該当区: 神奈川区、中区、旭区、磯子区、金沢区)

各区市民活動支援センターのコーディネート機能の向上を目指し、各区でセンター職員のコーディネートスキル向上のための講座の実施や、他の区民利用施設との連携強化に向けた合同事業の実施、新たなつながりづくりに向けた交流会の開催等を行いました。

## イ 各区市民活動支援センターネットワーク会議

(7月、1月、2月に開催 参加者延べ90名)

18区の地域振興課の担当職員及び各区市民活動支援センター職員等が参加するネットワーク会議を開催し、中間支援組織としてのコーディネート機能向上に向けた研修やワークの実施、各区支援センターの事例や課題について共有・意見交換を行いました。

## (5) 横浜市市民活動推進基金（よこはま夢ファンド）の活用状況

横浜市市民活動推進基金は、市民公益活動を財政的に支援することを目的に、市が条例第6条に基づき設置している基金です。

令和5年度に横浜市市民活動推進基金にいただいた寄附は、559件 83,669,131円になりました。

## ア よこはま夢ファンド登録団体助成金

NPO法人から申請のあった事業について審査を行い、延べ37件、総額で41,245,175円の助成を行いました。

## イ よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金

よこはま夢ファンドに登録されたNPO法人の組織基盤の強化や安定、活動の活性化などを目的に、平成27年度に創設した助成金です。「人材」「資金」「情報」などの支援やファシリテーターを活用した自己評価の機会の提供、助成団体同士の情報交換会など、支援効果を高める仕組みを適宜取り入れています。

NPO法人から申請のあった組織基盤強化の取組内容について審査を行い、5団体に総額で1,500,000円の助成金を交付しました。

## ウ 各種講座の開催

団体の組織運営に関する講座を、市民協働推進センターと協働で実施しました。

講座名	講座開催数	延べ参加者数
NPO組織基盤強化ワークショップ	1回	9名

## 【参考】横浜市市民活動推進基金について（条例第6条）

第6条 市民公益活動を財政的に支援するために、市に横浜市市民活動推進基金（以下、「基金」という。）を設置する。

2 市が基金に積み立てる額は、歳入歳出予算をもって定める。

3 基金に属する現金は、金融機関への預金その他の確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

4 基金の運用から生ずる収益は、歳入歳出予算に計上して、基金に積み立てるものとする。

5 基金は、その設置の目的を達成するために必要がある場合に限り、その全部又は一部を処分することができる。

【参考】横浜市市民活動推進基金（よこはま夢ファンド）について

(1) 令和5年度横浜市市民活動推進基金への寄附について

件数		寄附金額
559件		83,669,131円
(内訳)		
企業	3件	1,150,000円
個人	553件	81,260,131円
その他	3件	1,259,000円

(2) 令和5年度 登録団体助成金交付状況

助成件数	助成金額
37件	41,245,175円

(3) 令和5年度 組織基盤強化助成金交付状況

助成件数	助成金額
5団体	1,500,000円



(6) その他の協働を推進するための取組

ア 地域の担い手応援事業

自治会町内会をはじめ地域で活動する団体・個人、NPO 法人、企業等が連携して地域の課題解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めていくため、区と連携して地域活動を支援しました。

《地域運営補助金》

自治会町内会を含む様々な団体が連携した課題解決の取組を支援しました。

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
活用地区数	100地区	70地区	45地区	31地区	23地区

《元気な地域づくり推進事業補助金》

地域の課題解決など、区民の自主的な地域活動を支援しました。

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
活用団体数	76団体	49団体	45団体	26団体	7団体

イ 区の地域支援体制

行政が地域に寄り添い、地域社会と課題を共有するほか、所属を問わず区役所が一丸となった地域支援を展開していくため、全区で「地域と向き合う体制（地区担当制や地域支援チーム）」を導入しています。

ウ 市民活動保険

ボランティア活動（自主的に行う公益性のある奉仕活動）中の事故を対象にした市民活動保険の加入を通じ、市民の皆さんに安心して地域活動に参加していただきました。

## 4 横浜市市民協働推進委員会

横浜市市民協働推進委員会は市長の附属機関として市民協働の推進に関し必要な事項を調査・審議するために設置されており、学識経験者と市民活動実践者の8名で構成されています。

令和5年度は4回開催され、「特定非営利活動法人の条例指定」「よこはま夢ファンド登録団体助成金交付審査結果」、「令和6年度市民協働提案事業」など、市民協働に関する様々な事項について御審議いただきました。

### <令和5年度の開催日及び主な審議事項>

開催日	主な審議事項
令和5年6月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長選任・職務代理者の指名について</li> <li>・横浜市市民協働推進委員会における部会委員の指名について</li> </ul>
令和5年9月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人の条例指定について</li> <li>・よこはま夢ファンド登録団体の抹消について</li> <li>・よこはま夢ファンド登録団体助成金交付審査結果について</li> </ul>
令和5年12月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よこはま夢ファンド登録団体の抹消について</li> <li>・よこはま夢ファンド登録団体助成金交付審査結果について</li> <li>・よこはま夢ファンドの見直しについて</li> </ul>
令和6年3月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よこはま夢ファンド登録団体助成金交付審査結果について</li> <li>・よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金交付審査結果について</li> <li>・令和6年度の「市民協働提案事業」について</li> </ul>

### <第6期横浜市市民協働推進委員会委員（令和6年3月31日時点）>

※50音順 敬称略

氏名	所属等
鈴木 伸治（委員長）	横浜市立大学 国際教養学部 学部長 教授
池田 誠司	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会地域活動部長
大塚 朋子	特定非営利活動法人こまちぶらすウェルカムベビープロジェクト こよりどうカフェマネージャー
菊池 賢児	戸塚区連合町内会自治会連絡会 会長
後藤 智香子	東京都市大学 環境学部 准教授
齊藤 ゆか	神奈川大学人間科学部 教授 学長補佐（地域連携担当）
竹原 和泉	特定非営利活動法人まちと学校のみらい 代表理事
森川 正信	マスマススクエア株式会社 代表取締役

#### 【参考】横浜市市民協働推進委員会について（条例第17条）

第17条 市民協働の推進に関し必要な事項を調査審議するため、市長の附属機関として、横浜市市民協働推進委員会（以下「市民協働推進委員会」という。）を置く。

2 市民協働推進委員会は、市民協働の推進に関し必要な事項について、市長に意見を述べることができる。

3 市民協働推進委員会に、必要に応じ部会を置くことができる。

(担当区局所管課：西区地域振興課)

### 1 協働契約の相手方

認定特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### 2 事業費

21,120,000円(管理・運営に関する委託費)

### 3 事業内容

市民活動及び生涯学習活動の支援を通して、区民力の向上と豊かな地域づくりを図るため、にしく市民活動支援センターの運営を委託し、市民公益活動に関する相談対応、情報提供・発信、活動団体のマネジメント支援及びネットワーク支援事業、地域活動・市民活動支援、区民利用施設等との連携などによる活動支援を行いました。

### 4 事業実績

#### (1) 相談件数

281件(データベース化により職員間の共有と分析を推進)

#### (2) 情報提供・発信

- ・イベントカレンダーの発行(毎月500部) / 「広報よこはま(西区版)」での情報発信
- ・情報紙「にしとも広場」(カラー冊子・全8P)の発行(年2回/各3000部)
- ・特集テーマ 10月号「心で動く、地域の活動」 / 3月号「音楽が生み出す笑顔の輪」

- ・センター独自のホームページ/フェイスブック/インスタグラム

- ・展示スペースの活用(小箱スペース、壁面スペース) / こぼこ図書/壁面「アート縁日」

#### (3) 活動団体のマネジメント支援及びネットワーク支援事業

- ・地域人材ボランティア「西区街の名人・達人」

- ・コーディネート(37件) / 活動披露の場づくり(18回) / 新規登録(13件)

- ・グループ・団体の登録更新とガイドブックの作成(新規登録10団体/150部発行)

- ・「西区街の名人・達人」、登録団体、および地域活動者の交流会(2回)

- ・「西区民まつり」への協力と参加(おやこ休憩室/ヒーローショー)

#### (4) 地域活動・市民活動支援

- ・西区地域づくり大学校(全4回/修了生11名)

- ・活動に役立つ講座(公開研修)「認知症」13名 / 「救急救命」9名

- ・講座災害復興のつながりづくり(1回/19名)・地域のまつりへの参加(2回)

- ・外国につながる子ども対象の学習支援「にしともるーむ」(50回) / ボランティア講座(1回/15名)

#### (5) 区民利用施設との連携による活動支援

- ・区内施設との連携会議

- 「ゆるとも西」「利用者さんの現在と未来を見える化する講座とワーク」

- ・区内施設との連携事業(2回)西区地域子育て支援拠点 みちあそび / 生活支援センター西 講座開催



### 5 協働で事業を行った効果

地域での活動、各施設の活動などの情報共有を行うことで、区と支援センター相互の企画の幅が広がり、より効果的な事業実施につなげることができました。

また、区と支援センター相互の役割分担や事業の進め方について意見交換を行い、確認しながら事業を進めることができました。

(担当区局所管課：南区地域振興課)

### 1 協働契約の相手方

公益財団法人 横浜市国際交流協会

### 2 事業費

33,836,000 円 (管理・運営に関する委託費)

### 3 事業内容

市民活動、生涯学習活動及びボランティア活動並びに外国人市民、外国人コミュニティ及び国際交流機関の支援を通して、市民の理解と参画のもとに、市民力の向上と豊かな地域、異なる文化や生活習慣への理解を深める交流の拠点づくりを図るため、市民公益活動等のネットワーク化・相談対応・活動の場の提供、外国人市民に対する相談対応・情報提供・情報発信を行っています。

### 4 事業実績

#### (1) 相談・情報提供

- ・市民活動や生涯学習支援に関する相談・情報提供
- ・外国人相談・情報提供
- ・通訳の派遣等

#### (2) 市民活動・地域活動の支援

- ・まるごとみなみ施設間連携事業  
施設間で情報を共有し、連携を強化することで多様なニーズや地域課題の解決に取り組む体制づくりを目指し、研修及び全体交流会を開催しました。(2回)
- ・地域課題講座「地産地消の食事で元気生活！」(2回)
- ・市民活動支援講座「「LINE」の便利な機能を使いこなそう！初心者編」(2回)
- ・街の先生事業(登録・紹介、講座の開催等による活動支援)

#### (3) 多文化共生事業

- ・通訳付き専門相談窓口事業  
専門家による法律、在留資格、教育相談を実施
- ・外国につながる青少年等の交流・支援事業  
「学習支援教室情報交換会」(2回)  
「外国につながる青少年ボランティアプログラム」(5回)
- ・日本語ボランティア関連事業  
「日本語ボランティア入門講座」(6回)  
「日本語ボランティアブラッシュアップ講座」(2回)



まるごとみなみ全体交流会



日本語ボランティア入門講座

### 5 協働で事業を行った効果

区版市民活動支援センターと国際交流ラウンジの機能を兼ね備えた市内唯一のラウンジとして、また、外国人住民が多い南区において、多文化共生の推進を目的に活動するYOKE と協働で事業に取り組むことで、地域課題やニーズに沿った事業を展開することができ、外国人住民を含めた市民活動の拠点となっています。

(担当区局所管課：港南区地域振興課)

### 1 協働契約の相手方

一般社団法人こうなん区民利用施設協会



### 2 事業費

20,000,000 円 (管理・運営に関する委託費)

### 3 事業内容

港南区域における中間支援組織として、地域課題の解決や魅力ある地域づくりに向けた市民公益活動と生涯学習活動を支援します。

具体的には、①地域活動や公益的な活動の担い手育成、②地域人材の発掘・育成に向けたセンターと区役所各課の連動、③区内施設や活動団体のネットワークづくりを進めました。



### 4 事業実績

- (1) 相談件数 729件
- (2) 情報提供・発信
  - ・ホームページ上で更新手続き（3年度ごと）と新規登録が可能になりました。活動をPRしたい、新たなメンバーを獲得したいという団体は、地域ポータルサイト「ひまわりタネット」で活動紹介やイベント報告をすることができます。
  - ・区内の商店街で行われたイベントに参加し、「街のアドバイザー」による体験コーナーやパネル展示、リーフレットの配布等を行い、センターの活動をPRしました。
- (3) 地域活動・市民活動支援
  - ・地域の人材発掘・育成、地域活動へのきっかけづくりとしての「地域デビュー講座」、「街のアドバイザー1day 体験」、「趣味と学びの連続講座」を実施しました。
- (4) 登録団体、ボランティア人材への活動支援
  - ・「活動紹介展」で作成したパネル展示と動画を、地域や他施設での共催イベントでも活用し、区民に向けて広く活動をPRしました。
  - ・デジタルを上手く活用するために「スマホで動画編集」の講座と「世界最高齢のプログラマー若宮正子さんの講演会」を開催しました。
  - ・街のアドバイザーや登録団体が企画し、センターが実現までをサポートする「Let'sプロデュース企画」を実施しました。
- (5) 区民利用施設等との連携
  - ・区民利用施設等との連携を深めるために、「ネットワーク会議」、「施設交流会」を開催しました。
  - ・区内8か所の区民利用施設で、街のアドバイザー「冬の1day体験会」を開催しました。

### 5 協働で事業を行った効果

毎月事務連絡会を開催し、計画段階から意見交換や情報共有を行うことで、上手く連携して事業を進めることができました。

(担当区局所管課：港南区地域振興課)

### 1 協働契約の相手方

一般社団法人こうなん区民利用施設協会

### 2 事業費

719,400 円 (委託費)

### 3 事業内容

役員の負担軽減やICTを活用している世代の活動参加につなげることを見込み、自治会町内会向けに身近なICTツールであるLINEやSNSツールの基本的な活用方法についての講座を港南区域の中間支援組織である港南区民活動支援センターと協働で実施しました。

事業を通して、区民活動支援センターが地域で主体となって活動している自治会町内会を支援し、自治会町内会との連携強化を図ることで、地域の自立性や課題解決をより推進していくためのつながりづくりを進めます。



### 4 事業実績

- 講座実施回数 41回
- ・受講団体 10団体
  - ・延べ人数 569人



### 5 協働で事業を行った効果

- ・普段使い慣れている自治会町内会館等で実施をしたことや、受講者がその自治会町内会の会員であったため、もともと交流があり、LINEのお友達登録や交換がスムーズにできました。
- ・連絡ツールのひとつとして、すぐに活用してもらえました。
- ・講座を通して、区民活動支援センターの存在や事業内容を知っていただく良い機会になり、自治会町内会とのつながりを深めることができました。

(担当区局所管課：保土ケ谷区区政推進課)

### 1 協働契約の相手方

保土ケ谷区民会議

### 2 事業費

844,000円（負担金など）



### 3 事業内容

保土ケ谷区民会議は「自分たちの住むまちを、自分たちの手でよくしたい」という区民が自主的・主体的に組織・運営する、市民相互の話し合いの場です。行政と区民を結ぶパイプ役として、広聴、提言、行動、発信の4つを柱に、区民の声を反映し「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」を目指し活動しています。

協働契約により、区役所と地域課題の解決に向けて、ともに取組を進めています。

### 4 事業実績（令和5年度）

<区民会議活動実績>

- (1) 専門分野別の5つの分科会（環境、教育、交通、災害、福祉）による活動を展開しました。テーマに基づいた勉強会や出前講座の実施、施設訪問、区民への啓発活動等を実施しました。
- (2) 区民会議の活動をお知らせする広報紙「ニュースやまびこ」を発行し、区ホームページへ掲載しました。
- (3) 「地域のつどい」を区内6会場で開催しました。地域の課題について参加者と話し合い、話し合いで出された意見をとりまとめて行政に提言・要望を提出しました。
- (4) 区民向けに活動の紹介を行う「区民のつどい」を開催しました。

### 5 協働で事業を行った効果

平成28年12月の協働契約締結以前から、区民会議と区役所が連携を図り、地域の課題解決に向けて取り組んでいます。

「地域のつどい」では、区民が相互に話し合う機会を提供し、地域から寄せられた意見を区民会議でとりまとめています。提言・要望に対する行政からの回答を地域にフィードバックすることで、地域と行政のパイプ役として、身近な視点を生かした住み良いまちづくりに貢献しています。

また、令和2年度からは廃食油の回収、フードドライブの食品受付も実施し、協働パートナーとして行政の事業にも広く協力しています。



廃食油の回収・フードドライブの様子

(担当区局所管課：保土ヶ谷区区政推進課)

### 1 協働契約の相手方

株式会社 相鉄ビルマネジメント  
株式会社 相鉄アーバンクリエイツ  
相模鉄道株式会社

### 2 事業費

1,000,000円 (負担金)



帷子小学校への出張授業の様子

### 3 事業内容

保土ヶ谷区では、地区の魅力向上を推進するため、まちづくりの基本的な考え方を整理した「星川駅周辺地区総合的なまちづくりガイドライン」を策定しています。

上記まちづくりガイドラインに掲げる「利便性が高く魅力あふれるまちづくり」を推進するため、星川駅から天王町駅周辺のまちづくりの機運を盛り上げる取組を実施しました。

### 4 事業実績

#### (1) 帷子小学校への出張授業及び成果品の展示

帷子小学校6年生を対象に、星天q1ayの説明と現地見学を実施、児童が高架下の店舗を紹介するポスターを制作し、星川駅・保土ヶ谷区役所に展示(1月)

#### (2) 「HOSHITEN FAIR2024 PLAY HOSHITEN!!ご近所エキスポ!」の開催

商店街、地域の活動団体、星天q1ayのテナント等、地域活動の「担い手」との連携をテーマにしたマルシェやワークショップイベントの開催(3月)

### 5 協働で事業を行った効果

イベント来場者へのアンケートでは「まちで過ごす時間が増えた」、「魅力を感じるようになった」という肯定的な意見を多数いただいております。星川・天王町駅周辺の魅力づくりへの機運を高めることができました。また、帷子小学校出張授業では、将来まちの「担い手」となる児童が高架下で働き、暮らす人と触れることで、高架下を中心とした、星川・天王町駅周辺のまちづくりに興味を持ってもらうことができました。



HOSHITEN FAIR2024 PLAY HOSHITEN!!の様子

(担当区局所管課：保土ヶ谷区地域振興課)

**1 協働契約の相手方**

特定非営利活動法人 横浜市民アクト

**2 事業費**

29,326,000円（管理・運営に関する委託費）

**3 事業内容**

保土ヶ谷区の市民公益活動、生涯学習の活動及びボランティア活動の支援をとおして、市民の理解と参画のもとに、市民力の向上と豊かな地域づくりを「ほどがや市民活動センター（アワーズ）」とともに図ります。

**4 事業実績****(1) 広報**

メルマガやホームページに加え、若い世代への認知度を高めるためInstagramを新設しました。これらの媒体を、情報や対象により選定し、発信することで、幅広い世代へ届け、社会参画のすそ野を広げました。

**(2) 自主企画事業**

「定例おそうじ」や「OURS GREEN DAY」などの気軽に参加できる活動の場づくりをすることで、地域活動へのきっかけづくりをし、人材発掘・育成を行いました。

また、連携団体の自立支援も併せて行うことで、持続可能な組織づくりを目指しました。

また、新規事業「かもキャン」や「ほどがやサンタプロジェクト」では、活動団体以外にも、近隣の自治会や施設、企業と連携し、新たなつながりが構築されました。

さらに、参加者同士で連携し、新たな活動へもつながりました。



OURS GREENDAY



ほどがやサンタプロジェクト

**5 協働で事業を行った効果**

自主企画事業の中で、施設や企業などと連携したことにより新たなネットワークを構築することができました。次年度以降の事業への活用を考えていく必要があります。

また、互いの事業を共有・広報をすることができ参加者の増加につなげることができました。

## 事業紹介⑧ LINKAI横浜金沢魅力発信事業（新規）

（担当区局所管課：金沢区区政推進課）

### 1 協働契約の相手方

特定非営利活動法人Aozora Factory



LINKAI横浜金沢シンボルロゴ

### 2 事業費

1,900,000円（負担金）

### 3 事業内容

金沢区の臨海部にある「LINKAI横浜金沢」は1,000を超える企業・事業所が立地している大規模産業団地です。LINKAI横浜金沢には製造業を中心に多種多様な業種の企業が集積しています。この地域の技術力や地域資源を活用して、ものづくり体験イベントを地域の子供たちを対象に実施することで魅力発信とともに、ものづくりを通じた地元の産業振興やブランドイメージの創出を行います。

### 4 事業実績

- (1) 産学官連携イベントAozora Factoryの開催（親子向けものづくりワークショップ）  
LINKAI横浜金沢内の企業及び地域団体がブースを出展し、ものづくりを体験できるイベントを開催しました。（11月）21ブースが出展され、800人の来場者にLINKAI横浜金沢のものづくりを楽しんでいただきました。
- (2) ものづくり体験イベントスクールファクトリーの実施  
LINKAI横浜金沢の工場に出た廃材を活用してものづくりを行うイベントを区内の小学生31名を対象に実施しました。（1月）ものづくりの楽しさを伝えるだけでなく、地元金沢区の産業振興やアップサイクルを題材にした環境問題への関心向上も目的にしています。



Aozora Factoryの様子



スクールファクトリーの様子

### 5 協働で事業を行った効果

特定非営利活動法人Aozora FactoryはLINKAI横浜金沢の企業有志等によって設立され、金沢区にある横浜市立大学、関東学院大学の教員も運営に参加し、産学官連携のハブとしての役割を担っています。産学官連携イベントでは、企業ブースの運営に学生が参画するなど、学生と企業の交流・連携の貴重な機会にもなっています。地域の魅力発信とともに、企業と学生の交流を通して地域の活性化を図ることができました。

## 事業紹介⑨

## ジモ活～地元で活動・活躍・復活しませんか～

(担当区局所管課：金沢区地域振興課)

### 1 協働契約の相手方

社会福祉法人 横浜市金沢区社会福祉協議会

### 2 事業費

525,000 円 (負担金)



### 3 事業内容

住民による「たすけあい」の地域社会実現に向けて、自らの経験や趣味、特技等を活かしながら地域の活動に参画し、身近な地域の課題を解決することのできる人材の輩出・育成を図ります。また、意欲のある住民と地域活動団体とをつないでいくことで、「協働による地域づくり」を目指し、令和5年度は、3回の講座と7団体に協力を得て 実際に活動の見学・体験を実施しました。

### 4 事業実績

#### (1) 講座と活動見学・体験

- ・第1回講座「知って楽しむ！私と地域を結ぶ「ジモ活」」(令和5年10月14日)
- ・第2回講座「自分を知って生かそう！地域活動」(令和5年10月28日)
- ・第3回地域での活動見学・体験(令和5年11月6日から令和5年12月6日まで)
- ・第4回講座「私と地域を結ぶ「ジモ活」」(令和5年12月9日)

#### (2) 受講者 18名

#### (3) 同窓会 13名 (令和6年2月3日)

### 5 協働で事業を行った効果

金沢区社会福祉協議会(以下、「区社協」という。)は、地区社会福祉協議会、自治会町内会及びボランティアグループなどの地域活動団体と連携・協働しています。区社協と協働することにより、より実践的かつ効果的な講座とすることができました。幅広い年齢層の方が受講し、活動体験した団体で実際に活動を始めた方もおり、本事業の継続を希望する声が多くありました。また、既に地域活動に参加していた受講者にとっては、他団体の活動を体験することにより、自身の活動の振り返りや参考となったようです。



(担当区局所管課：港北区区政推進課)

### 1 協働契約の相手方

特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク

### 2 事業費

2,695,000円 (運営委託費)

### 3 事業内容

港北区と特定非営利活動法人鶴見川流域ネットワークは、平成28年度より協働契約を締結し、「鶴見川とその流域の自然環境を活用して、港北区民へ環境や治水・防災をテーマとした学習や交流の機会を提供し、港北区民の環境意識や水害等の防災意識の向上を図ることで、自然環境の保全や災害に強いまちづくりを進め、都市と自然の共生に寄与する」という目的で、環境防災学習講座(小学生向け講座・一般向け講座)や展示会を実施しました。

### 4 事業実績

実施内容	実施時期	対象・回数	延べ参加者数
小学生向け講座	6～1月	区内小学校 16校・18回	1,397名
一般向け講座	9・11月	一般・2回	52名
展示会場	展示時期	展示会参加校	
鶴見川流域センター、トレッサ横浜	2月1日～19日、 2月23日～28日	12校/16校 (大曾根小学校、北綱島小学校、小机小学校、駒林小学校、新吉田小学校、新吉田第二小学校、高田東小学校、綱島小学校、新羽小学校、日吉台小学校、日吉南小学校、大豆戸小学校)	



小学生向け講座の様子



一般向け講座の様子



展示会の様子

### 5 協働で事業を行った効果

協働の体制をとることで、事業手法や自然環境に関する知識など、お互いの持つノウハウや役割を補い合うことができ、相互の理解促進につながりました。

また、事業の目的を共有し、お互いの持つ情報を出し合い企画や広報を検討することで、対象者の興味に合わせた事業を効果的・効率的に実施することができました。その結果、環境や治水・防災等の内容を分かりやすく参加者に受け入れてもらうことができました。

(担当区局所管課：港北区地域振興課)

1 協働契約の相手方

わがまち港北映像プロジェクト

2 事業費

550,000円 (委託費)

3 事業内容

港北区の歴史等に係るインタビュー映像作品や、魅力発信のための取材映像作品等の制作及び、港北区に関連する映像作品の配信等を通じて、多くの人が港北区の歴史や魅力、文化等に触れる機会を創出しました。



港北映像ライブラリ  
映像配信サイトPRチラシ

4 事業実績

(1) 新規映像作品の企画・制作

- ・港北地域学講座 2作品
- ・港北ふるさと人物伝 2作品
- ・綱島の民俗 5作品
- ・横浜の空襲体験談
- ・港北芸術祭「朗読劇『真昼の夕焼け』」公演

(2) 映像配信サイト「港北映像ライブラリ」の管理運営

該当URL: <https://kohoku-yokohama.jp>



「朗読劇『真昼の夕焼け』」  
動画タイトル画面

5 協働で事業を行った効果

映像を通じて、港北区の魅力を様々な角度から発信することができました。

ウェブサイト「港北映像ライブラリ」で配信する動画の数も約420作品と、着々と増えています。また、双方の告知活動等により、閲覧数も徐々に上昇しております。

また、区民等からライブラリ内の動画を活用したいという問い合わせや、区内施設等が制作した動画をライブラリへ掲載して欲しいという要望を受けるなど、認知度も高まってきていると思われます。



港北地域学講座  
動画タイトル画面

(担当区局所管課：都筑区地域振興課)

### 1 協働契約の相手方

株式会社イータウン

### 2 事業費

4,936,558円 (企画・運営に関する委託費)

### 3 事業内容

自治会町内会における「担い手育成」「広報のデジタル化」「イベントの新しいアイデア」等様々な分野での課題解決や魅力アップに向けて、事例の共有やアドバイス、地域の活動団体との連携を促しながら、自治会活動をもっと楽しく、クリエイティブにする「都筑スタイル」を推進する事業。



キックオフセミナー

### 4 事業実績

- ・キックオフセミナー 6月 参加者数81人
- ・アドバイザー派遣 6月～3月 4地区参加
- ・集合コンサルティング 10月～12月 参加者25人(13団体)
- ・イベント・事業実施サポート 6月～3月 3地区参加
- ・発表会 3月 参加者数86人
- ・ニュースレターの発行 第1号～第3号 各5,000部



アドバイザー派遣

### 5 協働で事業を行った効果

自治会町内会支援の経験と幅広いネットワークを有する事業者との協働により、自治会町内会の個別課題の解決に向けて、区と協働相手が得意分野や専門性を発揮しながら、講師や専門家の選定やサポートを行うことができた。

また、セミナーや発表会では、事業に参加された自治会町内会による発表や参加団体同士の交流など、参加者主体の新しい運営スタイルの機運の醸成に至った。

（担当区局所管課：戸塚区区政推進課）

1 協働契約の相手方

特定非営利活動法人 くみんネットワークとつか

2 事業費

148,500円（企画・運営に関する委託費）

3 事業内容

地域活動に関わる人たちが会して、地域の様々な活動の課題の解決方法等を探り、新たな気づきや、交流によるつながりづくりの場としました。



トークセッションの様子

4 事業実績

「とつか地域活動大交流会」

活動事例の発表、各参加者の活動での課題などを共有

- (1) 日時：令和6年2月3日（土）10:40～12:30
- (2) 場所：戸塚区役所 8階大会議室
- (3) 参加者数： 48名（学生ボランティア5名を含む）
- (4) ナビゲーター：2名
- (5) プログラム：みんなでトークセッション、みんなで共有、ナビゲーターの全体講評



活動での課題などを共有

5 協働で事業を行った効果

- ・法人が運営している区民活動センターに登録している地域の活動者が多く集まり、また当該センターが持つ講座の運営力により、限られた時間の中で、参加者の交流が進められました。
- ・参加者のアンケートでも、全体の内容について、概ね満足との回答があり、両者の業務を生かした事業を実施することができ、8割以上の参加者が交流できたという回答もあり、活動されている人のつながりの機会となりました。



開催案内チラシ

(担当区局所管課：戸塚区地域振興課)

**1 協働契約の相手方**

特定非営利活動法人 くみんネットワークとつか

**2 事業費**

31,900,000円 (管理・運営に関する委託費)



相談カウンター

**3 事業内容**

市民活動、生涯学習活動及びボランティア活動の支援を通して、市民の理解と参画のもとに、区民力の向上と豊かな地域づくりを図るため、とつか区民活動センターを運営し、①活動団体のネットワーク化、②活動の支援、③地域・利用者の声をセンターの運営に反映する仕組みづくり、④活動する場の提供、⑤情報の提供、⑥企画事業の実施を行いました。

**4 事業実績 (主な事業実績)****(1) とつかお結びプロジェクト**

戸塚区内を中心に様々な分野で活動している地域活動団体や個人の活動内容を、戸塚区総合庁舎3階区民広間、戸塚センター1階ロビー、西武東戸塚S.C.で延べ1か月の期間パネル展示や活動・体験等を通して紹介する活動紹介展を開催しました。地域活動への参加のきっかけを作ることや、活動団体同士の交流につながりました。



会場の様子

**(2) 地域施設間連携促進事業研修会**

区内の地域施設間の情報共有や連携促進を目的とした研修会を開催しました。今年度はグループを3つに分けそれぞれテーマを設定し、グループワークを行いました。各施設間の顔の見える関係づくりに加え、各施設間で取組みを比較することで、今後の施設運営の参考となりました。



地域施設間連携促進事業研修会

**5 協働で事業を行った効果**

「とつかお結びプロジェクト」では、これまで取り組んできた企画内容を大幅に見直したことで、多くの方に地域活動に関心を持ってもらうことができました。活動団体に新たな参加者が増えたほか、センターへの来所にもつながる効果的なイベントになりました。企画を見直して初めてのイベントでしたが、お互いの強みを生かしながら、対等な立場でイベントに取り組むことで、相互に連携をとりやすくなり、プロジェクトの成功につながりました。

(担当区局所管課：栄区地域振興課)

### 1 協働契約の相手方

横浜市福祉サービス協会・さかえ区民活動支援協会グループ



### 2 事業費

26,797,381円（管理・運営に関する委託費）

### 3 事業内容

市民の参画のもとに、区民力の向上と豊かな地域づくりを図るという事業目的を達成するため、市民公益活動や生涯学習活動の情報提供や各種相談、団体同士等を結びつけるコーディネートを行い、地域で活動する個人、団体などの支援を実施しました。

### 4 事業実績（主な事業実績）

- (1) 相談件数 296件
- (2) 情報提供・発信
  - ・ 情報紙「SAKAESTAニュース」の発行（年4回）
  - ・ 「登録団体・人財バンク一覧」の発行（年1回）
  - ・ ホームページや「広報よこはま（栄区版）」での情報発信
- (3) 地域活動・市民活動支援
  - ・ 地域活動へのきっかけづくり事業「地域デビュー応援講演会」の開催
  - ・ 団体活動支援講座「パソコン活用講座」「NPO法人講座」の開催
  - ・ 団体活動支援事業「活動団体パネル展2023」における作品展示
  - ・ 区民企画講座「パソコン無料相談会」「写真講座といたち川散策」の開催
  - ・ 地域人材ボランティア「人財バンク」の紹介及び発表（お祭り「SAKAESTAフェスタ2023」、施設交流会等）
- (4) 区民利用施設との連携による活動支援
  - ・ 施設交流会の開催



地域デビュー応援講演会

### 5 協働で事業を行った効果

区と区民活動センターとで、事業目的について議論し、認識のすり合わせを適切に行うなど、互いに理解・尊重し、対等な関係のもとに協働を進めることができました。

引き続き、双方が、それぞれの強みを発揮しながら、連携して事業を進めるとともに、区民活動センターが、地区センターと地域ケアプラザが一体となった多機能型の複合公共施設である利点を活かし、効果的な地域支援を進めていきます。



活動紹介展示



「人財バンク」紹介（SAKAESTAフェスタ）

（担当区局所管課：泉区区政推進課）

### 1 協働契約の相手方

株式会社相鉄ビルマネジメント

### 2 事業費

5,000,000円（負担金）



イベントの様子（遠景）

### 3 事業内容

泉区では、令和5年3月の相鉄・東急新横浜線の開業と、令和6年7月25日に控える「ゆめが丘ソラトス」の開業を契機として、ゆめが丘周辺における賑わいの創出と更なる魅力向上を図り、その効果を区全体の活性化につなげ、泉区が居住地として選ばれるまちづくりを進めています。

その取組の一環として、令和5年5月に泉ゆめが丘土地区画整理事業区域内において、ゆめが丘地区を起点に泉区の魅力を集結・発信するイベント「ゆめフェス 2023」を開催しました。

### 4 事業実績

令和5年5月13日（土）は生憎の雨天により中止となりましたが、5月14日（日）は無事開催し、曇り空にもかかわらず、約3,500人の方にご来場いただきました。

イベントでは、ゆめが丘エリアを周遊するエリアツーリズムや地域の皆さまによるステージパフォーマンス、泉区の人気デザートやフードが勢ぞろいのいずみ名店ブースに区内の採れたて農産物の直売所、泉区の伝統文化や農業体験に触れられる体験ブース等々、泉区の魅力満載の各種コンテンツを用意しました。

### 5 協働で事業を行った効果

協働契約の相手方と行政のお互いのネットワークを最大限に生かすことで様々な団体に出展いただき、ゆめが丘地区ひいては泉区全体の魅力を多方面からより効果的に発信することができました。

また、イベントのアンケートの中で、「イベントが楽しかった」「今後のゆめが丘の発展が楽しみ」という声をいただいております。一定の機運醸成が図れたと考えています。



チラシ（表面）

(担当区局所管課：瀬谷区こども家庭支援課)

**1 協働契約の相手方**

特定非営利活動法人 ワークーズわくわく、特定非営利活動法人 でっかいそら

**2 事業費**

32,639,640円 (管理・運営に関する委託費等)

**3 事業内容**

生活困窮状態にあるなど、養育環境に課題があり支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対し、食事・歯磨き・掃除といった基本的な生活習慣の習得及び生活力の向上を目指した支援や、学習支援などを行う「子どもの生活塾」を2か所で実施しています。

家庭の状況にかかわらず、子ども一人ひとりの健やかな育ちを支えとともに、いきいきと学べる環境を整えることで、自立した生活を送る能力を身に付けることを目的に、個々の状況に応じた支援を実施しています。

**4 事業実績**

	3年度	4年度	5年度
支援世帯数(世帯)	40	36	32
子どもの生活塾利用延回数(回)	1,744	1,669	1,647
通所支援利用等延回数(回)	1,719	1,657	1,712

**5 協働で事業を行った効果**

区役所が小中学校等の関係機関への事業周知や利用者の連絡・調整を行い、協働事業者が個々の状況に寄り添った生活支援を行うことで、課題を抱えた世帯の子どもや保護者に対し、きめ細やかな支援ができる体制が整いました。

また、区役所と協働事業者の間で連絡会や定期的なカンファレンスを実施するなど、利用者の情報を密に共有し、必要となる支援内容を双方で把握・検討することで、世帯の子どもや保護者が孤立することなく、必要な支援を受けることができています。

(担当区局所管課：脱炭素・GREEN×EXPO推進局脱炭素ライフスタイル推進課)

## 1 協働契約の相手方

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

## 2 事業費

21,714,550 円(負担金)

## 3 事業内容

横浜市では、2030 年度温室効果ガス排出量 50%削減と2050 年の脱炭素社会の実現に向けて、令和5年1月に改定した「横浜市地球温暖化対策実行計画」において「脱炭素ライフスタイルの浸透」を掲げています。

市民生活における脱炭素ライフスタイルの実践に向けた取組とサーキュラーエコノミーの構築を併せた取組を行うことで、より効果的な行動変容の促進につなげるため、本事業を協働事業として実施しています。

## 4 事業実績

### (1) 令和4年度取組事例

- ・本事業のコンセプトの普及・浸透と、アイデア創出の参加者・協力者の確保を目的としたワークショップを実施しました。

- ・GPS により移動方法や移動距離を判別するアプリを活用し、ポイント付与による「エコな移動」及び「地産地消の飲食店利用」による温室効果ガス排出削減、行動変容に関する効果等を検証する実証実験を行いました。

### (2) 令和5年度取組事例

- ・企業、団体、市民の皆様などの多様な参加者とともに、「移動」や「食」などの分野のトピックスを共有し、チームごとに事業アイデアを創出するワークショップを実施しました。

- ・エコな移動手段である「シェアサイクル」のbaybikeと連携し、「地域の飲食店マップの提示」や「企業の社用車の代替利用」を促す実証実験しました。

## 5 協働で事業を行った効果

令和4年度からワークショップや実証実験を協働で実施することで、多様な主体との関係構築や知見データを積み上げることができました。引き続き、行動変容につながる取組を進めます。



令和5年度ワークショップの様子



令和5年度「シェアサイクル」実証実験のチラシ

（担当区局所管課：脱炭素・GREEN×EXPO推進局脱炭素ライフスタイル推進課）

### 1 協働契約の相手方

株式会社GDBL



スマートメーターからの電力使用量データ活用イメージ

### 2 事業費

16,929,488円（負担金）

### 3 事業内容

2050年までの脱炭素化の実現を目指し、各家庭に設置されているスマートメーターの電力データを用いて家庭等における電力使用量、CO2排出量等を見える化する事等により、市民等の脱炭素行動を促進します。

### 4 事業実績

#### (1) 脱炭素に関するデジタルコンテンツの試行実施

子どもたちの学びと行動、併せて、家庭で保護者の方などと一緒に脱炭素化を含む環境配慮に資する知識や行動を楽しく学び、実践いただくためのコンテンツとして、ビンゴ形式のデジタルコンテンツ「YOKOHAMA ECO BINGO」を試行しました。



YOKOHAMA ECO BINGOホーム画面

#### (2) 脱炭素行動変容に効果的な手法の検証

協働事業者が提供する電力使用量等が視覚化できるサービス「ZeroCa」の使い勝手や改善に関する意見聴取（定性調査）を実施しました。

### 5 協働で事業を行った効果

協働事業者が提供しているサービスの活用や、デジタルコンテンツの試行実施により、市民の行動変容につながる手法の検討を進めることができました。

(担当区局所管課：脱炭素・GREEN×EXPO推進局SDGs未来都市推進課)

## 1 協働契約の相手方

共同事業者JV

(株式会社エックス都市研究所、  
合同会社サステナブル・デザイン都市戦略研究所、  
凸版印刷株式会社、株式会社日本総合研究所)



ヨコハマSDGs デザインセンター拠点  
(みなとみらい 21 地区)

## 2 事業費

63,000,000円 (負担金)

## 3 事業内容

「SDGs 未来都市・横浜」の実現を目指し、環境・経済・社会的課題の統合的解決を図る横浜型「大都市モデル」の創出に向け、多様な主体との連携により自らも課題解決に取り組む中間支援組織「ヨコハマ SDGs デザインセンター」を運営しています。令和5年度は、コーディネーターによる相談対応や企業等と連携した試行的取組、横浜市 SDGs 認証制度 “Y-SDGs” を推進しました。また、みなとみらい 21 地区の拠点を活用して、プロモーション等を実施しました。

## 4 事業実績

### (1) 相談事業

コーディネーターを配置し、会員等からの相談・マッチング等を実施

【相談件数：約 300 件】

### (2) 企業等との連携による試行的取組【36件(継続案件含む)】

《令和5年度の取組事例》

- ・地方創生みらい交流プログラム with 福島県会津若松市：公募で集まった横浜市内の高校生が、再生可能エネルギーに関する連携協定を締結している会津若松市内の高校生たちと共に地方創生など地域課題解決を模索する取組
- ・フードロス削減ロッカーに関する取組：フードロス削減に関する事業者提案とのマッチングにより、市営地下鉄関内駅構内で、消費期限内でありながら廃棄されてしまうパン等の食品を、ロッカー型自動販売機を活用して販売する取組。

### (3) 横浜市SDGs 認証制度 “Y-SDGs”【令和5年度認証事業者数：173事業者】

SDGs 達成に向けて取り組む企業・団体のさらなる取組の推進につなげることを目的に、取組状況に応じて3段階で認証。認証申請時及び認証取得後に、コンサルティング等のサポートを実施。

## 5 協働で事業を行った効果

協働で事業を行ったことにより、市と共同事業者がSDGsに関する知見や市内事業者から寄せられるニーズ・シーズを定期的に共有しつつ、連携して市内事業者等の相談対応を実施することができ、効果的に事業者のSDGs及び脱炭素の取組支援を行うことができました。

### 1 協働契約の相手方

共同事業体 よこはま共創コンソーシアム  
代表団体 株式会社トラストアーキテクチャ

### 2 事業費

14,999,600円（委託費）

### 3 事業内容

現代的な社会課題や複雑な地域課題の解決のために、横浜版地域循環型経済を具現化するプロジェクトとゾーン形成に向けた支援、これらの取組によって達成される市民のウェルビーイングの可視化、寄付の仕組みの検討、共創に関する相談対応及び人材育成、共創・オープンイノベーションにかかる調査・研究、オープンイノベーションの手法や仕組み創発について、委託型の市民協働契約によって取組を推進しました。

### 4 事業実績（主な取組）

#### (1) 共創に関する相談対応・オープンイノベーションの手法や仕組み創発

本市所管部署やNPO団体が抱える課題をテーマとして、民間事業者との対話（ダイアログ）による行政課題の解決やマッチングを図るイベントを実施し、公民連携の案件創出を図りました。（「共創ダイアログ」（10月）及び「YOKOHAMAイノベーションダイアログ」（2月））



#### (2) 情報発信を通じた横浜版地域循環型経済の普及・人材育成

多様な主体による協働・共創の取組をさらに推進していくため、新たな公民連携の発信・対話の場「ヨコラボ2023」を開催。横浜市の小・中学生を対象としたキャリア教育プログラム「はまっ子未来カンパニープロジェクト」と連動した子ども達の協働・共創の取組の発表や議論を通じて、地域活動の楽しさや成功体験の経験を積むための機会を提供しました。（参加者数：1,161名）



### 5 協働で事業を行った効果

専門的な知見を有する企業や地域循環型経済に取り組む主体と連携し、横浜版地域循環型経済を具現化するプロジェクトのゾーン形成に寄与する取組やイベント開催を実施することにより、関係者とのネットワーク構築、プロジェクトの情報発信、人材育成、オープンイノベーションの手法や仕組み創発などを効果的に推進することができました。

(担当区局所管課：国際局政策総務課)

**1 協働契約の相手方**

横浜メディアビジネス総合研究所 (YMBL)

**2 事業費**

5,000,000 円 (負担金)

**3 事業内容**

国際平和に関し市民の理解を深めるための取組の実施、情報発信・広報啓発等

**4 事業実績****(1) 国際平和を学ぶ機会の創出 (12月2日 (土) 開催)**

「平和のために自分たちには何ができるのか考え、行動する」をテーマに、講演会を公開授業形式で実施するとともに、小学生を対象としたワークショップやパネル展等を実施しました。

**ア 講演会 ※テレビ番組連動企画**

講師の戸田隆夫氏が、世界各地で起こる紛争や体験等を踏まえ、中学生へ講義を実施。講義を受け、市内中学生が平和について考え、自らの思いを発表しました。



&lt;講演会の様子&gt;

**イ ワークショップ**

講師の渡邊淳司氏のもと、ウクライナ避難民の話聞き、市内小学生が「わたしのウェルビーイングカード」を使い、平和の実現に必要なこと、私たちにできることを考えました。



&lt;ワークショップの様子&gt;

**ウ パネル展等**

UNHCR駐日事務所、株式会社ユニクロ、平和首長会議、JICA横浜、広島市、神奈川デザイン機構の皆様にご協力いただき、パネル展等を実施しました。

**(2) 映像制作及びメディア等による情報発信**

(1) の企画を番組で放送するほか、YouTubeや新聞による発信を行いました。

**ア tvk「猫のひたいほどワイド」番組枠での放送 (令和5年12月13日 (水))****イ 横浜市公式YouTubeへの掲載 (令和6年2月13日 (火) 公開)**

PART1: <https://x.gd/bmmEn> PART2: <https://x.gd/BwYaf>



&lt;HPの二次元コード&gt;

**ウ 神奈川新聞紙面での記事掲載 (令和6年2月16日 (金) 掲載 全5段記事)**

&lt;tvk番組での放送&gt;



&lt;新聞での掲載&gt;

**5 協働で事業を行った効果**

協働相手が持つネットワーク、情報を活かした企画提案を基にお互いが意見を出し合い、練り上げることで充実した企画とすることができました。また、映像制作や実際の企画運営も、協働相手の持つノウハウや視点を生かしながら、発信力・訴求力の高いものとすることができました。

事業紹介②③

地域の担い手応援事業  
(協働による地域人材の発掘・育成関連事業)

(担当区局所管課：市民局地域活動推進課(各区))

1 協働契約等の相手方・事業費(委託費、負担金等)・事業実績及び内容

区名	講座名称	実施内容	協働契約等の相手方	事業費	事業実績	
					回数	受講者数(※1)
鶴見区	鶴見・まちづくりゼミナール	グループワークや活動事例紹介等を通して、地域課題解決のヒントや仲間づくり・場づくりのコツを学びあう講座を実施した。	NPO法人 れんげ舎	837,060	6	23
神奈川区	神奈川区地域づくり大学校	「つながり活かし合う地域づくり」をテーマに、事例紹介やグループワーク等を通してアクションプランを作成した。	・神奈川区連合町内会自治会連絡協議会 ・NPO法人親がめ	1,420,000	5	26
西区	西区地域づくり大学校	「～住んでいるまちを知って、仲間と出会う～地域のなかでつながる輪」をテーマに、講義、地域活動の現場訪問、先輩修了生の活動紹介や交流、チャレンジプラン作成(地域で活動している方がアドバイザー)・試行等を行った。	特定非営利活動法人市民セクターよこはま	763,000	4	14
中区	中区わが町いきいきゼミナール	R4年度に続き、なか国際交流ラウンジと連携し、外国籍住民を対象に横浜市民防災センターの見学を通じて防災の基礎知識を学び、地域が主体となった防災の取組などを知ってもらおうバスツアーを実施した。また、新たな試みとして、自治会町内会の仕組みや活動内容を理解してもらうことを目的に、外国籍の若者たちと自治会役員との懇談会をゼミナールの一環として開催した。	公益財団法人 横浜国際交流協会	233,490	2	48
南区	「寺子屋みなみ 地域活動ENJOY! トライアル」	「地域活動ENJOY! トライアル」をテーマに、主に子育て世代を対象とした4回の連続講座を開講した。仲間づくりを通して、地域とのつながりの大切さや、地元で仲間と一緒に活動する喜びを知ることが目的とした。2回目の講座では区内の活動者をお招きし、生の声を聞く場も設けた。また、希望者には全4回の講座とは別に「地域活動インターンシップ」として活動団体の見学や地域施設等で行われているボランティア活動に参加してもらった。	NPO法人夢・コミュニティ・ネットワーク	678,886	4	18
港南区	学び舎ひまわり	港南区まちの成り立ちに関する講義、まち歩き、区内活動事例見学・紹介及び意見交換、マイプラン作成等を行った。	・港南区連合町内会長連絡協議会 ・港南区社会福祉協議会	749,336	5	30
保土ヶ谷区	はぐくみ塾	仲間づくり・企画づくり・グループ運営のコツや協働・支え合いの大切さについて学ぶ講座、修了生の活動紹介等を行った。	—	134,369	6	22
	ほどがや楽考	地域活動に興味がある方や現在の活動をさらに発展させたい方を対象に、つながりづくりの講義や活動紹介、中間支援施設の役割紹介、グループワーク、マイプラン作成により、地域活動の担い手の発掘・育成を行った。	—	532,750	5	15
旭区	あさひみらい塾	NPO法人理事長による講演、区内の活動・活動の場の見学、地域活動者による経験談、グループワーク、活動プラン作成・発表等を行った。	—	488,239	5	16
磯子区	いそご地域づくり塾	専門家による講義、地域活動を行っている個人・団体による活動紹介、イベント企画・実施体験を行った。	・磯子区社会福祉協議会 ・NPO法人 夢・コミュニティ・ネットワーク	530,000	5	17
金沢区	ジモ活	地域活動のきっかけとなる機会を創出する。地域活動に関する講義や「自分の棚卸」を実施し、地域での活動事例の紹介や、活動現場の訪問を通じて、地元での活動に繋がった。	・金沢区社会福祉協議会 ・区民活動センター「ゆめかもん」	525,000	5	18
港北区	港北つなぎ塾	地域の市民活動団体やNPO法人、自治会・町内会が、講座やグループワーク等を通じて、連携の事例を知ってもらい、団体が抱える課題の解決や負担軽減に向けて実施した。	—	298,138	2	29
緑区	みどり「ひと・まち」スクール	「夢プラン」を作成することを目的とする、ワークショップや地域活動・まちづくりに関する講義等を実施した。	・緑区市民活動支援センター「みどりーむ」運営委員会 ・緑区社会福祉協議会	416,000	6	14
青葉区	青葉みらいづくり大学校	「地域の「困った」を持ち寄ってみんなのアイデアで「イイネ」に変えよう!」をテーマに、自治会町内会活動の課題を解決するためのきっかけになるマイプランの作成に向けて、学び、交流する場を通じて、自治会町内会で活動する人材の発掘・育成を行った。	NPO法人まちラボ	767,745	5	8
都筑区	都筑スタイル自治会町内会魅力UP集合コンサルティング『防災編』	自主防災をテーマに、楽しく取り組む地域活動についての講義・グループワーク・体験会を実施した。	(株)イータウン	904,808	3	25
戸塚区	戸塚区地域づくり大学校	地域での活動事例の紹介や活動現場の訪問、まちあるきを通じて活動プランを作成した。	・NPO法人くみんネットワークとつか ・戸塚区社会福祉協議会	655,068	4	25
栄区	栄区名人育成講座	地域の新たな担い手の拡大を目指し、屋台メニュー(焼きそば)の調理を題材とした名人育成講座を開催した。自治会町内会関係者に従事者の選出をご協力いただき、受講者の今後の自治会・町内会活動につなげることを目指した。	—	645,522	1	63
泉区	つながる! 地域活動ゼミ	プロボノについての講演、プロボノワーカー体験談の紹介、プロボノワーカー受入先の事例紹介、グループワーク、地域でやってみよう!の発表、中間支援組織と参加者の交流会を実施した。	—	211,443	3	14
瀬谷区	せやまるタウンカレッジ	居場所づくりをテーマに、講義や現場見学、グループワーク、プラン作り等を実施した。	—	486,016	5	13

(※1) 受講者数は1回でも受講していれば含む。また、受講者数は職員も含む

## 2 協働で事業を行った効果

企画の段階から連携して話し合い、理解を深めながらお互いの経験や得意分野を活かすことで、受講生の地域活動に取り組む意識が高まりました。それにより、講座終了後も、市民活動支援センターや地域ケアプラザ等の中間支援組織とともに活動する様子が見受けられました。

### 【事例紹介（鶴見区）】

令和5年度の鶴見・まちづくりゼミナールでは、『「私」を活かす場づくり』をテーマに、経験豊富なコーディネーターやすでに地域で活躍している方たちを講師に迎え、まちづくりのノウハウや仲間づくりのコツについて学びました。具体的には、講師による講義や参加者同士のグループワークに加え、まちのカフェやこども食堂など、実際に場づくりを行う現場への見学会も行いました。また、それらの学びや体験を踏まえ、ゼミナール終盤では、一人ひとりの「場づくりプラン」の作成、完成したプランの発表を行い、個性溢れる多様なアイデアが生まれました。

さらに、ゼミナール終了の2か月後に近況報告交流会を実施し、参加者同士が関わり合いを続けられるような機会を作り、地域活動がしやすくなるよう後押しをしています。

	日程	内容
第1講	令和5年9月30日（土）	【講師、スタッフとの顔合わせ】 講座全体の概要やスケジュール説明
第2講	令和5年10月14日（土）	【講義】 場づくりの3ステップを紹介
第3講	令和5年10月28日（土）	【講義・グループワーク】 組織運営の基本と会議のやり方
第4講	令和5年11月18日（土）	【パネルディスカッション】 生の現場&活動者に触れてみよう
第5講	令和5年12月2日（土）	【場づくりプランの作成】
第6講	令和5年12月16日（土）	【場づくりプラン発表会&修了式】



見学会



講座受講中



交流会

(担当区局所管課：市民局市民協働推進課)

1 協働契約の相手方

認定NPO法人市民セクターよこはま

2 事業費

163,350円 (委託費)

3 事業内容

よこはま夢ファンドでは組織基盤強化支援事業の一環として、NPO法人が安定して継続的に組織を運営していくための組織基盤強化ワークショップを開催しました。

多くのNPO法人を支援している特定非営利活動法人市民セクターよこはまと提携開催をすることで、横浜市内のNPO法人の組織基盤強化の推進に取り組みました。



4 事業実績

日時	参加人数
令和6年3月23日 (土) 10:00~12:30	9名

5 協働で事業を行った効果

横浜市と横浜市市民協働推進センター運営事業を受託している特定非営利活動法人市民セクターよこはまと共にワークショップの企画立案・運営を行うことで、団体が有する、NPO法人及びその支援に関するノウハウや情報、視点など活用し、参加NPO法人のニーズに合った、より効果的なワークショップが開催できたと考えています。

(担当区局所管課：市民局市民協働推進課)

1 協働契約の相手方

認定NPO法人市民セクターよこはま

2 事業費

48,501,000 円 (管理・運営に関する委託費)



3 事業内容

市庁舎1階にて、「横浜市市民協働推進センター」を運営し、総合相談窓口事業、情報の蓄積・活用・発信事業、交流促進事業、市民活動支援事業、各区市民活動支援センター連携・支援事業などを行いました。

4 事業実績

事業名	主な内容 (実績)
総合相談事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談・提案の受付、支援策実現に向けたコーディネート、伴走支援等 (相談件数：1,143 件)</li> <li>団体運営の課題等の相談の場の設定 「市民協働相談会」 (4回)、「土業者相談会」 (4回)</li> </ul>
情報蓄積・活用・発信事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内外における先進事例収集・分析・蓄積</li> <li>収集・蓄積した情報の相談対応やコーディネート及び事業実施への活用</li> <li>ホームページによる情報発信 (各種イベント情報・開催レポート掲載数：48 件、その他お知らせ掲載数：11件)</li> <li>メールマガジン配信 (配信件数：24件)、その他SNS等による情報発信を実施</li> </ul>
人材育成事業	市民協働・市民活動の担い手育成 「市民協働スタートアップ2023」 (4回) 「コラボレーション@スペース」 (2回)
交流促進事業	様々な主体の交流・連携を促す場の提供 「ミズベサロン」 (4回)「ヨコラボ」 (1回)、「市民協働HUB事業」 (2回)
市民活動支援事業	市民活動団体向けの組織基盤整備につながる講座等の開催 「市民活動基礎セミナー」 (3回)、「市民活動 (NPO) 入門セミナー」 (1回)、「市民活動アピールデイズ」 (3回)の開催
各区市民活動支援センター連携・支援事業	各区市民活動支援センターへの相談対応、情報共有 「ネットワーク会議」 (3回)

5 協働で事業を行った効果

市民セクターよこはまと市民局が協働で運営し、積極的な情報交換を行いながら、互いに保有するノウハウや情報、視点、ネットワークなどを共有し、それらを活用することで多角的な協働のコーディネートやイベント等の実施につながりました。

(担当区局所管課：経済局イノベーション推進課)

### 1 協働契約の相手方

横浜市スタートアップ成長支援事業共同企業体  
(三菱地所株式会社、株式会社アドライト、  
株式会社ウィルパートナーズ、株式会社 plan-A)



YOXOBOX

### 2 事業費

52,561,000 円 (委託費)

### 3 事業内容

関内の横浜市スタートアップ成長支援拠点「YOXO BOX (よくぞボックス)」では、スタートアップの成長・発展に向けた YOXO アクセラレータープログラムや横浜ベンチャーピッチ、スタートアップ支援の専門家による個別相談、起業を目指す方等に向けた YOXO イノベーションスクール、イノベーション・エコシステム創出に向けたビジネスイベントなどを実施しています。  
(場所：横浜市中区尾上町一丁目6番 ICON 関内 (1階))



イベントの様子

### 4 事業実績

- ・スタートアップ等の成長支援  
支援対象件数：115 件
- ・ビジネスイベントの実施  
イベント参加者数：延べ 7,635 名
- ・スタートアップと事業会社・支援者等とのマッチング  
マッチング件数：延べ 135 件

### 5 協働で事業を行った効果

経験と実績のある4社からなる共同企業体と横浜市が協働することで、それぞれが持つノウハウやネットワークを活かし、スタートアップや起業家の成長・発展支援に向けた事業を進めることができました。

(担当区局所管課：経済局イノベーション推進課)

## 1 協働契約の相手方

株式会社ウィルパートナーズ

## 2 事業費

2,991,450円(委託費)



ウェブサイト「スタートアップポートヨコハマ」

## 3 事業内容

ウェブサイト「スタートアップポートヨコハマ」において、横浜での創業者や創業間もない企業、スタートアップに向けて、「横浜市の創業やスタートアップ支援に関する施策情報」・「官民合わせた様々な支援や関連イベント情報」・「本市施策等を活用し活躍している起業家の情報」などを幅広く発信し、横浜が創業やスタートアップを応援していることを広くPRし、多様なプレイヤーが参加する「スタートアップ・エコシステム形成に向けた風土づくり」に向けた取り組みを実施する。

- ・創業、スタートアップ関連情報の収集、セミナー、イベント、助成金情報等の配信
- ・起業家への取材、インタビュー記事の配信
- ・メールマガジン、Facebook、X(旧Twitter)の配信

## 4 事業実績

- ・セミナー、イベント、支援施策等記事 160件/年
- ・助成金記事 34件/年
- ・インタビュー記事掲載 6件/年
- ・メールマガジン発行数 16回/年

### 【R5年度アクセス等数値】

- ・ウェブPV数(閲覧者数) 225,807回/年
- ・メルマガ会員数 1,680人(R6.3月末時点)
- ・Facebook「いいね!」数 668件/年
- ・X(旧Twitter)フォロワー数 406人(R6.3月末時点)

## 5 協働で事業を行った効果

協働で実施することで、団体の情報収集力を生かして、行政の事業に限らず、幅広い実施機関の創業・スタートアップ支援に関する情報を、時宜をとらえて配信し、創業期の企業の成長支援と、多様なプレイヤーが参加する「スタートアップ・エコシステム形成に向けた風土づくり」に向けた取り組みを実施することができました。

(担当区局所管課：経済局イノベーション推進課)

## 1 協働契約の相手方

横浜未来機構

## 2 事業費

8,492,000 円（委託費）

## 3 事業内容

- ①スタートアップの革新的な技術やアイデアの事業化に向けた実証実験等のコーディネート・マッチング、効果検証を行い、継続的なフォローを行う。
- ②市場ニーズ検証の実施を行う。市場ニーズ検証の枠組みは、横浜市内の様々なバックグラウンドを持つ人材が集まるコミュニティと連携し、スタートアップの市場ニーズを把握したいという希望に対して、インタビューやブレインストーミングから様々な意見を得ることが出来るだけでなく、継続的なニーズ検証が実施できるよう意欲の高いモニター群の構築を意識した枠組みの構築を行った。

## 4 事業実績

- ①応募 11 件、採択 10 件
- ②市場ニーズ検証 2 回実施（市場ニーズ検証を行いたいと希望する企業および団体、計 7 者（内スタートアップ 2 者）が、イベントを通じて市場ニーズ検証を実施）

## 5 協働で事業を行った効果

実施したスタートアップからは、「実証実験のサイクルを何度も回して製品の効果検証ができたことは非常に大きかった」、「課題が具体化され、今後の開発の方針が見えたことも大きな成果だった」といった声をいただいていることから、本事業がスタートアップの成長支援に寄与したといえる。

また、多様な企業を会員として有し、地域の団体とも連携関係を有する横浜未来機構と協働することで、社会のニーズに応え、課題解決に挑戦するスタートアップを応援する土壌の形成に資することができた。



(担当区局所管課：経済局イノベーション推進課)

### 1 協働契約の相手方

横浜未来機構

### 2 事業費

19,992,060円（委託費）

### 3 事業内容

イノベーションやデジタルトランスフォーメーションを担う人材を育成する講座やワークショップを大学・企業等との連携により実施するとともに、起業や事業化について学びたい人が、講座の検索から申込までをワンストップで行えるウェブサイトを開発しました。

また、次世代を担う人材を輩出していくため、学生を対象とした起業家マインド修得のためのインターンシップを実施しました。さらに、プログラム参加者や育成者等の交流機会を提供することで、組織や領域を越えたイノベーション人材のコミュニティを形成し、市内において新ビジネスを生み出していく環境づくりを行いました。



### 4 事業実績

- ・大学等と連携したイノベーション人材育成プログラム  
講座数52件（うち新規講座15件）  
講座参加者延べ人数…561名
- ・インターンシップ・プログラム  
学生と受入企業のマッチング…32件
- ・成果発表会・交流会…2回



ワークショップの様子  
(令和5年10月開催)

### 5 協働で事業を行った効果

横浜未来機構と協働することで、団体の会員ネットワークを最大限に活用して、企業や大学等と効果的に連携して人材育成プログラムを展開し、市内において新ビジネスを生み出していく環境づくりにつなげることができました。

(担当区局所管課：経済局イノベーション推進課)

1 協働契約の相手方

横浜未来機構

2 事業費

3,993,000円 (委託費)



3 事業内容

様々なスキルやリソースを必要とするスタートアップや新事業展開等を考える中小企業を対象に、副業・兼業人材活用に関する無料相談窓口を設置し、経営課題の明確化や人材募集要項の作成等のサポートを行い、ニーズに沿った副業・兼業人材とのマッチングをサポートしています。

- (1) 無料相談窓口
- (2) セミナー
- (3) マッチングサービス



4 事業実績

●相談窓口設置

横浜未来機構内にコーディネートスタッフを配置し、個別相談や伴走支援を実施

●セミナー開催 3回

Skill Shift を講師に招き、副業人材活用セミナー開催副業・兼業人材の活用事例集を作成し配布

●マッチング成立件数 7例

マッチングに向けた人材募集件数 14件

受入企業（副業・兼業人材を受入・活用する企業）の開拓  
受入企業のニーズ確認、副業・兼業人材募集要項作成の支援

5 協働で事業を行った効果

受託者が有するネットワークを活用した受入企業の開拓に加え、委託者側でも受入企業開拓のための周知広報を積極的に行い、また相互にその情報を共有することで、より幅広い企業へのアプローチを行うことができた。

今後の課題として、いかに多くの企業に対し副業・兼業人材活用のメリットを伝えることができるかが非常に重要なポイントとなるため、活用ニーズが高いスタートアップへの訴求や、支援者側への効果的なアプローチ施策が必要である。

(担当区局所管課：経済局ものづくり支援課)

### 1 協働契約の相手方

パーソルキャリア株式会社

### 2 事業費

4,730,000 円 (委託費)

### 3 事業内容

市内中小企業の人材確保を支援するために、多くの求職者が登録しているサイト運営企業と連携し、ニーズの高い有料の人材採用サービスを少ない負担で利用できるようにすることで、企業と求職者とのマッチングを進めました。

具体的には、

- ①有料サイトへの求人掲載支援
- ②有料サイトへ登録している求職者に対する広報
- ③採用力強化につながるセミナー実施
- ④応募者数が少ない企業への求人広告修正アドバイスをいたしました。

### 4 事業実績

- (1) 求人票掲載企業数：200 社
- (2) 求人票掲載企業の応募獲得率：約 85 %
- (3) 採用力強化セミナーの実施：2回
  - ・第1回：「他社と差がつく！正しい求人票の作り方」
  - ・第2回：「応募者をファンにさせる！選考の進め方」
- (4) 求人広告修正アドバイス利用企業数：13 社

### 5 協働で事業を行った効果

協働相手であるパーソルキャリア株式会社と事業の目的を共有し、積極的に意見交換を行いながら、広報やセミナーの内容を検討することで、事業者のニーズに合った事業を効果的・効率的に実施することができました。

その結果、掲載社数上限の200社の事業者に求人票を掲載いただき、セミナーを通じて魅力的な求人票の作成方法や最新の面接の進め方をしっかりと理解してもらうことで、求人票掲載企業の約85%が応募者を獲得できました。



### 1 協働契約の相手方

関内イノベーションイニシアティブ株式会社

### 2 事業費

3,000,000円（委託費）

### 3 事業内容

商店街で様々な活動をしている会員等をプロジェクトメンバーとして集め、事例研究やグループワークによる意見交換（研究会）、他の商店街への視察（フィールドワーク）などを通じて、メンバー自らが商店街の強みや魅力に気づき、今後の商店会組織や活動の方向性を見出せるよう支援し、ニューノーマル社会における商店街の在り方を検討しました。

また、これまでの検討成果をまとめ、事例集として公開しました。

### 4 事業実績

- ・キックオフミーティングの開催… 1回
- ・研究会の開催… 3回
- ・フィールドワークの実施… 2回
- ・事例集の作成及び公開

### 5 協働で事業を行った効果

市内商店街の共通の課題や目標に対して、行政と民間のそれぞれの立場から行えることをそれぞれのリソースや知見から合理的に選択し、事業を行うことができた。

また、それぞれの立場で得られる情報の違いや、他業務から得られた手法や知見などを共有することで、単体で事業を実施するよりも幅広くより柔軟な体制を構築し、参加者に対応することができた。



キックオフミーティングの様子  
（市民協働推進センター）



フィールドワークの様子  
（六角橋商店街）

(担当区局所管課：こども青少年局地域子育て支援課（各区））

### 1 協働契約の相手方

市内で子育て支援の活動実績を有するNPO法人、保育所等の児童福祉施設を運営する社会福祉法人等

### 2 事業費

11,803,340,693円（管理・運営に関する委託費等）

### 3 事業内容

就学前の子どもとその保護者が遊び、交流するスペース「親子の居場所」の提供、子育てに関する相談、子育て情報の提供、子育て家庭のニーズに応じた事業・施設の利用支援等を行うとともに、地域で子育て支援に関わる方のネットワークづくりや人材育成を行う拠点を、全区で運営しています。

### 4 事業実績 <各区の地域子育て支援拠点>

区名	拠点名称	協働契約の相手方
鶴見区	わっくんひろば、わっくんひろばサテライト	社会福祉法人 青い鳥
神奈川区	かな一ちえ、かな一ちえサテライト	特定非営利活動法人 親がめ
西区	スマイル・ポート	特定非営利活動法人 シャーロックホームズ
中区	のんびりんこ	公益財団法人 横浜YMCA
南区	はぐはぐの樹	特定非営利活動法人 さくらザウルス
港南区	はっち	特定非営利活動法人 ちゅーりっぷ
保土ヶ谷区	こっころ、こっころサテライト	特定非営利活動法人 ピアわらべ
旭区	ひなたぼっこ、ひなたぼっこサテライト	特定非営利活動法人 子そだちしえん・あさひ
磯子区	いそピヨ	社会福祉法人 青い鳥
金沢区	とことこ	公益財団法人 横浜YMCA
港北区	どろっふ、どろっふサテライト	特定非営利活動法人 びーのびーの
緑区	いっば、いっばサテライト	特定非営利活動法人 グリーンママ
青葉区	ラフル、ラフルサテライト	特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ パレット
都筑区	Popola（ポポラ）、Popola サテライト	特定非営利活動法人 こども応援ネットワーク
戸塚区	とつとの芽、とつとの芽サテライト	特定非営利活動法人 子育てネットワークゆめ
栄区	にこりんく	社会福祉法人 地域サポート虹
泉区	すきっふ	特定非営利活動法人 ちょこっといずみ
瀬谷区	にこてらす	特定非営利活動法人 さくらんぼ

### 5 協働で事業を行った効果

協働契約書の作成時から、対等な立場で区と事業者が議論し、目標、計画、役割分担を定め、お互いが共有することにより、地域の子育て支援活動の実績を有する事業者のノウハウやアイデア等を活かし、地域の特性や実情を踏まえたきめ細かな子育て支援を区と事業者が一緒になって行うことができました。

(担当区局所管課：こども青少年局こどもの権利擁護課)

### 1 協働契約の相手方

特定非営利活動法人かながわ女のスペースみずら

### 2 事業費

1,764,224円(補助金)

### 3 事業内容

#### (1) 個別支援事業(愛称：りらサポート)

生活リスクを抱えた女性に対し、公民の特性を生かした支援を双方向で実施する。相談者のニーズを基に、定期面接、同行支援などを組み合わせて、必要に応じ公的サービスにつなげ、生活リスクの軽減や生活状況の安定を目指し、支援を実施する。

#### (2) テーマ別ホットライン

相談ニーズが高いテーマに対し、受付日時を設定した専用回線での電話相談を実施する。また、その中で把握した対象者を必要に応じてりらサポートや横浜市の女性福祉相談につなげる。

#### (3) 出張相談

申請者は、地域子育て支援拠点や認可外保育所等に出向き、出張相談を実施する。また、その中で把握した対象者を必要に応じてりらサポートや横浜市の女性福祉相談につなげる。

#### (4) 医療・心理分野と連携したDV被害者の回復期支援

医師や心理カウンセラー等によるピアカウンセリング講座等を開催し、医療・心理分野と連携したDV被害者の回復期の支援を行う。

### 4 事業実績

事業名	実績
りらサポート	電話相談や面談など延べ139回の支援を実施。
テーマ別ホットライン	令和5年11月及び令和6年2月に実施。 相談件数：計18件。
出張相談	随時実施
医療・心理分野と連携したDV被害者の回復期支援	臨床心理士や精神科医を講師に迎えた講座を令和6年2月、令和6年3月に実施。参加者：計50名。

### 5 協働で事業を行った効果

協働で相談支援事業を行うことで、相談時間の柔軟な対応、同行支援・出張相談などの細やかな相談体制の充実、民間から行政相談窓口への円滑な連携、相談窓口の周知やNPO法人が行う相談支援活動の信頼性が高まるなどの効果がありました。

(担当区局所管課：健康福祉局生活支援課（援護対策担当）)

## 1 協働契約の相手方

特定非営利活動法人 横浜コミュニティデザイン・ラボ

## 2 事業費

29,575,471 円（委託費）

## 3 事業内容

寿地区の住民、地区内外の各種団体及び事業者等とともに、寿地区のまちづくり・地域支援を目的とする仕組みづくりや取組を行い、住民や地域で活動する方々との対話を大切に、連携を地域の力とする事業を展開しています。

- 【ことぶき協働スペースの事業6つの柱】
- ① 地区内外の団体等と進めるまちづくり
  - ② 地域支援に必要な取組の企画実施
  - ③ 団体等の連携と交流の推進
  - ④ ボランティア活動の促進
  - ⑤ 寿地区に関する情報収集・発信
  - ⑥ 寿地区で行う調査研究の支援等

## 4 事業実績

### (1) 地域連携事業

地域の医療・介護関係者、簡易宿泊所管理者等で組織される地域連携会議や「寿歴史研究会」、寿地区でドキュメンタリー映画の文化的土台づくりを目指す「ヨコハマDOCS」の事務局を担い、寿地区における現状の情報共有や歴史の考察、意見交換等に努め、高齢化に伴う社会的孤立等の課題を整理したほか、横浜市寿町健康福祉交流センターや地域の方と連携して、ものづくり等のワークショップを実施しました。また、寿地区で築かれてきた自治と連帯の活動や共生社会への関わりの実践事例から「協働」の理解を深めるフォーラムや寿地区の地域作業所や伴走支援をテーマとしたサロンを開催しました。

### (2) 住民参加型事業

住民が人生観を語る「寿・人生カタリバ」を定期開催し、住民同士の交流やボランティアとの協働が進みました。また、住民自ら主体的に企画運営を行う「きょうどうガーデン」や、廃材活用のワークショップにより、住民の特技や趣味を活かせる場面をつくりました。



&lt;きょうどうガーデン&gt;

### (3) 広報事業

広報誌「テラス」を定期的に発行し、協働の取組の特集記事や活動レポート、簡易宿泊所管理者インタビュー、お薦め図書などのシリーズ掲載に加え、新たに寿地区内向け広報誌の瓦版「LAMP」を創刊した他、WebやSNSを活用し、日々の活動などを地区内外へ情報発信しました。



&lt;広報誌「テラス」、瓦版「LAMP」&gt;

## 5 協働で事業を行った効果

地域資源を生かした課題解決やネットワークづくりの知見を持つ特定非営利活動法人横浜コミュニティデザイン・ラボと協働することで、寿地区のまちづくり・地域支援に必要な取組を行うことができ、地区内外の団体等の連携や住民同士の交流が進みました。

(担当区局所管課：健康福祉局健康推進課)

## 1 協働契約の相手方

- ・株式会社NTTドコモ
- ・TOPPAN株式会社
- ・オムロン ヘルスケア株式会社



## 2 事業費

340,403,864円 (委託費等)

## 3 事業内容

18歳以上の横浜市民等を対象に、ウォーキングを通して日常生活の中で楽しみながら継続して健康づくりに取り組んでいただく事業です。

専用のアプリをダウンロードしたスマートフォンもしくは歩数計を持って歩いた歩数に応じて、ポイントが付与されます。貯まったポイントに応じて抽選で景品が当たります。

## 4 事業実績

「楽しみながら健康づくり」という本事業のしくみは、横浜市民等の高い関心を引き出すことにつながり、令和5年度末までに37万人以上の方にご参加いただいています。

また、大学などの研究機関と行った事業検証の結果、高血圧の新規発症抑制や、高齢者の運動機能維持への効果も確認されています。

令和5年度は、合計4回（サンモール洋光台こどもハロウィンまつり、第42回中山まつり、第10回シニアの祭典、第34回よこはまシティウォーク&ウェルネスフェス）のイベントにブースを出展しました。ブースでは、歩数計リーダーを設置し参加者の声を直接伺いながら、アプリの使い方相談やアプリのインストール支援を行いました。



第34回よこはまシティウォーク&ウェルネスフェスの様子

## 5 協働で事業を行った効果

歩数計リーダーの維持管理、歩数計アプリシステムの運用及びインセンティブの提供など、民間事業者との役割分担により効率的に事業を実施することができました。

(担当区局所管課：資源循環局3R推進課)

## 1 協働契約の相手方

横浜メディアビジネス総合研究所(YMBL)

## 2 事業費

6,000,000円(負担金)

## 3 事業内容

SDGs(持続可能な開発目標)の達成を推進するため、世界的な課題である食品ロス削減及びプラスチック問題の解決に向け、様々な企業・団体との連携を進めるとともに、市民や企業・団体に対し、食品ロス削減及びプラスチック問題に関する情報の共有・収集・発信を行い、市民の行動の推進と企業・団体活動への波及を目指します。

## 4 事業実績

### (1) メディアやWEBサイトを活用したプロモーション

食品ロス削減に関するWEBサイト「YOKOHAMA FOOD LOVE」及び、プラスチック対策に関するWEBサイト「YOKOHAMA RePLASTIC」を運営し、企業や団体の取組の紹介のほか、イベント情報などを掲載しました。



### (2) YOKOHAMA RePLASTICフォーラム

事業者の取組を紹介するブース出展や関係者による講演など、様々な事業者のプラスチック対策やSDGsに関する取組を共有する場として、フォーラムを開催しました。

実施日時：令和5年11月24日(火)12:00~16:00

実施場所：横浜市役所1F アトリウム

来場者数：300名



## 5 協働で事業を行った効果

企業・団体の視点で企画し、また、YMBLが持つネットワークを活用したことで、様々な業種にわたり取組を進めることができたほか、取組の中で、新たな企業・団体と関係を構築することができ、今後の活動の可能性を広げることができました。

## 1 協働契約の相手方

特定非営利活動法人市民セクターよこはま

## 2 事業費

993,977円（委託費）

## 3 事業内容

「第2期 横浜市空家等対策計画」における空家の流通・活用に関する取組として、「空家の総合案内窓口」等と連携し、市民活動団体、企業、地域団体等からの相談対応、空家等情報の提供及び地域活用の実現に向けた支援を行うなど、空家の地域活用に係るコーディネートを行いました。

## 4 事業実績

### (1) 空家に関する相談・活動団体登録状況

- ・相談件数：88件
- ・登録件数：16件

### (2) マッチングの状況

- ・対話の場の設定数：3物件、5団体
- ・マッチング成立数：0件

### (3) 普及啓発

- ・市内小学校の総合学習の場で、空家対策の取組を紹介（令和5年7月5日）
- ・専門家団体主催のセミナーで、空家活用の取組やマッチング制度を紹介（令和6年1月19日）

## 5 協働で事業を行った効果

多様な市民活動・地域活動の支援のノウハウや実績を持つ団体との協働により、空家を活用した地域貢献活動の実現に向けた相談対応や伴走支援が効果的に行われるとともに、空家所有者と活動団体との円滑な対話の場の設定につながりました。

また、小学校への出前講座や専門家団体主催のセミナーにおいて、協働で講師を務めることにより、より効果的に普及啓発を行うことができました。

(担当区局所管課：建築局住宅再生課)

## 1 協働契約の相手方

- ・一般社団法人 神奈川県マンション管理士会
- ・特定非営利活動法人 建物ドクターズ横浜
- ・特定非営利活動法人 横浜マンション管理組合ネットワーク
- ・特定非営利活動法人 日本住宅管理組合協議会神奈川県支部

## 2 事業費

1,900,000円（負担金）

## 3 事業内容

管理組合が抱えている課題の解決を図るため、横浜市とマンション関連4団体が協働して、マンション管理組合の交流会やセミナー等を実施しました。交流会では、マンションの管理組合関係者とマンション管理士等の専門家が、管理組合が抱える課題をテーマに意見交換を行いました。

## 4 事業実績

令和5年度の実績

- ・各区交流会：計216回、延べ1,360管理組合の参加。
- ・セミナー（ソフト編）：オンラインで実施、動画を作成し、HPに掲載。（8/25～）
- ・セミナー（ハード編）：オンラインで実施、動画を作成し、HPに掲載。（2/22～）
- ・全市版WEB交流会：管理組合を対象に12回実施。



各区交流会

## 5 協働で事業を行った効果

横浜市内に存するマンション管理組合の管理運営に関する諸問題を解決する一助となるように、毎月各区での交流会や年2回のセミナーを開催したほか、市内全域の管理組合同士の交流の場としてWEB交流会を開催し、管理組合としての基礎知識の習得を促し、管理組合の適正な運営に寄与しました。

(担当区局所管課：都市整備局地域まちづくり課)

### 1 協働契約の相手方

- ・ 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま
- ・ 横浜市住宅供給公社

### 2 事業費

7,975,000円（コンテストの企画及び運営などに関する委託費）

### 3 事業内容

地域の課題解決や魅力向上のための施設整備に関する市民からの提案について、整備助成対象を選考するための公開コンテスト（二段階）を開催しました。

施設整備を提案した市民団体の支援や市民主体のまちづくりを啓発する広報を実施しました。

### 4 事業実績

- (1) 1次コンテスト（7月9日）
- (2) 活動懇談会・整備成果報告会（9月23日）
- (3) 2次コンテスト対象提案整備予定地視察（10月29日）
- (4) 2次コンテスト（1月28日）
- (5) ヨコハマ市民まち普請事業部会運営（通年）
- (6) ヨコハマ市民まち普請事業広報（チラシ等作成・通年）



1次コンテスト発表の様子

### 5 協働で事業を行った効果

市民活動の支援やまちづくりの支援実績があるNPO法人等と協働することで、それぞれの団体のノウハウを生かした提案団体への支援や、わかりやすい公開コンテストの運営、ネットワークを生かした広報活動など、まち普請事業をより効果的に進めることができました。



2次コンテスト質疑の様子

## 〈参考〉 横浜市市民協働条例

○横浜市市民協働条例

平成24年6月25日

条例第34号

横浜市市民協働条例をここに公布する。

横浜市市民協働条例

横浜市市民活動推進条例(平成12年3月横浜市条例第26号)の全部を改正する。

横浜市では、これまで多くの市民の努力のもとに、自主的で自由な市民の活動に幅広く支援が行われてきた。特に不特定多数のもの利益の増進に寄与することを目的とした市民の活動の支援を推進するとともに、市民協働の発展にも力を注いできた。

広範で豊かな市民の活動があつて、初めて市民協働も進展していくのである。

いま時代の展開とともに、市民協働の現場からは、より適切なパートナーシップの構築のため、協働で行う事業の進め方等について、新たな規範を定める必要性が指摘されてきた。

市民協働は、行政と市民、市民団体及び地縁による団体等市民協働を実施するものたちの協議によって個々に形づくられていくものである。そのため、市民協働の形態も多岐にわたることになる。

このような市民協働による社会は、自ら目指すところにより活動していくための自由と権利が保障されている社会であるとともに、お互いを尊重し合い、自己のみの利益追求ではなく、相互に助け合うことのできる社会である。

ここに、市民協働を進める上で必要となる横浜市の責務と踏まえておくべき基本的事項を定め、市民の活動や市民協働の環境を整備するとともに、市民の知恵や経験を市政に反映することにより協働型社会の形成を図るものである。

### 第1章 総則

#### (目的)

第1条 この条例は、市民協働に関する基本的事項を定めることにより、市民等が自ら広く公共的又は公益的な活動に参画することを促進し、もって自主的・自律的な市民社会の形成に資することを目的とする。

#### (定義)

第2条 この条例において「市民等」とは、市民、法人、地方自治法(昭和22年法律第67号)第260条の2第1項に定める地縁による団体及びこれらに類するものをいう。

2 この条例において「市民協働」とは、公共的又は公益的な活動及び事業を横浜市(以下「市」という。)と市民等とが協力して行うことをいう。

3 この条例において「市民公益活動」とは、市民等が行う公共的又は公益的な活動をいう。

- 4 この条例において「市民協働事業」とは、市と市民等が第8条に定める基本原則に基づいて取り組む事業をいう。
- 5 この条例において「中間支援組織」とは、市と市民等を相互に媒介し、市民等の自立と課題解決を支援するため、市民等のネットワーク化と交流促進、情報収集と提供、相談とコンサルティング、調査研究、人材育成と研修、活動支援と助成又は政策提言等を行う組織をいう。

(市の責務)

- 第3条 市は、市民公益活動及び市民協働事業が円滑に行われるために、情報の提供並びに人的、物的、財政的及び制度的にできる限りの支援をしなければならない。
- 2 市は、営利を目的とせず、自主的に行う、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする活動が活発に行われる環境づくりに努めるものとする。

(市民等の責務)

- 第4条 市民等は、市から財政的支援を受けた市民公益活動及び市民協働事業については公正に行わなければならない。
- 2 市民等は、その特性を生かしながら市民協働事業を行うとともに、活動内容が広く市民の理解を得られるように努めなければならない。

第2章 市民協働

第1節 市民公益活動

(市民公益活動)

- 第5条 市は、市民等が行う市民公益活動(次の各号に掲げるものを除く。)を特に公益性が高いと判断したときは、活動場所の提供及び財政的支援をすることができる。
- (1) 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的とする活動
  - (2) 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的とする活動
  - (3) 特定の公職(公職選挙法(昭和25年法律第100号)第3条に規定する公職をいう。以下同じ。)の候補者(当該候補者になろうとする者を含む。)若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする活動
  - (4) 営利を主たる目的とする活動

(市民活動推進基金)

- 第6条 市民公益活動を財政的に支援するために、市に横浜市市民活動推進基金(以下「基金」という。)を設置する。
- 2 市が基金に積み立てる額は、歳入歳出予算をもって定める。
  - 3 基金に属する現金は、金融機関への預金その他の確実かつ有利な方法により保管しなければならない。
  - 4 基金の運用から生ずる収益は、歳入歳出予算に計上して、基金に積み立てるものとする。
  - 5 基金は、その設置の目的を達成するために必要がある場合に限り、その全部又は一部を処分することができる。

(支援申請等)

- 第7条 市民等は、市から助成金の交付、施設の優先的使用等特別な支援を受けて市民公益活動を行うときは、あらかじめ規則で定める書類を市長に提出しなければならない。
- 2 市民等は、前項の活動が終了したときは、速やかに、事業報告書を市長に提出しなければならない。
  - 3 市長は、必要があると認めるときは、前2項の規定により提出された書類について、当該市民等に報告又は説明を求め、その結果に基づいて必要な措置を講ずることができる。
  - 4 市長及び当該市民等は、規則で定めるところにより、第1項及び第2項に規定する書類又はその写しを一般の閲覧に供しなければならない。

第2節 市民協働事業

(市民協働事業の基本原則)

- 第8条 市及び市民等は、次に掲げる基本原則に基づいて、市民協働事業を行うものとする。
- (1) 市及び市民協働事業を行う市民等は、対等の立場に立ち、相互に理解を深めること。
  - (2) 市及び市民協働事業を行う市民等は、当該市民協働事業について目的を共有すること。
  - (3) 市及び市民協働事業を行う市民等は、当該市民協働事業について、その情報(第13条に規定する秘密を除く。)を公開すること。
  - (4) 市及び市民協働事業を行う市民等は、相互の役割分担を明確にし、それぞれが当該役割に応じた責任を果たすこと。
  - (5) 市は、市民協働事業を行う市民等の自主性及び自立性を尊重すること。

(市民協働事業を行う市民等の選定)

- 第9条 市長は、市の発意に基づき市民協働事業を行おうとするときは、その相手方となる市民等を公正な方法により選定しなければならない。
- 2 市長は、市民協働事業の相手方となる市民等の選定に当たっては、当該市民協働事業に必要な技術、専門性、サービスの質その他の事業を遂行する能力を総合的に考慮しなければならない。

(市民協働事業の提案)

- 第10条 市民協働事業を行おうとする市民等は、市に対し、市民協働事業を提案することができる。
- 2 市長は、前項の提案が行われたときは、速やかに、当該提案を審査し、採用の可否を決定し、理由を付して提案者に通知しなければならない。この場合においては、前条第2項の規定を準用する。

(自主事業)

- 第11条 市民協働事業を行う市民等は、当該市民協働事業に支障がない限り、当該市民協働事業以外の事業(以下「自主事業」という。)を当該市民協働事業とともに行うことができる。
- 2 市民等は、自主事業を行うときは、あらかじめ市に届け出るものとする。自主事業を終了したときも同様とする。

(協働契約)

第12条 市は、第9条第1項の選定又は第10条第2項の決定により市民協働事業を行う場合は、規則で定める軽易なものを除き、当該市民協働事業を行う市民等と市民協働事業に関する契約(以下「協働契約」という。)を締結するものとする。

2 前項の協働契約には、事業目的、事業の進め方並びに役割、費用及び責任の分担その他規則で定める事項を定めるものとする。

(秘密の保持)

第13条 市民協働事業を行う市民等は、当該市民協働事業を行うにつき知り得た秘密を漏らしてはならない。当該市民協働事業が終了した後も、また同様とする。

(負担)

第14条 市は、市民協働事業を行う市民等に対して、公益上必要な負担を負うものとする。この場合において、市は、市民等の自主性及び自立性を重んじるとともに、効率的・効果的なものとななければならない。

(事業評価)

第15条 市及び市民等は、当該市民協働事業の終了後(当該市民協働事業が年度を越えて継続する場合は、年度終了後)に、事業の成果、役割分担等について、相互に評価を行うものとする。

2 前項の規定により評価を行った場合には、当該評価を公表するものとする。

### 第3節 中間支援組織

(中間支援組織)

第16条 市及び市民等は、市民協働事業を円滑に進めるため、中間支援組織の育成に努めるものとする。

2 市及び市民等は、中間支援組織の助言に対して誠実に対応するものとする。

### 第3章 市民協働推進委員会

(市民協働推進委員会)

第17条 市民協働の推進に関し必要な事項を調査審議するため、市長の附属機関として、横浜市市民協働推進委員会(以下「市民協働推進委員会」という。)を置く。

2 市民協働推進委員会は、市民協働の推進に関し必要な事項について、市長に意見を述べることができる。

3 市民協働推進委員会に、必要に応じ部会を置くことができる。

(組織)

第18条 市民協働推進委員会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が任命する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 市民等

(3) 前2号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

(委員の任期)

第19条 前条第2項の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前条第2項の委員は、再任されることができる。

#### 第4章 雑則

(報告)

第20条 市長は、市における市民協働の取組み状況について、適宜、議会に報告するものとする。

(読替え)

第21条 水道事業、交通事業及び病院事業並びに教育委員会において行う市民協働については、この条例(第3章及び附則第1項を除く。)の規定中「市長」とあるのは「公営企業管理者」又は「教育委員会又は教育長」と、「規則」とあるのは「企業管理規程」又は「教育委員会規則」と読み替えるものとする。

(委任)

第22条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

#### 附 則

(施行期日)

1 この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成25年2月規則第13号により同年4月1日から施行)

(適用)

2 この条例は、この条例の施行の日以後に始める市民協働から適用し、同日前に現に行われている市民協働については、なお従前の例による。

(見直し)

3 この条例の施行の日から起算して3年ごとに、この条例の施行状況について検討を加え、その結果に基づいて見直しを行うものとする。



# 【 資 料 編 】

---

## 各区局における協働事業

令和5年度において、市民等と本市が協働の6原則に則って取り組んだ事業は266事業あり、そのうち、区役所が所管した協働事業は143事業、局が所管した協働事業は123事業です。

## (1) 分野ごとの事業数について

## 【令和5年度 横浜市における協働事業数（分野別）】

分 野		事業数		
		区	局	合計
1	市民活動・地域活動に関する事業	66	13	79
2	環境の保全に関する事業	23	22	45
3	保健・医療・福祉に関する事業	14	15	29
4	まちづくりの推進に関する事業	15	15	30
5	子ども・青少年の健全育成に関する事業	8	16	24
6	文化・スポーツ・生涯学習の振興に関する事業	12	17	29
7	人権・男女共同参画に関する事業	0	5	5
8	防災・災害救援活動に関する事業	2	2	4
9	職業能力の開発・雇用機会の拡充に関する事業	0	0	0
10	経済活動の活性化・消費生活に関する事業	1	8	9
11	防犯・地域安全活動に関する事業	1	4	5
12	その他調査・研究等	1	6	7
合 計		143	123	266

## 【参考】協働の6原則

- ① 対等の原則（市民活動と行政は対等の立場に立つこと）
- ② 自主性尊重の原則（市民活動が自主的に行われることを尊重すること）
- ③ 自立化の原則（市民と行政、双方が自立した存在で協働を進めること）
- ④ 相互理解の原則（市民活動と行政がそれぞれの長所、短所や立場を理解しあうこと）
- ⑤ 目的共有の原則（協働に関して市民活動と行政がその活動の全体または一部について目的を共有すること）
- ⑥ 公開の原則（市民活動と行政の関係が公開されていること）

（市民と行政のための協働ハンドブック「Let's 協働入門」より引用）

## (2) 区役所所管の協働事業&lt;一覧表&gt; (142事業)

事業名	所管課	ページ
鶴見区新たなチャレンジ応援事業（補助金）	鶴見区 区政推進課	資-10
「鶴見コンシェルジュ養成講座」の開催	区政推進課	
大学連携事業（鶴見大学及び横浜商科大学）	区政推進課	
環境行動推進事業	区政推進課	
かながわ地域支援補助金事業（スタートアップコース）	神奈川区 区政推進課	
かながわ地域支援補助金事業（地域づくり大学校卒業生支援コース）	区政推進課	
かながわ地域支援補助金事業（地域人材マッチングコース）	区政推進課 地域振興課	
助っ人BANK	地域振興課	
神奈川区すくすくかめっ子事業	こども家庭支援課	
温暖化対策・SDGsの推進に向けた取組	西区 区政推進課	資-11
緑化の取組	区政推進課	
西区地域のつながりを育み強める補助金	区政推進課	
西区まちづくりアドバイザー派遣	区政推進課	
西区地域づくり大学校修了生支援補助金	区政推進課	
神奈川大学連携事業	区政推進課	
にしく市民活動支援センター運営事業【本編10ページ】	地域振興課	
初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業	中区 区政推進課	
SDGs推進事業	区政推進課	
大学・企業等連携事業	区政推進課	資-12
食育マルシェ	福祉保健課	
中区ダンスフェスティバル	地域振興課	
YC&AC中区キッズフットサル大会	地域振興課	
ENEOS杯中区少年フットサル大会	地域振興課	
なか区ブックフェスタ	地域振興課	
本活コミュニケーション	地域振興課	
地域活性化とまちの賑わいづくり支援事業	地域振興課	
地域運営力向上サポート事業	地域振興課	
区の花「さくら」普及啓発活動	南区 区政推進課	資-13
脱炭素行動PR事業	区政推進課	
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ運営事業【本編11ページ】	地域振興課	
南区地域の力応援補助金	地域振興課	
南区地域福祉保健計画チャレンジ支援事業	福祉保健課	
みんなでつくるふるさと港南事業	港南区 区政推進課	
港南区地球温暖化対策推進事業	区政推進課	
港南区地域力アップ補助金	地域振興課	

事業名	所管課	ページ
港南区地域活動ICT導入補助金	港南区 地域振興課	資-13
港南区元気な地域づくりフォーラム	地域振興課	
港南区民活動支援センター運営事業【本編12ページ】	地域振興課	
港南区区民企画運営講座	地域振興課	
自治会町内会向けICT活用講座事業【本編13ページ】	地域振興課	
健康アクションこうなん5推進事業	福祉保健課	
健康づくり月間事業	福祉保健課	
移動販売支援事業	高齢・障害支援課	資-14
横浜国大パートナーシップ事業	保土ヶ谷区 区政推進課	
保土ヶ谷区の「住み良いまちづくり活動」【本編14ページ】	区政推進課	
星川駅周辺等の魅力づくりに関する事業【本編15ページ】	区政推進課	
保土ヶ谷区 地域運営補助金	地域振興課	
ほどがや市民活動支援センター運営事業【本編16ページ】	地域振興課	
保土ヶ谷区 市民活動はぐくみ補助金	地域振興課	
保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業	福祉保健課	
保土ヶ谷ほっとなまちづくり地区別計画推進事業	福祉保健課	
旭区きらっとあさひ地域支援補助金	旭区 地域振興課 福祉保健課 高齢・障害支援課	
あさひのつながり応援補助金	地域振興課	
ふるさとの川環境学習	区政推進課	
ホテルの舞う里づくり	区政推進課	
緑のカーテンづくり推進	区政推進課	
脱温暖化行動推進	区政推進課	
GREEN×EXPO 2027開催へ向けた機運醸成	区政推進課	
『新・あさひ散歩』ウォーキング	地域振興課	
旭区文化芸術活動支援事業	地域振興課	
横浜旭ジャズまつり支援事業	地域振興課	
旭区民スポーツ祭支援事業	地域振興課	
認知症をみんなでささえるまちづくり事業	高齢・障害支援課	
堀割川魅力づくり活動支援	磯子区 区政推進課	資-16
温暖化対策・脱炭素推進事業	区政推進課	
グリーンカーテン育成事業	区政推進課	
磯子のまち花いっぱい事業	区政推進課 地域振興課	
磯子地域運営補助金	地域振興課	
磯子子区地域の居場所づくり支援補助金	地域振興課	
磯子区青少年育成活動補助金	地域振興課	
磯子区青少年の地域活動拠点づくり事業	地域振興課	

事業名	所管課	ページ
災害時における通信の協力に関する協定	金沢区 総務課	資-17
クラウド電話を活用した災害等情報伝達強化事業	総務課	
旧川合玉堂別邸保全活用事業	区政推進課	
“かなざわ八携協定”の推進	区政推進課	
金沢シーサイドタウン活性化	区政推進課	
地域の魅力発見・発信協働事業	区政推進課	
LINKAI横浜金沢魅力発信事業【本編17ページ】	区政推進課	
キャンパスタウン金沢サポート事業	地域振興課	
金沢区市民活動サポート補助金	地域振興課	
金沢区地域ネットワーク支援事業補助金	地域振興課	
金沢区空き家等を活用した地域の「茶の間」支援事業補助金	地域振興課	資-18
つながりステーション運営事業	地域振興課	
ジモ活～地元で活動・活躍・復活しませんか～ 【本編18ページ】	地域振興課	
港北水と緑の学校事業【本編19ページ】	港北区 区政推進課	
港北AAA(トリプルエー)(安全で安心な明日を)地域防犯力向上作戦	地域振興課	
地域のチカラ応援事業	地域振興課	
わがまち港北映像ライブラリ事業【本編20ページ】	地域振興課	
ウォーキングから始まる健康づくり事業	福祉保健課	
がんについて考えようinアピタテラス	福祉保健課	
緑区地域課題チャレンジ提案事業	緑区 地域振興課	
緑区市民活動支援センター事業・市民活動パワーアップ支援事業	地域振興課	
区内大学等と連携した青少年向け体験講座事業	地域振興課	
青少年向け読書啓発事業	地域振興課	
みどりサンタプロジェクト2023	地域振興課	
横浜創英大学との協働による読書活動推進事業	地域振興課	
デジタル活用促進事業	地域振興課	
脱炭素・SDGs啓発イベント事業	区政推進課	
温暖化対策等の店頭啓発事業	区政推進課	
青葉6大学連携事業	青葉区 区政推進課	
あおば地域サポート事業	地域振興課	資-20
シニア楽農園事業	都筑区 区政推進課	
メイドインつづき推進事業	区政推進課	
つづき交流ステーション	区政推進課	
東京都市大学との連携事業	区政推進課	
プロジェクト講座	地域振興課	
つづき人交流フェスタ	地域振興課	

事業名	所管課		
市民ライター	地域振興課	資-20	
読書活動推進事業	地域振興課		
専門アドバイザー伴走型 新しい地域運営スタイル推進事業 【本編21ページ】	地域振興課		
脱炭素化普及啓発事業	戸塚区 区政推進課		
地域づくりステップアップ講座交流事業【本編22ページ】	区政推進課		
とつか区民活動センター運営事業【本編23ページ】	地域振興課		
とつか区民の夢プロジェクト補助金事業	地域振興課	資-21	
地域で育む青少年健全育成事業	地域振興課		
戸塚っ子いきいきアートフェスティバル	地域振興課		
大学と連携した親子健康づくり事業「つながる健康かがく部」	福祉保健課		
保健活動推進員事業	福祉保健課		
食生活等改善推進員養成及び活動支援事業	福祉保健課		
戸塚区地域ネットワーク見守り事業「みまもりネット」	高齢・障害支援課		
とつか花できれいなまちづくり事業	戸塚土木事務所		
セーフコミュニティ事業	栄区 区政推進課		資-22
栄区みんなが主役のまちづくり協働推進事業	区政推進課		
花いっぱい魅力づくり事業	区政推進課		
本郷台駅周辺のまちづくり推進事業	区政推進課		
郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進	区政推進課		
地域の担い手応援事業	区政推進課		
さかえ区民活動センター運営事業【本編24ページ】	地域振興課		
泉区地域運営補助金	泉区 区政推進課		
脱炭素化行動の取組	区政推進課	資-23	
泉区窓口案内ボランティア事業	区政推進課		
泉区地域課題解決支援事業補助金	区政推進課		
ゆめが丘大規模集客施設開業等関連イベントの実施 【本編25ページ】	区政推進課		
スポGOMI大会in泉区	地域振興課		
マイボトル啓発動画の作成	地域振興課		
緑化推進事業	瀬谷区 区政推進課		
GREEN×EXPO 2027機運醸成事業	区政推進課		
窓口サービス向上事業（せやまるサポーター）	区政推進課		
I T交流コーナー（パソコン無料相談会）	地域振興課		
瀬谷区いきいき区民活動支援補助金	地域振興課	資-24	
瀬谷区地域運営補助事業	地域振興課		
地域日本語教育推進モデル地域事業（瀬谷区）	地域振興課		
瀬谷区寄り添い型生活支援事業【本編26ページ】	こども家庭支援課		

## 局所管の協働事業&lt;一覧表&gt; (123 事業)

事業名	所管課	ページ	
ヨコハマ・エコ・スクール (YES) 事業	脱炭素・GREEN×EXPO推進局 脱炭素ライフスタイル推進課	資-25	
横浜市地球温暖化対策推進協議会との協定事業	脱炭素ライフスタイル推進課		
循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業【本編27ページ】	脱炭素ライフスタイル推進課		
脱炭素行動変容促進事業【本編28ページ】	脱炭素ライフスタイル推進課		
「SDGsデザインセンター」事業【本編29ページ】	SDGs未来都市推進課		
海軍道路の桜を次世代に繋げるための接ぎ木イベント	脱炭素・GREEN×EXPO推進局 上瀬谷整備推進課 GREEN×EXPO推進課 瀬谷区区政推進課		
市庁舎低層部を中心とする共創・オープンイノベーション推進事業【本編30ページ】	政策経営局 共創推進課		
共創フロント	共創推進課		
地域におけるジェンダーに関する理解促進事業	男女共同参画推進課		資-26
理工系STEM女子応援事業	男女共同参画推進課		
企業との連携	男女共同参画推進課		
地域防災力向上事業（地域防災活動奨励助成金）	総務局 地域防災課		
地域防災力向上事業（町の防災組織活動費補助金）	地域防災課		
ウクライナ避難民等支援事業・オール横浜支援パッケージ	国際局 政策総務課		
国際平和推進のための啓発活動協働事業【本編31ページ】	政策総務課		
地域の担い手応援事業（協働による地域人材の発掘・育成関連事業）【本編32～33ページ】	市民局 地域活動推進課	資-27	
自治会町内会館整備費補助事業	地域活動推進課		
地域活動推進事業	地域活動推進課		
横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだいの地域での支援	市民協働推進課		
よこはま夢ファンド登録団体助成金事業	市民協働推進課		
NPO組織基盤強化ワークショップ事業【本編34ページ】	市民協働推進課		
横浜市市民協働推進センター運営事業【本編35ページ】	市民協働推進課		
人権啓発ポスターの作成	人権課		
地域文化サポート事業	にぎわいスポーツ文化局 文化振興課		

事業名	所管課	ページ	
スタートアップ成長支援業務【本編36ページ】	経済局 イノベーション推進課	資-27	
創業・スタートアップ支援情報発信事業【本編37ページ】	イノベーション推進課		
スタートアップ社会実装推進事業【本編38ページ】	イノベーション推進課		
イノベーション人材育成事業【本編39ページ】	イノベーション推進課		
横浜市イノベーション人材交流促進業務委託【本編40ページ】	イノベーション推進課	資-28	
横浜市中心小企業人材確保支援事業【本編 41ページ】	ものづくり支援課		
ニューノーマル社会における商店街活性化促進プロジェクト事業【本編42ページ】	商業振興課		
技能職振興事業	雇用労働課		
青少年の地域活動拠点づくり事業	こども青少年局 青少年育成課		
青少年関係団体活動補助事業	青少年育成課		
地域ユースプラザ事業	青少年相談センター		
プレイパーク支援事業	放課後児童育成課		
親と子のつどいの広場事業	地域子育て支援課		
地域子育て支援拠点事業【本編43ページ】	地域子育て支援課		
生活リスクを抱える女性のための総合相談支援事業【本編44ページ】	こどもの権利擁護課		
地域福祉保健計画推進事業	健康福祉局 福祉保健課		資-29
横浜市孤立予防対策事業	福祉保健課		
生活あんしんサポート事業	高齢在宅支援課		
横浜市ことぶき協働スペース事業【本編45ページ】	生活支援課		
介護保険総合案内パンフレット及び介護サービス事業者リストの作成	介護保険課		
よこはまウォーキングポイント事業【本編46ページ】	健康推進課		
禁煙支援薬局	健康推進課		
よこはま健康応援団事業	健康推進課		
市民の健康づくり推進事業	健康推進課		
食育推進事業	健康推進課		
食環境づくりにおけるモデル事業	健康推進課		
パリ公立病院連合との MOU 締結	医療局 救急・災害医療課	資-30	
こどもホスピス（在宅療養児等生活支援施設）支援事業	地域医療課		
環境教育出前講座「生物多様性で YES!」	みどり環境局 環境活動事業課		
こども『エコ活。』大作戦！	環境活動事業課		
はじめよう！横浜でエシカル消費プレゼントキャンペーン	環境活動事業課		
生物多様性に係る普及啓発の取組	環境活動事業課		
地域緑のまちづくり事業	環境活動事業課		
よこはま森の楽校	環境活動事業課		

事業名	所管課	ページ
森を育む人材の育成事業①	みどり環境局 環境活動事業課	資-30
森を育む人材の育成事業②	環境活動支援センター 環境活動事業課	
こども「いきいき」生き物調査	環境科学研究所	資-31
公園愛護会活動等支援事業	環境活動事業課	
市民や企業と連携した地産地消の展開事業、身近に農を感じる地産地消の推進事業	農業振興課	
地域防犯活動及び公園緑地施設の損傷等による事故の未然防止に関する取組	公園緑地維持課	
地域防犯活動及び下水道施設・河川施設の損傷等による事故の未然防止に関する取組	下水道河川局 技術監理課 河川企画課	
水辺愛護会活動支援	河川企画課	
梅田川水辺の楽校プロジェクト	河川企画課	
川づくりコーディネーター制度	河川企画課	
食品ロス削減・プラスチック対策プロモーション協働事業【本編47ページ】	資源循環局 3R推進課	資-32
小型家電リサイクル事業	業務課	
総合的な空家等対策の推進	建築局 住宅政策課	
空家等対策に関する地域活用支援【本編48ページ】	住宅政策課	
横浜市マンション管理組合サポートセンター事業【本編49ページ】	住宅再生課	
地域の皆さまと連携した違反の未然防止	違反对策課	
地域まちづくり支援制度	都市整備局 地域まちづくり課	
ヨコハマ市民まち普請事業【本編50ページ】	地域まちづくり課	
郊外住宅地における公民連携によるまちづくりの推進	地域まちづくり課	
まちの不燃化推進事業	防災まちづくり推進課	
横浜市交通政策推進協議会モビリティマネジメント推進部会	都市交通課	資-33
地域交通サポート事業	都市交通課	
ハマロード・サポーター事業	道路局 管理課	
地域防犯活動及び道路施設の損傷等による事故の未然防止に関する取組	建設課	
横浜市広域シェアサイクル事業社会実験	道路政策推進課	
みなとみどりサポーター	港湾局 賑わい振興課	
山下公園海底清掃大作戦事業	水域管理課	
道志水源林ボランティア事業	水道局 広報課	
水源エコプロジェクトW-eco・p（ウイコップ）	広報課	資-34
横浜市水道局広報サポーター事業者登録制度	広報課	
大学連携による水道事業啓発事業	広報課	

事業名	所管課	ページ	
はまっ子未来カンパニープロジェクト	教育委員会事務局 小中学校企画課	資-34	
親の交流の場づくり事業	学校支援・地域連携課		
地域学校協働活動事業	学校支援・地域連携課		
歴史散策・歴史ウォーク	中央図書館サービス課		
うみそらブックふえす	中央図書館サービス課		
西菅田団地ブックフェスティバル	中央図書館サービス課		
つるみ子育て・個育ちフォーラム in やこう	中央図書館サービス課		
ミヤコタナゴ保護育成事業	生涯学習文化財課		資-35
読書活動推進(広報物配布・おはなし会)	鶴見図書館		
読書活動推進(講座)	神奈川図書館		
読書活動推進(講演会)	港南図書館		
図書館の環境整備	港南図書館		
「リプラまつり」での紙芝居読み聞かせイベント	保土ヶ谷図書館		
保土ヶ谷図書館で保土ヶ谷宿について知ろう!	保土ヶ谷図書館		
星天qlayでおはなし会	保土ヶ谷図書館		
お外で紙芝居	保土ヶ谷図書館		
図書館の環境整備	旭図書館 栄図書館		
読書活動推進(講演会)	南図書館		
作ってみよう紙芝居	南図書館		
おはなしフェスティバル	南図書館		
読書活動推進(講演会)	南図書館	資-36	
読書活動推進(企画展示)	磯子図書館		
読書活動推進(読書会)	磯子図書館		
読書活動推進(上映会・講演会・図書展示)	港北図書館		
読書活動推進(講演会)	港北図書館		
読書活動推進(パネル展示・講演会)	港北図書館		
青葉おはなしフェスティバル	山内図書館		
「Dボックス」の設置	山内図書館		
図書館deマルシェ・よりみちHIROBA	山内図書館		
認知症サポーター養成講座	山内図書館		
読書活動推進(講演会・会議)	都筑図書館		
おはなし会の実施	市立図書館全館		
図書修理	市立図書館 15 館		
書架整理	市立図書館 12 館		

## (1) 区役所所管の協働事業<概要>

事業名〔所管課〕<活動の分野>、事業内容、(協働の相手方)について記載しています。

### 【鶴見区】

<b>鶴見区新たなチャレンジ応援事業(補助金)</b> 〔区政推進課〕<市民活動・地域活動> 地域の課題解決に向けた事業のうち、新たな立上げ、又は既存の事業を発展させる取組を支援。 (協働の相手方:主に鶴見区民により組織され、区民が自由に参加できる活動を行っている団体)
<b>「鶴見コンシェルジュ養成講座」の開催</b> 〔区政推進課〕<市民活動・地域活動> 鶴見の魅力を「知る」「見る」「伝える」ための公開講座を、横浜商科大学・区民団体と協働して企画し、開催。 (協働の相手方:横浜商科大学)
<b>大学連携事業(鶴見大学及び横浜商科大学)</b> 〔区政推進課〕<まちづくりの推進> 区内にある2つの大学と鶴見区にて、連携事業を実施。また、各部署での連携事業の進捗や実施結果について協議を行った。※令和5年度は、書面会議による開催。 (協働の相手方:鶴見大学、横浜商科大学)
<b>環境行動推進事業</b> 〔区政推進課〕<環境の保全> 区内の民間企業等が実施する環境や経済というテーマに関連した出張授業・工場見学の内容を小中学校向けにまとめた冊子の更新や海洋環境保護イベントの実施など環境行動の普及啓発を行った。 (協働の相手方:事業者、区内小中学校)

### 【神奈川区】

<b>かながわ地域支援補助金事業(スタートアップコース)</b> 〔区政推進課〕<市民活動・地域活動> 地域の課題を解決するために、区民団体が自主的に取り組む事業に対して支援を行う。 (協働の相手方:区民を中心に構成される概ね5人以上の団体)
<b>かながわ地域支援補助金事業(地域づくり大学校卒業生支援コース)</b> 〔区政推進課〕 <市民活動・地域活動> 地域課題解決又は魅力発信が期待でき、地域づくり大学校卒業時に提出した「アクションプラン」を実現するために始める取組や、新たに地域で始める取組に対して支援を行う。 (協働の相手方:神奈川区地域づくり大学校の卒業生が2人以上(うち1人以上は卒業後3年以内の者)の団体)
<b>かながわ地域支援補助金事業(地域人材マッチングコース)</b> 〔区政推進課・地域振興課〕 <市民活動・地域活動> 多くの地域で共通する課題である「地域活動の担い手不足」解消のため、地域人材の裾野を広げるために地区全体で取り組む住民アンケート及びアンケート回答者と地域活動を繋ぐための交流会等の支援を行う。 (協働の相手方:連合町内会、自治会町内会)
<b>助っ人 BANK</b> 〔地域振興課〕<市民活動・地域活動> 特技や技術、豊かな経験・知識などを活かして、ボランティアとして地域の手伝いをしたいと考える方(登録者)を、支援を求める方(依頼者)へつないだ。 (協働の相手方:区内で活動している個人又は団体)
<b>神奈川区すくすくかめっ子事業</b> 〔こども家庭支援課〕<子ども・青少年の健全育成> 子育て中の親子が仲間づくりをすることができる「親子のたまり場」づくりに取り組む。地域のボランティアが支え手となり、区内に47会場(45地区)がある。特定非営利活動法人親がめが要となって町内会・民生委員児童委員協議会・保育所等とのネットワークを形成。 (協働の相手方:未就学児の子育て支援のための活動を実施し、区民を中心に構成される概ね5人以上の団体)

## 【西区】

<p><b>温暖化対策・SDGs の推進に向けた取組</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞</p> <p>環境に配慮した具体的な取組や SDGs 達成に向けた取組を行うきっかけとして、小中学生を対象とした参加型取組「にしく SDGs チャレンジ」を実施したほか、SDGs 達成に向けた取組を進める機運醸成を図るため、若い世代が作成した SDGs に関する作品のパネル展を開催した。</p> <p>また、事業者団体等への打ち水物品の貸出しやライトダウンの周知など、脱温暖化行動の普及啓発を行った。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：区内事業者・団体）</p>
<p><b>緑化の取組</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞</p> <p>「にしく緑花サポーター」に登録いただいた団体等への花苗等の配布を通じて、サポーターと協力し、区内の緑化を推進した。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：希望する区内公共施設・小中学校、緑化に取り組む地域ボランティア）</p>
<p><b>西区地域のつながりを育み強める補助金</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>地域の課題を解決する取組や活動の担い手を増やす等、地域活動の活発化・充実化をめざす活動に要する経費を補助。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：自治会町内会を含む2つ以上の主体が連携していること等の要件を満たす団体）</p>
<p><b>西区まちづくりアドバイザー派遣事業</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>地域が実施する地域活動やまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場からの助言を行う等、地域の自主的活動を支援する“アドバイザー”を派遣。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：地区連合、自治会町内会、又は自治会町内会が関わる協議会等の組織）</p>
<p><b>西区地域づくり大学校修了生支援補助金</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>地域人材の育成を目指す西区地域づくり大学校の修了生が活動を始める際、円滑な活動開始に向けて活動実施に伴う経費を補助。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：西区地域づくり大学校修了生）</p>
<p><b>神奈川大学連携事業</b>〔区政推進課〕＜まちづくりの推進＞</p> <p>令和3年度にみなとみらいキャンパスが開設された神奈川大学と、令和4年度に締結した連携協定に基づき、区・大学双方の魅力発信や地域課題の解決に向けた取組を実施。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：神奈川大学みなとみらいキャンパス）</p>
<p><b>にしく市民活動支援センター運営事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 10 ページをご参照ください。</p>

## 【中区】

<p><b>初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業</b>〔区政推進課〕＜まちづくりの推進＞</p> <p>初黄・日ノ出町地区において、安全・安心で健全なまちへの再生に向けて、地元協議会や警察、行政が協働してまちづくりを進めた。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：協働事業：初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会 NPO 法人黄金町エリアマネジメントセンター 活動支援：初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会）</p>
<p><b>SDGs 推進事業</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞</p> <p>中区SDGs マルシェを開催し、横浜野菜の販売を通じ、SDGs や脱炭素化に対する区民意識の醸成を図った。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：NPO 法人スーリールファム）</p>
<p><b>大学・企業等連携事業</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>関東学院大学生と連携した、中区周辺の魅力発信動画の作成及びマップを作成しオープンキャンパス等での発信を行った。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：関東学院大学・関内キャンパス）</p>
<p><b>食育マルシェ</b>〔福祉保健課〕＜保健・医療・福祉＞</p> <p>野菜摂取向上および地産地消の普及啓発を目的としたイベント。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：NPO 法人 スーリールファム、中区食生活等改善推進委員会）</p>

<p><b>中区ダンスフェスティバル</b>〔地域振興課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞  様々なダンスと触れ合う機会、日頃の成果を発表する機会を提供し、地域の文化振興を図ることを目的として、ダンスフェスティバルを共同開催。  (協働の相手方：中区ダンスフェスティバル実行委員会)</p>
<p><b>YC&amp;AC中区キッズフットサル大会</b>〔地域振興課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞  YC&amp;ACのグラウンドにおいて小学校低学年のフットサル大会を共同開催。  (協働の相手方：横浜カントリー&amp;アスレチッククラブ(YC&amp;AC)、中区サッカー協会)</p>
<p><b>ENEOS杯中区少年フットサル大会</b>〔地域振興課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞  ENEOSの体育館において小学校高学年のフットサル大会を共同開催。  (協働の相手方：ENEOS株式会社、中区サッカー協会)</p>
<p><b>なか区ブックフェスタ</b>〔地域振興課〕＜文化・スポーツ・生涯学習＞  区内の企業や団体が期間中に実施する読書イベントについて、リーフレット作成経費の補助や広報活動の支援を行い、地域の文化振興や区民の読書活動を推進した。  (協働の相手方：なか区ブックフェスタ実行委員会)</p>
<p><b>本活コミュニケーション</b>〔地域振興課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞  横浜山手西洋館を会場として、区民の読書への関心を高めるための講演会を開催。  (協働の相手方：公益財団法人 横浜市緑の協会)</p>
<p><b>地域活性化とまちの賑わいづくり支援事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞  令和5年度からみんながつながる地域づくり事業の一環として、地域が自主的に各種団体と連携しながら、地域を盛り上げる祭りやイベントを企画し、実施できるよう支援した。  (協働の相手方：連合町内会、自治会町内会と連携した地域の団体)</p>
<p><b>地域運営力向上サポート事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞  令和5年度から、みんながつながる地域づくり事業の一環として、自治会町内会をはじめとした地域の様々な主体が自主的に地域の課題解決について勉強会を開催するために、専門家・アドバイザー等の派遣費用の支援や講師の相談を受け付けた。  (協働の相手方：連合町内会、自治会町内会と連携した地域の団体)</p>

## 【南区】

<p><b>区の花「さくら」普及啓発活動</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞  公園愛護会や区民と協働で、南区の花「さくら」普及花の普及啓発を促進。  (協働の相手方：公園愛護会、区内小学校、南区民)</p>
<p><b>脱炭素行動PR事業</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞  ヒートアイランド対策や地球温暖化防止を目的に、希望する個人にゴーヤの種を配布。また、区内の市立小中学校へ花の種・苗等を配布。さらに、脱炭素社会の実現に向けた意識の向上につなげるため、区内の小学生とその保護者向けに環境講演会を実施。  (協働の相手方：緑のカーテン栽培に取り組む南区民、区内小中学校・保育園)</p>
<p><b>みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ運営事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞  こちらの事業の詳細については、本編 11 ページをご参照ください。</p>
<p><b>南区地域の力応援補助金</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞  地域の様々な主体と連携して新たに地域の課題解決に取り組む団体の継続的な活動を支援。  (協働の相手方：新たに地域の課題解決に取り組む意思があり、南区内の自治会町内会と連携・協働して取組を行おうとしている団体。又は、既に南区内で地域の課題解決に取り組んでおり、他団体と連携し現行とは異なる取組を行おうとしている団体。)</p>
<p><b>南区地域福祉保健計画チャレンジ支援事業</b>〔福祉保健課〕＜保健・医療・福祉＞  南区地域福祉保健計画の推進を図ることを目的に、地域福祉保健活動推進の事業立ち上げを支援し、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを進めた。  (協働の相手方：活動場所が南区内で地域福祉保健計画推進のために事業を新たに展開する市民活動団体)</p>

## 【港南区】

<p><b>みんなで作るふるさと港南事業</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞</p> <p>港南区の花ひまわりの栽培や港南区野菜の直売会を通じ、公園愛護会、保育園、農家、港南区食生活等改善推進委員会、商店街、自治会町内会及び地域の皆さまとともに、公園や緑地等の自然環境の保全や地産地消の推進等に取り組み、港南区への愛着を深め地域の活性化を図った。</p> <p>（協働の相手方：公園愛護会、保育園、農家、港南区食生活等改善推進委員会、商店街、自治会町内会）</p>
<p><b>港南区地球温暖化対策推進事業</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞</p> <p>緑のカーテン普及のため、保育園、小学校及び商店街にゴーヤ苗を配布し、緑化推進を図った。また、自治会町内会や横浜市地球温暖化対策推進協議会等と連携し、自治会町内会、協力店舗及び区役所での廃食用油回収を実施した。</p> <p>（協働の相手方：保育園、小学校、商店街、自治会町内会、区内事業者、横浜市地球温暖化対策推進協会）</p>
<p><b>港南区地域力アップ補助金</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>港南区内の地区連合町内会と地区社会福祉協議会が連携し、地域の様々な課題解決に向けた自主的な取組や地域の新しい魅力創出の取組の企画・運営、気軽に参加できる新しい取組への挑戦、これらを広く周知する広報活動を支援する。</p> <p>（協働の相手方：連合自治会町内会、地区社会福祉協議会）</p>
<p><b>港南区地域活動 ICT 導入補助金</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>新型コロナウイルス感染症等の影響により、自治会町内会活動や地域での交流の機会が失われ、地域のつながりが希薄になることが危惧されるなか、新しい生活様式の中にあって ICT の導入・活用によって地域の絆をつなぎ、地域活動の継続と活性化を図る。</p> <p>（協働の相手方：連合自治会町内会、単位自治会町内会）</p>
<p><b>港南区元気な地域づくりフォーラム</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>港南ひまわりプラン（第4期港南区地域福祉保健計画）や区内で行われている様々な地域活動、協働による地域づくりを進めるための方向性などについて、地域の方と共有するイベント。</p> <p>（協働の相手方：港南区連合町内会長連絡協議会、港南区社会福祉協議会）</p>
<p><b>港南区民活動支援センター運営事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 12 ページをご参照ください。</p>
<p><b>港南区区民企画運営講座</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>地域の課題などについて、同じ思いの人との交流を通じ、考えを深めながら解決を目指す活動を支援。</p> <p>（協働の相手方：港南区民（在住・在学・在勤）を中心とする3名以上のグループで、かつ、主に区内を拠点として活動しているグループ）</p>
<p><b>自治会町内会向け ICT 活用講座事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 13 ページをご参照ください。</p>
<p><b>健康アクションこうなん5 推進事業</b>〔福祉保健課〕＜保健・医療・福祉＞</p> <p>港南区食生活等改善推進委員会の企画により、ウォーキングマップ「Walking で港南区を知ろう！Vol. 4」を作成し、区民利用施設に配架・活動団体等へ配付（4,000部）</p> <p>（協働の相手方：港南区食生活等改善推進委員会）</p>
<p><b>健康づくり月間事業</b>〔福祉保健課〕＜保健・医療・福祉＞</p> <p>保健・衛生に関する正しい知識の普及、健康寿命の延伸に向けた健康意識の向上、市民と行政が連携した健康づくり運動の推進及び地域に根ざした自発的な健康づくりの推進のため、「ひまわり健康フェア2023」にて健康チェックや健康クイズなどのイベントのほかパネル展などの健康づくり月間事業を支援</p> <p>（協働の相手方：港南区医師会・港南区歯科医師会・港南区薬剤師会・港南区獣医師会・港南区連合町内会長連絡協議会・港南区保健活動推進委員会・港南区食品衛生協会・港南区食生活等改善推進委員会・港南区生活衛生協議会）</p>

<p><b>移動販売支援事業</b>〔高齢・障害支援課〕＜保健・医療・福祉＞</p> <p>買い物が困難な方への支援として、区内で移動販売を実施する事業者を支援。地域住民や関係機関とともに、ニーズ調査から移動販売の趣旨説明、販売場所の確保や周知活動を行っている。生活支援だけでなく、コミュニティの形成や見守り、介護予防にも効果を発揮している。</p> <p>（協働の相手方：㈱ダイエー、㈱セブン-イレブン・ジャパン、自治会町内会等地域住民、港南区内地域ケアプラザ、港南区社会福祉協議会）</p>
---

**【保土ケ谷区】**

<p><b>横浜国大パートナーシップ事業</b>〔区政推進課〕＜まちづくりの推進＞</p> <p>区内唯一の大学法人である横浜国立大学と連携を強化することにより、大学と行政が各々持つ知的・人的・物的資源を生かして地域の課題解決を図るとともに、効果的に事業を展開している。</p> <p>（協働の相手方：国立大学法人 横浜国立大学）</p>
<p><b>保土ケ谷区の「住み良いまちづくり活動」</b>〔区政推進課〕＜まちづくりの推進＞</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 14 ページをご参照ください。</p>
<p><b>星川駅周辺等の魅力づくりに関する事業</b>〔区政推進課〕＜まちづくりの推進＞</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 15 ページをご参照ください。</p>
<p><b>保土ケ谷区 地域運営補助金</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>新たに自治会町内会（地区連合自治会を含む）と地域の様々な主体が連携・協働した、主体的・継続的な地域課題解決の取組を支援。</p> <p>（協働の相手方：(1)自治会町内会を含む2つ以上の主体が連携していること (2)主体同士が相互に協議し合意形成する場があること (3)年度を超えて継続的に取り組むこと 等の要件を満たす団体）</p>
<p><b>ほどがや市民活動支援センター運営事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 16 ページをご参照ください。</p>
<p><b>保土ケ谷区 市民活動はぐくみ補助金</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>市民活動がより活性化することを目的に市民活動の「事業」を支援するために、事業費の一部を「補助」するもの。</p> <p>（協働の相手方：区民及び区内で活動する様々な関係団体・機関）</p>
<p><b>保土ケ谷ほっとなまちづくり推進事業</b>〔福祉保健課〕＜保健・医療・福祉＞</p> <p>区民、事業者、公的機関等が、地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域のつながりづくりや見守り・支えあいの取組を進めることを目的に、第4期地域福祉保健計画を推進した。</p> <p>（協働の相手方：区民及び区内で活動する様々な関係団体・機関）</p>
<p><b>保土ケ谷ほっとなまちづくり地区別計画推進事業</b>〔福祉保健課〕＜保健・医療・福祉＞</p> <p>保土ケ谷ほっとなまちづくり（保土ケ谷区地域福祉保健計画）の地区別計画の推進にあたり、地域活動の充実に取り組んだ。</p> <p>（協働の相手方：区内 22 地区で地域福祉保健計画を推進している母体（主に地区社会福祉協議会等）と具体的取組の担い手）</p>

## 【旭区】

<p><b>旭区きらっとあさひ地域支援補助金</b>〔地域振興課、福祉保健課、高齢・障害支援課〕＜市民活動・地域活動＞ 旭区内で地域福祉の推進など、地域課題解決に向けた新たな事業に取り組む団体に対して活動に必要な経費を補助。 (協働の相手方：5人以上の旭区民を含む構成員で構成された団体であり、一定の要件を満たすもの)</p>
<p><b>あさひのつながり応援補助金</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞ 旭区内で地域課題解決に向けて区民が自主的に取り組む活動の立上げを支援。 (協働の相手方：2人以上の旭区民を含む構成員で構成された団体であり、一定の要件を満たすもの)</p>
<p><b>ふるさとの川環境学習</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞ 子ども達が、区の中心部を流れる帷子川に愛着を深め、身近な自然環境に関心を持つきっかけづくりとなるよう、区内の希望する小学校に対し、帷子川環境学習を実施。 (協働の相手方：NPO法人こども自然公園どろんこクラブ、公益社団法人保土ヶ谷法人会旭支部連合会)</p>
<p><b>ホテルの舞う里づくり</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞ 地域や学校の協力の下、専門家の指導を受けながら、旭区の昆虫であるホテルの舞う里づくりを行い、水と緑に恵まれた旭区の特性を活かした、ふるさと旭の魅力を高める取組を実施。 (協働の相手方：横浜はたるの会、区内高等学校（1校）、ホテルの舞う里づくりに協力する区民)</p>
<p><b>緑のカーテンづくり推進</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞ 緑のカーテン栽培のためのゴーヤ苗の配布や、区内の希望する小・中学校、特別支援学校、幼稚園、民間保育園、認定こども園で、ゴーヤやアサガオ、ヘチマ等つる性植物を使った緑のカーテンづくりを推進。 (協働の相手方：ゴーヤ苗配布応募者、区内小・中学校、特別支援学校、幼稚園、民間保育園、認定こども園)</p>
<p><b>脱温暖化行動推進</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞ 区HPにて「楽しくお家でエコ！実践講座」の動画を公開するとともに区役所において講座を開催し、広く区民に向けて地球温暖化対策について普及啓発を実施。 (協働の相手方：環境まちづくり市民の会サステイナブルあさひ)</p>
<p><b>GREEN×EXPO 2027開催へ向けた機運醸成</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞ GREEN×EXPO 2027の開催を地元区から盛り上げていくため、横浜国際園芸博覧会旭区推進協議会が実施する機運醸成を図ることを目的とした活動に対し、補助金を交付。 (協働の相手方：横浜国際園芸博覧会旭区推進協議会)</p>
<p><b>『新・あさひ散歩』ウォーキング</b>〔地域振興課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ 旭区の魅力再発見を目的に、「旭ガイドボランティアの会」の案内による一般区民向けウォーキングを開催。 (協働の相手方：旭ガイドボランティアの会)</p>
<p><b>旭区文化芸術活動支援事業</b>〔地域振興課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ 旭区の文化芸術活動の振興のため、区民の意欲的で創意豊かな文化芸術事業を募集。審査を経て協働の相手方となった事業について、開催に必要な経費の一部補助や事業PR等により支援を実施。 (協働の相手方：旭区を中心に活動している文化芸術団体)</p>
<p><b>横浜旭ジャズまつり支援事業</b>〔地域振興課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ 年間を通して実行委員会議に参加し、企画・運営支援、必要な経費の一部補助や事業PR等、実行委員会の活動の支援を実施。 (協働の相手方：旭ジャズまつり実行委員会)</p>
<p><b>旭区民スポーツ祭支援事業</b>〔地域振興課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ 開会式から大会、表彰式の実施にあわせ開催される実行委員会議に参加し、企画・運営支援、開催に必要な経費の一部補助や事業PR等により支援を実施。 (協働の相手方：旭区民スポーツ祭実行委員会)</p>
<p><b>認知症をみんなでささえるまちづくり事業</b>〔高齢・障害支援課〕＜保健・医療・福祉＞ 認知症の方が暮らしやすい地域をつくるため、区内の医療機関、介護事業所、商店街、各事業団体、企業、地域組織、ボランティア等と協働しながら、認知症の相談支援、見守り活動、認知症の理解促進等を進めた。 (協働の相手方：旭区内で認知症の人を見守る趣旨に賛同した企業等、認知症の啓発等を図る団体)</p>

## 【磯子区】

<p><b>堀割川魅力づくり活動支援</b>〔区政推進課〕＜まちづくりの推進＞</p> <p>堀割川の魅力や現状の課題を区民に認識してもらうため、イベントや広報活動、その他堀割川の魅力づくりに資する環境活動を行う団体を支援。</p> <p style="text-align: right;">(協働の相手方：堀割川魅力づくり実行委員会)</p>
<p><b>温暖化対策・脱炭素推進事業</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞</p> <p>子ども達が楽しみながら環境問題を学べる体験型イベント「夏休みいそごエコスクール」や「いそご子どもエコフェスタ」を開催し、環境に対する意識啓発を行った。また、区内企業と連携し、小学生や中学生向けに企業見学ツアーや出前事業を実施した。</p> <p>(協働の相手方：NPO 法人ソフトエネルギープロジェクト、横浜市地球温暖化対策推進協議会、NPO 法人eco 体験工房、区内企業)</p>
<p><b>グリーンカーテン育成事業</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞</p> <p>自然の力で夏を涼しくする「グリーンカーテン」の普及・啓発の取組として、区内の公共施設や教育機関へ苗や土等を配布し、グリーンカーテンの育成に取り組んだ。</p> <p>(協働の相手方：区内小・中・高等学校、市立保育園、民間保育園、幼稚園、地域ケアプラザ、コミュニティハウス、地区センター、その他公共施設)</p>
<p><b>磯子のまち花いっぱい事業</b>〔区政推進課・地域振興課〕＜環境の保全＞</p> <p>道路から見える住宅の庭など区内を花で彩ることにより、緑や花に対する区民の関心を高めるため、花の種と球根を配布した。配布した種を上手に育てられるよう、春と秋に区民向けの「花の育て方講座」を開催した。また、ボランティア団体グリーンサポーターズ・いそごと協働で区役所周辺の緑化を推進した。</p> <p>(協働の相手方：花の種と球根を配布した磯子区内在住・在勤・在学の方、グリーンサポーターズ・いそごと)</p>
<p><b>磯子区地域運営補助金</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して、地域の課題解決へ継続的に取り組む事業の必要経費を補助。</p> <p>(協働の相手方：(1)地域の課題解決に向けて、自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携している (2)民主的な意思決定の場がある (3)年度を超えて継続的な取組を行っている、又は行おうとしている 等の要件を満たす団体)</p>
<p><b>磯子区地域の居場所づくり支援補助金</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>空き家や空き店舗、住居の空き部屋等を活用した地域交流の場や居場所づくりを進める団体に対して、施設改修や活動のための必要経費を補助。</p> <p>(協働の相手方：区民を含む複数人で組織され、自治会、町内会はじめ地域活動団体等と連携し、継続的に取組を行っている団体で、(1)地域の活性化を目的としていること、 (2)空き家・空き店舗・住居の空き部屋等を活用すること 等の要件を満たす団体)</p>
<p><b>磯子区青少年育成活動補助金</b>〔地域振興課〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>磯子区内の青少年育成を目的に自主的に活動する団体に対して、活動費の一部を補助。</p> <p>(協働の相手方：磯子区内の中学生までの青少年の健全育成を目的とし、 (1)規約・会則等の定めがあること (2)政治、宗教又は営利活動を目的としないこと (3)次年度以降も継続して活動する見込みがあること (4)団体の代表者(法人の場合は代表者及び役員)が暴力団員でないこと 等の要件を満たす団体)</p>
<p><b>磯子区青少年の地域活動拠点づくり事業</b>〔地域振興課〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>中・高校生世代を中心とした青少年が安心して気軽に集い、仲間や異世代との交流、社会参加プログラム等の体験活動を行う「磯子区青少年の地域活動拠点」を実施し、青少年の成長を支援。</p> <p>(協働の相手方：特定非営利活動法人 コロンブスアカデミー)</p>

## 【金沢区】

<p><b>災害時における通信の協力に関する協定</b>〔総務課〕＜防災・災害救援活動＞</p> <p>災害時のアマチュア無線非常通信による避難所等との情報受伝達を目的として、協定を締結。</p> <p>(協働の相手方：横浜市アマチュア無線非常通信協会金沢区支部)</p>
<p><b>クラウド電話を活用した災害等情報伝達強化事業</b>〔総務課〕＜防災・災害救援活動＞</p> <p>クラウド電話を活用した緊急時情報システム（音声通話回線を利用した一斉情報伝達）により、自治会町内会長等への迅速な情報伝達を行い、町内会の連絡体制の再検討や地域の共助意識の向上に繋がっている。</p> <p>(協働の相手方：株式会社 137)</p>
<p><b>旧川合玉堂別邸保全活用事業</b>〔区政推進課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞</p> <p>旧川合玉堂別邸（園庭緑地）の園庭の整備や開園について、地域と協働しながら取組を実施。</p> <p>(協働の相手方：特定非営利活動法人 旧川合玉堂別邸及び園庭緑地運営委員会)</p>
<p><b>“かなざわ八携協定”の推進</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>地球温暖化や少子高齢化などの社会的課題の解決を目指すとともに金沢区の地域活性化を図るため、鉄道事業者、企業、大学、商工業などの八者により「かなざわ八携協定」を締結し、八者による連携を図っている。</p> <p>(協働の相手方：京浜急行電鉄(株)、(株)横浜シーサイドライン、横浜商工会議所金沢支部、(株)横浜八景島、学校法人関東学院、公立大学法人横浜市立大学、一般社団法人横浜金沢観光協会)</p>
<p><b>金沢シーサイドタウン活性化</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>横浜市立大学と協定を締結し、エリアマネジメント組織の自立自走に向けて建築局の団地総合再生支援事業の活用支援を行い、一般社団法人が設立された。</p> <p>(協働の相手方：金沢シーサイドあしたタウン協議会 (現一般社団法人 金沢シーサイドあしたタウン))</p>
<p><b>地域の魅力発見・発信協働事業</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>区内の魅力ある風景やスポットをボランティアで写真撮影する「区民カメラマン」の取組や、金沢区魅力発信ポータルサイト「カナスタ」にて記事を執筆している「区民ライター」に対して、ブラッシュアップ講座を開催し発信力向上を図る取組等、区民と協働して区の魅力発信を行った。</p> <p>(協働の相手方：区民カメラマン・区民ライターの認定を受けた区民等)</p>
<p><b>LINKAI横浜金沢魅力発信事業</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 17 ページをご参照ください。</p>
<p><b>キャンパスタウン金沢サポート事業</b>〔地域振興課〕＜まちづくりの推進＞</p> <p>関東学院大学、横浜市立大学の教員や学生が金沢区の地域活性化・課題解決に取り組む活動に対して補助金を交付。</p> <p>(協働の相手方：学校法人関東学院、公立大学法人横浜市立大学の教員又は学生が代表を務める3名以上の団体。調査研究の場合1名でも可)</p>
<p><b>金沢区市民活動サポート補助金</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>市民活動団体が行う公益性の高い事業に対して補助金を交付。</p> <p>(協働の相手方：・団体の構成員が5名以上で、その半数以上が区内に在住・在勤・在学するものであること ・団体及び代表者の存在が明確であること ・過去に3回以上本補助金の交付を受けていないこと 等の要件を満たす団体)</p>
<p><b>金沢区地域ネットワーク支援事業補助金</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>きっかけづくりコース：地域の様々な主体が連携・協働した主体的・継続的な地域課題解決や魅力づくりの取組を支援。</p> <p>(協働の相手方：(1) 民主的な意思決定の場があること (2) 年度を超えて継続的な取組を行っていること (3) 公的に委嘱されている者と団体が連携していること又は2つ以上の団体が連携していること等の要件を満たす団体)</p>

<p><b>金沢区空き家等を活用した地域の「茶の間」支援事業補助金</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>空き家、空き店舗等の活用により、多世代の交流、子育て支援、高齢者の生活支援等、身近な地域の課題解決を目的とし、地域の活性化に向けた取組を支援。</p> <p>(協働の相手方：・区民が自由に参加し継続的な活動を行っている団体であること ・空き家・空き店舗を活用した事業であること ・地域の活性化を目的としていること 等の要件を満たす団体)</p>
<p><b>つながりステーション運営事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>地域の活動拠点（コミュニティサロン）と金沢区役所が協定を締結し、拠点間の交流と情報交換により、運営ノウハウの共有と向上を図ることで区内の拠点の普及・活性化を図っている。</p> <p>(協働の相手方：次の要件を全て備えたもの)</p> <p>①活動拠点を金沢区内に設置し、地域住民の相互交流、市民公益活動等の場を自主的に運営すること</p> <p>②「ヨコハマ市民まち普請事業制度要綱」に基づく助成金、「金沢区空き家等を活用した地域の「茶の間」支援事業補助金交付要綱」に基づく補助金の交付を受けた者、又はこれらに類する者)</p>
<p><b>ジモ活～地元で活動・活躍・復活しませんか～</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 18 ページをご参照ください。</p>

## 【港北区】

<p><b>港北水と緑の学校事業</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 19 ページをご参照ください。</p>
<p><b>港北AAA(トリプルエー)(安全で安心な明日を)地域防犯力向上作戦</b>〔地域振興課〕</p> <p style="text-align: right;">＜防犯・地域安全活動＞</p> <p>区内で発生した犯罪情報をいち早く区民に提供し、地域の防犯活動に役立てるようにするとともに、区民主体の防犯活動が推進できるよう、住民・企業・防犯関連団体との連携を基に地域の防犯力向上を図った。</p> <p>(協働の相手方：区内で活動している防犯関係団体及び個人)</p>
<p><b>地域のチカラ応援事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>地域住民が主体となって、地域課題の解決を図るとともに、港北区の魅力を高める事業を行う団体に対して補助金を交付。※スタートアップコース及び地域元気づくりコースは、令和4年度より継続事業のみ助成対象とし、新規の受付は終了。</p> <p>(協働の相手方：〔チャレンジコース〕 これまでに地域における市民活動やイベント等の取組実績がある団体(5人以上) 〔スタートアップコース〕 設立初期の団体(5人以上) 〔地域元気づくりコース(地域運営補助金)〕 自治会町内会を含む複数構成の団体 〔パートナーシップコース〕 これまでに地域における市民活動やイベント等の取組実績がある団体(5人以上))</p>
<p><b>わがまち港北映像ライブラリ事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 20 ページをご参照ください。</p>
<p><b>ウォーキングから始まる健康づくり事業</b>〔福祉保健課〕＜保健・医療・福祉＞</p> <p>トレッサ横浜と協働で制作した「雨の日でも歩こう港北！ウォーキングマップ」及び歩数計アプリを活用した大規模集客施設内でのウォーキングイベントを企画・実施した。</p> <p>※ 港北区とトレッサ横浜は、健康増進啓発事業に関する幅広い取組の推進を目的として「港北区とトレッサ横浜との健康増進の取組に関する協定書」を締結しています。</p> <p style="text-align: right;">(協働の相手方：トレッサ横浜)</p>
<p><b>がんについて考えようinアピタテラス</b>〔福祉保健課〕＜保健・医療・福祉＞</p> <p>アピタテラス綱島にて、働き子育て世代を対象とし、がんに関する知識の普及啓発イベントを企画・実施した。パネル展示に加え、乳がんモデル触診体験やベジチェック®測定（日本生命保険相互会社の協力）、医療マンガ大賞の投票などを開催し体験型のイベントにした。</p> <p style="text-align: right;">(協働の相手方：アピタテラス綱島、日本生命保険相互会社)</p>

## 【緑区】

<p><b>緑区地域課題チャレンジ提案事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>地域が抱える様々な課題を解決するために、区内の公益的活動に対し、補助金を交付。</p> <p>（協働の相手方：下記のいずれかに該当し、活動場所が緑区内である団体</p> <p>① 2人以上の会員で組織された脱炭素化に寄与する取組を行う団体</p> <p>② 5人以上の会員で組織された団体）</p>
<p><b>緑区市民活動支援センター事業・市民活動パワーアップ支援事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>市民活動や地域活動を支援するため、支援センター運営委員会と区役所が協働で事業を実施。活動団体の相互交流の機会を提供する事業、仲間づくりや地域を知るきっかけとなる講座等を開催。</p> <p>（協働の相手方：緑区内に事務所及び活動場所を有する団体、市民活動、地域活動を始めたい区民）</p>
<p><b>区内大学等と連携した青少年向け体験講座事業</b>〔地域振興課〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>科学技術分野において高度な研究を行っている東京工業大学と連携し、長津田地区センターにおいて小学生／中学生向けの科学実験教室を実施した。</p> <p>（協働の相手方：東京工業大学生命理工学院の学生）</p>
<p><b>青少年向け読書啓発事業</b>〔地域振興課〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>「中学生選抜！私の推し本」として、区内協力校の生徒からお勧め図書を投票してもらい、アンケート用紙をパネル展示。上位作品をポスター形式にして発表。</p> <p>（協働の相手方：十日市場中学校）</p>
<p><b>みどりサンプラザプロジェクト 2023</b>〔地域振興課〕＜環境の保全＞</p> <p>区内にキャンパスを有する4つの大学と連携・協力し、公募した地域の小学生と一緒に中山駅周辺美化推進重点地区内をサンタ帽をかぶって清掃活動を行った（総勢 約50名参加）。</p> <p>（協働の相手方：東洋英和女学院大学、横浜創英大学、横浜商科大学、東京工業大学）</p>
<p><b>横浜創英大学との協働による読書活動推進事業</b>〔地域振興課〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>横浜創英大学こども教育学部の学生及び緑図書館との協働による事業を実施。</p> <p>・大学生によるおはなし会イベント ・司書による読み聞かせ講座</p> <p>（協働の相手方：横浜創英大学こども教育学部）</p>
<p><b>デジタル活用促進事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>デジタルデバイドの解消に向け、区内の活動団体と地域施設が連携し、より多くの区民がスマホ、パソコンを活用するきっかけを作るとともに、教える側のボランティアの養成を実施。</p> <p>（協働の相手方：NPO法人みどりITコミュニティサポーターズ）</p>
<p><b>脱炭素・SDGs啓発イベント事業</b>〔区政推進課〕＜環境の保全に関する事業＞</p> <p>子どものまちづくりイベント「Mini Mini Midori プラス SDGs」を実施し、子どもたちがまちづくりに携わる楽しさを体感しながらSDGsや脱炭素への興味を持つことができるよう、緑区内の大学や企業等と連携し、イベント内で企業等の脱炭素・SDGsの取組の掲示やワークショップを実施した（参加者数：子ども380人、保護者361人）。</p> <p>（協働の相手方：東洋英和女学院大学、株式会社村田製作所、無印良品 500 ビーンズ中山、株式会社横浜銀行中山支店、横浜信用金庫中山支店、株式会社ビルド、ENEOS株式会社）</p>
<p><b>温暖化対策等の店頭啓発事業</b>〔区政推進課〕＜環境の保全に関する事業＞</p> <p>大型商業施設に協力いただき、店頭において3R行動や脱温暖化のための省エネ行動を啓発するキャンペーンを開催。</p> <p>（協働の相手方：ダイエー十日市場店、イオンフードスタイル鴨居店）</p>

## 【青葉区】

<p><b>青葉6大学連携事業</b>〔区政推進課〕＜まちづくりの推進＞</p> <p>区内にキャンパスを有する6つの大学と、締結した連携・協力に関する基本協定に基づき、公開講座を始めとした区・大学双方の魅力発信や地域課題の解決に向けた取組を実施。</p> <p>（協働の相手方：國學院大学、星槎大学、玉川大学、桐蔭横浜大学、日本体育大学、横浜美術大学）</p>
<p><b>あおば地域サポート事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>地域の課題解決に取り組む皆さまを支援するため、補助金の交付等を実施。</p> <p>（協働の相手方：(1) 支援対象者：身近な地域の課題を解決しようとする意思のある団体</p> <p>(2) 支援対象事業：自治会町内会と連携・協力して実施し、区内の地域課題の解決を主体的に実施する事業）</p>

## 【都筑区】

<p><b>シニア楽農園事業</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞ グループでの農作業を通じた高齢者同士の仲間づくり、健康づくりを促進。 (協働の相手方：区内在住で 60 歳以上の方)</p>
<p><b>メイドインつづき推進事業</b>〔区政推進課〕＜経済活動の活性化・消費生活＞ 区内の中小ものづくり企業と連携し、こどもたちを対象にしたものづくり体験ワークショップ等を実施し、ものづくり企業の魅力発信や住工共生のまちづくりの推進に取り組んだ。 (協働の相手方：区内中小製造業)</p>
<p><b>つづき交流ステーション</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞ 都筑区民が取材、編集・発信する区民主体のウェブサイト。ウェブサイトを通し、様々なコンテンツを用意し、地域情報を発信。 (協働の相手方：サイトの企画編集に関わる区民)</p>
<p><b>東京都市大学との連携事業</b>〔区政推進課〕＜その他調査・研究等＞ 都筑区にキャンパスがある東京都市大学と、平成 21 年度に連携協力に関する協定を締結し、様々な連携事業に取り組んだ。 (協働の相手方：東京都市大学横浜キャンパス)</p>
<p><b>プロジェクト講座</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞ 自分の生き方を考え、地域の中で住みやすく活躍できるまちとなるように、一般募集した運営委員が講座を企画・運営をした。また、次年度の講座の担い手を発掘した。 (協働の相手方：市民)</p>
<p><b>つづき人交流フェスタ</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞ 市民活動の魅力を紹介し、市民活動への区民の関心を高めるイベントを市民団体と協働で企画運営した。 (協働の相手方：都筑区民活動センターに登録している市民団体や講座受講生)</p>
<p><b>市民ライター</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞ 区民活動センターのホームページに市民の取材した記事を発行した。 (協働の相手方：令和 4 年度市民ライター養成講座を受講した区民)</p>
<p><b>読書活動推進事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞ 区内の読書活動を推進するために、有識者の懇談会や、おでかけ図書館事業、ブックフェスタ事業などを区民と協働で実施した。 (協働の相手方：読書ボランティア団体)</p>
<p><b>専門アドバイザー伴走型 新しい地域運営スタイル推進事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞ こちらの事業の詳細については、本編 21 ページをご参照ください。 (協働の相手方：株式会社イータウン)</p>

## 【戸塚区】

<p><b>脱炭素化普及啓発事業</b>〔区政推進課〕＜環境の保全に関する事業＞ 区民の皆様が環境活動に取り組むきっかけづくりや脱炭素社会の実現に向けて、「とつかエココーディネーター協議会」と連携し、「環境問題講演会」、「環境パネル展」、「区内商業施設でのエコ啓発」、「清掃活動」等を実施。 (協働の相手方：とつかエココーディネーター協議会)</p>
<p><b>地域づくりステップアップ講座交流事業</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞ こちらの事業の詳細については、本編 22 ページをご参照ください。</p>
<p><b>とつか区民活動センター運営事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞ こちらの事業の詳細については、本編 23 ページをご参照ください。</p>

<p><b>とつか区民の夢プロジェクト補助金事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>地域の課題解決や魅力アップに繋がる区民の方々の自主的な活動に対し、補助金を交付。</p> <p>(協働の相手方：文化・芸術振興に関する団体、スポーツ振興に関する団体、国際交流に関する団体、環境保全に関する団体ほか)</p>
<p><b>地域で育む青少年健全育成事業</b>〔地域振興課〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>地域で青少年育成に取り組む団体が協働して事業を行う場合に助成を実施。</p> <p>(協働の相手方：次の事業を実施する団体 (1)青少年健全育成 (2)学齢期から概ね 24 歳までの青少年を対象 (3)広く参加を呼びかけ (4)他補助金を受けていない (5)宗教活動、政治活動及び営利を目的としない)</p>
<p><b>戸塚っ子いきいきアートフェスティバル</b>〔地域振興課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞</p> <p>区内小・中・高・特別支援学校の児童・生徒が一堂に会し、吹奏楽・合唱・絵画・陶芸等の文化活動を披露する。</p> <p>(協働の相手方：実行委員会、戸塚区青少年指導員協議会、湘南とつかYMCA、戸塚区PTA 連絡協議会)</p>
<p><b>大学と連携した親子健康づくり事業「つながる健康かがく部」</b>〔福祉保健課〕＜保健・医療・福祉＞</p> <p>親子で健康について興味を持ち、考えるきっかけとなるよう区内にある医療系大学が対面やオンラインで講座を実施。その企画準備や、区内の周知を行った。</p> <p>(協働の相手方：横浜薬科大学)</p>
<p><b>保健活動推進員事業</b>〔福祉保健課〕＜保健・医療・福祉＞</p> <p>保健活動推進員が自分の身体や健康に興味を持ち考える機会とすることを目的として、戸塚区保健活動推進員会の全体研修会を横浜薬科大学で開催。ミニ講座や薬草園・ハマヤク農園の見学を実施。</p> <p>(協働の相手方：横浜薬科大学)</p>
<p><b>食生活等改善推進員養成及び活動支援事業</b>〔福祉保健課〕＜保健・医療・福祉＞</p> <p>食生活等改善推進員が健康づくりに必要な知識の向上を図るための講演会を開催。湘南医療大学の「出張講義」として、「筋力と日常生活活動の関連について」をテーマに実施。</p> <p>(協働の相手方：湘南医療大学)</p>
<p><b>戸塚区地域ネットワーク見守り事業「みまもりネット」</b>〔高齢・障害支援課〕＜保健・医療・福祉＞</p> <p>高齢者等が地域で孤立せず安心して暮らし続けられるよう、協力事業者等が地域ケアプラザや区役所と連絡を取り合うことで、気がかりな高齢者等を相談、支援につなげる、ゆるやかな見守りを実施。</p> <p>(協働の相手方： ①地域ケアプラザ ②見守り協力機関（戸塚区社会福祉協議会、戸塚警察署等の区内公的機関） ③見守り協力事業者（区内外の民間事業者） ④見守り協力ボランティア団体（区内で活動を行う団体・グループ）</p>
<p><b>とつか花できれいなまちづくり事業</b>〔戸塚土木事務所〕＜まちづくりの推進＞</p> <p>「花できれいなまちづくり」活動を戸塚区全体に広げ、すべての鉄道駅、道路、河川、公園を、花で彩られた美しいまちとしていくため、ボランティア団体を設立し、活動を継続していけるよう支援を実施した。</p> <p>(協働の相手方：花さかクラブ)</p>

## 【栄区】

### セーフコミュニティ事業〔区政推進課〕＜まちづくりの推進＞

栄区は、国際認証「セーフコミュニティ」を平成 25 年度に取得し、30 年度には再認証を取得している。「致命的な事故やけがは原因を究明することで予防できる」という考え方の下、住民と行政、関係団体等が協働して、様々な予防活動を展開し、安全・安心なまちづくりを進めた。

(協働の相手方：栄区内で安全・安心にかかわる活動を行う自治会町内会・市民活動団体等)

### 栄区みんなが主役のまちづくり協働推進事業〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞

区民の誰もが暮らしやすく、活力あるまち栄区を実現するため、地域課題の解決や地域の魅力づくり等、区民が団体・グループを構成して行う主体的な活動の支援を目的として、事業費の一部を補助。

(協働の相手方：

- ①複数の区民等で構成されるボランティアグループ、市民活動団体、NPO 法人、公益法人、企業
- ②1年以上継続して活動していること。又は、1年以上継続して活動する見込みがあること
- ③区民活動団体の代表は栄区在住、在勤していること

等の要件を満たす団体)

### 花いっぱい魅力づくり事業〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞

誰もが四季折々に咲く花の彩りを感じ、心豊かに生活できるよう、世代を超えて「花を愛し、育む人の輪」を広げるため、地域で自主的にオープンガーデンを開催する団体への支援として、花と緑の魅力的なスポットを紹介するリーフレットの一部にオープンガーデンの情報を掲載。

(協働の相手方：栄区内でオープンガーデンを開催する会場を3箇所以上有する団体のうち、公募に応じた団体)

### 本郷台駅周辺のまちづくり推進事業〔区政推進課〕＜まちづくりの推進＞

本郷台駅前広場のオープンスペースを個人やグループによる使用により、日常風景を豊かにしていくことで魅力向上を図っていくことを目的に、本郷台駅前広場において「本郷台駅前リビング」を実施した。

(協働の相手方：市民、市内団体、市内事業者等)

### 郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進〔区政推進課〕＜まちづくりの推進＞

郊外戸建て住宅地が居住地として選択され、継続的な居住者の流入や住宅の更新等を促進し、持続可能な住宅地の実現を図るために、テーマ型共創フロントでの募集を通して、市内事業者とポータルサイト及びチラシの作成や市庁舎でのPRにより、郊外戸建て住宅地が持つ魅力を発信した。

(協働の相手方：市内事業者等)

### 地域の担い手応援事業〔区政推進課〕＜市民協働・地域活動に関する事業＞

新たな担い手の確保・育成に向け、新たな担い手育成講座を開催するにあたり、講師については各連合自治会町内会の協力を得て、各地域から選出いただいた。これにより、新たな担い手と必要とする地域を直接結ぶ講座の開催が実施できた。

(協働の相手方：栄区民・連合自治会町内会)

### さかえ区民活動センター運営事業〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞

こちらの事業の詳細については、本編 24 ページをご参照ください。

## 【泉区】

### 泉区地域運営補助金〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞

泉区内地区経営委員会向け運営補助を実施。

(協働の相手方：地区経営委員会)

### 脱炭素化行動の取組〔区政推進課〕＜環境の保全＞

区内大学の環境系ゼミと連携し、区内イベントでオリジナルのエコバッグやマイボトルを作成するワークショップを開催した。

(協働の相手方：フェリス女学院大学)

<p><b>泉区窓口案内ボランティア事業</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>平成 18 年以降、親しまれる区役所づくりと区民サービスの向上を進めるため、公募の区民ボランティアが区庁舎正面玄関で来庁者を笑顔で迎え、挨拶や案内を実施。また、ボランティアからの区民目線の気付きや提案を定例会議で集め、業務改善につなげた。</p> <p style="text-align: right;">(協働の相手方：泉区民)</p>
<p><b>泉区地域課題解決支援事業補助金</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>泉区内の様々な主体が行う、身近な地域の課題解決や魅力向上等につながる、主体的・継続的な取組に対して補助金を交付して支援。</p> <p>①スタートアップコース：補助事業等開始年度に属する4月1日から3年を経過しない事業を対象          ②ステップアップコース：補助事業等開始年度に属する4月1日から3年を経過している事業を対象          ③子どもの居場所コース：交流・体験を通じて、子どもの自主性や社会性を育むことを目的とした事業を対象</p> <p style="text-align: right;">(協働の相手方：・泉区内で活動している団体に5名以上の構成員で組織しており、組織の運営に関する規則、規約、会則等があること          ・自らが主体となって課題解決や地域の魅力づくり等を行う意欲があること 等の要件を満たす団体)</p>
<p><b>ゆめが丘大規模集客施設開業等関連イベントの実施</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 25 ページをご参照ください。</p>
<p><b>スポGOMI大会in泉区</b>〔地域振興課〕＜環境の保全＞</p> <p>街の美化や海洋プラスチックについて幅広い世代の方に関心をもっていただくため、ごみ拾いをスポーツとして競う「スポGOMI大会in泉区」を開催した。</p> <p style="text-align: right;">(協働の相手方：フェリス女学院大学エコキャンパス研究会)</p>
<p><b>マイボトル啓発動画の作成</b>〔地域振興課〕＜環境の保全＞</p> <p>プラスチックごみ削減のため、マイボトル使用の呼びかけ及びマイボトルスポットを紹介する啓発動画を作成した。また作成した動画を神奈中バス車内デジタルサイネージに掲載した。</p> <p style="text-align: right;">(協働の相手方：フェリス女学院大学エコキャンパス研究会)</p>

## 【瀬谷区】

<p><b>緑化推進事業</b>〔区政推進課〕＜環境の保全＞</p> <p>継続した区内の緑化推進、緑のカーテンの普及などを目的として、区民の方から育苗ボランティアを募集し、区とボランティアが協働して花苗等の育成を実施。</p> <p style="text-align: right;">(協働の相手方：区内在住者)</p>
<p><b>GREEN×EXPO 2027機運醸成事業</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>横浜国際園芸博覧会瀬谷区推進協議会が実施する2027年国際園芸博覧会の開催成功に向けて、瀬谷区民の機運醸成を図ることを目的とした活動に対し、補助金を交付。</p> <p style="text-align: right;">(協働の相手方：横浜国際園芸博覧会瀬谷区推進協議会)</p>
<p><b>窓口サービス向上事業(せやまるサポーター)</b>〔区政推進課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>親しまれる区役所づくりと区民サービスの向上を進めるため、区民ボランティアが来庁者を笑顔で迎えるとともに、区役所窓口の案内活動を実施。あわせて、ボランティアからの区民目線の気付きや提案を業務改善につなげた。</p> <p style="text-align: right;">(協働の相手方：区内在住者)</p>
<p><b>IT 交流コーナー(パソコン無料相談会)</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>パソコンで困っていることや悩みごとを相談できる無料相談会を実施。また、運営を区内のボランティア団体に依頼することにより、ボランティアと利用者の交流を図った。</p> <p style="text-align: right;">(協働の相手方：パソコンふれあい館・せや)</p>

<p><b>瀬谷区いきいき区民活動支援補助金</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>区内で自主的に活動している団体が実施する地域の課題解決や活性化につながる事業及び活動に対し、補助金を交付。</p> <p>（協働の相手方：地域課題の解決及び活性化につながる事業・活動を実施する団体）</p>
<p><b>瀬谷区地域運営補助事業</b>〔地域振興課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>身近な地域の一定の範囲における、自治会町内会をはじめとした地域の様々な主体が連携・協働した、主体的・継続的な地域課題解決の取組について、必要な経費を補助し支援。</p> <p>（協働の相手方：次の要件すべてを満たすもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①身近な一定のまとまりある地域の課題解決をしようとする意思があること</li> <li>②自治会町内会を含む2つ以上の主体が連携していること</li> <li>③年度を超えて継続的な取組を行う見込みがあること</li> </ul>
<p><b>地域日本語教育推進モデル地域事業（瀬谷区）</b>〔地域振興課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞</p> <p>区内で増加する外国人住民が、生活の場で円滑にコミュニケーションのできる環境を整えるため、新たな日本語ボランティアの発掘・育成を目的に、日本語ボランティア講座を開催しました。</p> <p>（協働の相手方：横浜市国際交流協会）</p>
<p><b>瀬谷区寄り添い型生活支援事業</b>〔こども家庭支援課〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 26 ページをご参照ください。</p>

## (2) 局所管の協働事業<概要>

事業名〔所管課〕<活動の分野>、事業内容、(協働の相手方)について記載しています。

### 【脱炭素・GREEN×EXPO推進局】

#### ヨコハマ・エコ・スクール(YES)事業〔脱炭素ライフスタイル推進課〕<環境の保全>

市民や市民活動団体、事業者、大学、行政等が環境・地球温暖化や脱炭素に関する学びや体験などの場を提供する市民参加型プロジェクト。横浜市で活動する市民団体、事業者、大学等が「YES 協働パートナー」として登録・参画し、YES ブランドを活用した講座やイベント、ワークショップ等を開催。YES 協働パートナーが主催する地球温暖化や環境問題等、脱炭素化に関する普及啓発の効果が高いと認められた講座の開催経費などに対して、補助金の交付など、様々なサポートを実施。

(協働の相手方:「YES 協働パートナー」・市内を中心に温暖化対策、脱炭素化に資する活動を行っていること  
・規約等を備えていること

等の要件を満たすもの)

#### 横浜市地球温暖化対策推進協議会との協定事業〔脱炭素ライフスタイル推進課〕<環境の保全>

区民まつりを通じた普及啓発や、教育機関や事業者と連携し次世代の人材を育成するために「企業×学生の環境課題解決マッチング会」を開催する等、脱炭素社会の実現に向けた担い手育成などを実施。

(協働の相手方:横浜市地球温暖化対策推進協議会)

#### 循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業〔脱炭素ライフスタイル推進課〕

<その他調査・研究等>

こちらの事業の詳細については、本編 27 ページをご参照ください。

#### 脱炭素行動変容促進事業〔脱炭素ライフスタイル推進課〕<その他調査・研究等>

こちらの事業の詳細については、本編 28 ページをご参照ください。

#### 「SDGs デザインセンター」事業〔SDGs 未来都市推進課〕<まちづくりの推進>

こちらの事業の詳細については、本編 29 ページをご参照ください。

#### 海軍道路の桜を次世代に繋げるための接ぎ木イベント〔脱炭素・GREEN×EXPO推進局上瀬谷整備推進課、GREEN×EXPO推進課、瀬谷区区政推進課〕<環境の保全>

海軍道路の桜は、年々老木化が進んでいる状況です。このため、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画(令和4年10月策定)」をもとに桜をしっかりと再生していく必要があります。

令和6年2月28日に、横浜市立瀬谷さくら小学校において、海軍道路の桜を次世代に繋げるために、5年生の児童と海軍道路の桜の接ぎ木のイベントを行いました。イベントには、横浜市立瀬谷さくら小学校、瀬谷第二地区連合自治会長、さくらの子応援隊の皆様、有志の保護者の皆様や、JA横浜植木部の皆様など総勢100名を超える方に参加いただくことができました。伐採した木をJA横浜がプレートに加工し、こどもたちが思い思いのメッセージを書き込みました。接ぎ木した桜は、当面の間、瀬谷さくら小学校で育てられ、新たな桜の名所づくり等に繋げていく予定です。

(協働の相手方:横浜市立瀬谷さくら小学校、瀬谷第二地区連合自治会、さくらの子応援隊、有志の保護者、JA横浜植木部)

### 【政策経営局】

#### 市庁舎低層部を中心とする共創・オープンイノベーション推進事業

〔共創推進課〕<その他調査・研究等>

こちらの事業の詳細については、本編 30 ページをご参照ください。

#### 共創フロント〔共創推進課〕<その他調査・研究等>

民間事業者等から公民連携に関する相談・提案をいただく窓口として、「共創フロント」を開設。いただいた提案は、共創推進室が市役所各部署との橋渡し役となり、実現に向けた検討や調整を行い、公民連携による社会課題・地域課題の解決等を進める。

(協働の相手方:企業、NPO 法人、大学、市民活動団体等、公民連携の担い手となる民間の皆様)

**地域におけるジェンダーに関する理解促進事業**〔男女共同参画推進課〕＜人権・男女共同参画＞  
ジェンダーに関する理解促進のため、ジェンダーについて語るワークショップを開催  
(協働の相手方：一般社団法人ラシク045、NPO法人アクションポート横浜)

**理工系STEM女子応援事業**〔男女共同参画推進課〕＜人権・男女共同参画＞

女子中高生・学生や保護者の方々がSTEM\*分野に関心を持ち、理工系を進路の選択肢とする機会を充実させるため、企業で活躍している女性技術者と理工系分野を学ぶ大学生から、進路選択や仕事について聞くことができるセミナーを開催

※STEM：Science(科学)・Technology(技術)・Engineering(工学)・Mathematics(数学)分野の総称  
(協働の相手方：女性技術者フォーラム(JWEF)、企業、大学)

**企業との連携**〔男女共同参画推進課〕＜人権・男女共同参画＞

- ・家事の科学的・効率的なやり方や家事を通じたコミュニケーションを円滑にするコツなどを紹介する家事シェアセミナーを開催
- ・生理に関する様々な負担軽減に向けて横浜市役所及び男女共同参画センター横浜北に「生理用ナプキンの無料提供サービス OiTr (オイテル)」を設置
- ・ジェンダーに関する先入観や固定観念にとらわれず、自分らしく生きることの大切さについて啓発するため、包括連携協定を結ぶ日本生命保険相互会社の女子卓球チーム「日本生命レッドエルフ」の選手を起用したメッセージ動画を市庁舎アトリウムの大規模ビジョンで放映

(協働の相手方：株式会社LION、オイテル株式会社、日本生命保険相互会社)

## 【総務局】

**地域防災力向上事業（地域防災活動奨励助成金）**〔地域防災課〕＜防災・災害救援活動＞

地域防災拠点運営委員会及び地域防災拠点運営委員会連絡協議会の自主的な活動を奨励し、災害時の地域防災拠点の運営を円滑に行うため、防災訓練、研修会、運営のための会合その他の地域防災拠点の運営及び管理に係る活動に対して、助成金を交付。

(協働の相手方：各区地域防災拠点運営委員会連絡協議会)

**地域防災力向上事業（町の防災組織活動費補助金）**〔地域防災課〕＜防災・災害救援活動＞

自治会・町内会等の「町の防災組織」が行う災害防止に係る自主的活動を支援するため、防災訓練、防災資機材等の購入、その他運営のための会合等の防災活動に対して、補助金を交付。

(協働の相手方：自治会・町内会、共同住宅の管理組合等を単位として自主的に設置運営される防災組織)

## 【国際局】

**ウクライナ避難民等支援事業・オール横浜支援パッケージ**〔政策総務課〕＜市民活動・地域活動＞

ウクライナから横浜に避難されて来た方々を支援する「オール横浜支援パッケージ」に基づき市民・企業・民間団体・関係機関等と連携しながら一体となり避難民の皆様の生活をお支えます。

(協働の相手方：神奈川県弁護士会、KDDI(株)南関東総支社、劇団プレイバックーズ、JICA横浜、Japan Immigration Lawyers Association (JILA)ウクライナ避難民支援チーム、(公財)似鳥国際奨学財団、(公財)日本財団、(株)ノジマ、ハローワーク横浜、富士通(株)、(公財)横浜市国際交流協会(YOKE)、横浜桜木町ワシントンホテル、横浜商工会議所、(公財)横浜YMCA、(株)レオパレス21、その他市民・市内企業等の皆様等)

**国際平和推進のための啓発活動協働事業**〔政策総務課〕＜その他調査・研究等＞

こちらの事業の詳細については、本編 31 ページをご参照ください。

## 【市民局】

<p><b>地域の担い手応援事業（協働による地域人材の発掘・育成関連事業）</b> 〔地域活動推進課〕〈市民活動・地域活動〉 こちらの事業の詳細については、本編 32～33 ページをご参照ください。</p>
<p><b>自治会町内会館整備費補助事業</b>〔地域活動推進課〕〈市民活動・地域活動〉 自治会町内会活動の充実、発展に寄与するための自治会町内会館の整備に対して助成。 (協働の相手方：市内自治会・町内会、地区連合町内会)</p>
<p><b>地域活動推進事業</b>〔地域活動推進課〕〈市民活動・地域活動〉 自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動等(環境美化、防災・防犯、社会教育、レクリエーション、福利厚生、文化活動、広報活動等)に対して補助金を交付。 (協働の相手方：市内自治会・町内会、地区連合町内会)</p>
<p><b>横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだいの地域での支援</b> 〔市民協働推進課、こども青少年局障害児福祉保健課〕〈子ども・青少年の健全育成〉 横浜市北部療育センターにて障害児のきょうだいの一時預かりを実施し、療育や子育ての環境を整えるため、団体への補助金交付・伴走支援を行った。(参考：本編4ページ) (協働の相手方：ちょこっと子育てレスキュー隊)</p>
<p><b>よこはま夢ファンド登録団体助成金事業</b>〔市民協働推進課〕〈市民活動・地域活動〉 公益的活動に賛同する市民の皆様や企業等の寄附により、NPO 法人が活動を行う上で課題となる活動資金に関し支援。 (協働の相手方：あらかじめ審査の上、団体登録を行ったNPO 法人)</p>
<p><b>NPO 組織基盤強化ワークショップ事業</b>〔市民協働推進課〕〈市民活動・地域活動〉 こちらの事業の詳細については、本編 34 ページをご参照ください。</p>
<p><b>横浜市市民協働推進センター運営事業</b>〔市民協働推進課〕〈市民活動・地域活動〉 こちらの事業の詳細については、本編 35 ページをご参照ください。</p>
<p><b>人権啓発ポスターの作成</b>〔人権課〕〈人権・男女共同参画〉 ポスター掲出により、広く市民に人権尊重の精神を視覚的に訴えること、また、デザインの作成を通じて、学生に人権の大切さを学ぶ機会や、作品発表の機会を提供することを目的として事業を実施。 政策局共創推進課の共創フロント事業を通してエントリーいただいた学校が、人権啓発事業の一環として人権啓発ポスターを作成。作成したポスターは、市内の小・中学校、各区役所、公共施設、市営地下鉄駅構内、市内企業に配付し掲示依頼。 (協働の相手方：学校法人 岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校)</p>

## 【にぎわいスポーツ文化局】

<p><b>地域文化サポート事業</b>〔文化振興課〕〈文化・スポーツ・生涯学習の振興〉 地域課題の解決にアプローチするために文化芸術の持つ創造性をコミュニティやまちの活性化と結びつける活動や、横浜の個性ある文化芸術を市内外へ発信する活動を広く公募し支援。 (協働の相手方：営利を目的としない文化芸術活動を行う団体、市民団体、NPO 又はこれに準ずる任意団体)</p>
--

## 【経済局】

<p><b>スタートアップ成長支援業務</b>〔イノベーション推進課〕〈経済活動の活性化・消費生活〉 こちらの事業の詳細については、本編 36 ページをご参照ください。</p>
<p><b>創業・スタートアップ支援情報発信事業</b>〔イノベーション推進課〕〈経済活動の活性化・消費生活〉 こちらの事業の詳細については、本編 37 ページをご参照ください。</p>
<p><b>スタートアップ社会実装推進事業</b>〔イノベーション推進課〕〈経済活動の活性化・消費生活〉 こちらの事業の詳細については、本編 38 ページをご参照ください。</p>
<p><b>イノベーション人材育成事業</b>〔イノベーション推進課〕〈経済活動の活性化・消費生活〉 こちらの事業の詳細については、本編 39 ページをご参照ください。</p>

<p><b>横浜市イノベーション人材交流促進業務委託</b>          [イノベーション推進課] &lt;経済活動の活性化・消費生活&gt;          こちらの事業の詳細については、本編 40 ページをご参照ください。</p>
<p><b>横浜市中企業人材確保支援事業</b> [ものづくり支援課] &lt;経済活動の活性化・消費生活&gt;          こちらの事業の詳細については、本編 41 ページをご参照ください。</p>
<p><b>ニューノーマル社会における商店街活性化促進プロジェクト事業</b>          [商業振興課] &lt;経済活動の活性化・消費生活&gt;          こちらの事業の詳細については、本編 42 ページをご参照ください。</p>
<p><b>技能職振興事業</b> [雇用労働課] &lt;経済活動の活性化・消費生活&gt;          技能職振興活動の一環として、技能披露や技能体験等のものづくりの素晴らしさを伝えるイベントを開催し、市民の皆様へのPRを協働で進めた。          ・よこはま技能まつり ・横浜マイスターまつり          (協働の相手方：横浜市技能職団体連絡協議会、横浜マイスター会)</p>

## 【こども青少年局】

<p><b>青少年の地域活動拠点づくり事業</b> [青少年育成課] &lt;子ども・青少年の健全育成&gt;          中・高校生世代を中心とした青少年が安心して気軽に集い、仲間や多世代との交流、社会参加プログラム等の体験活動を行う「青少年の地域活動拠点」を実施し、青少年の成長を支援。          (協働の相手方：青少年の地域活動拠点運営団体)</p>
<p><b>青少年関係団体活動補助事業</b> [青少年育成課] &lt;子ども・青少年の健全育成&gt;          (1)横浜市保護司会協議会が行う、青少年の非行防止活動や保護育成活動等への補助を行った。          (2)市内の青少年団体が行う青少年健全育成活動の効果的推進と充実のため、補助を行った。          (協働の相手方：(1)横浜市保護司会協議会、(2)青少年団体)</p>
<p><b>地域ユースプラザ事業</b> [青少年相談センター] &lt;保健・医療・福祉&gt;          地域において不登校・ひきこもり状態などにある青少年を支援していく「地域ユースプラザ」を設置・運営。          (協働の相手方：地域ユースプラザ事業の運営法人)</p>
<p><b>プレイパーク支援事業</b> [放課後児童育成課] &lt;子ども・青少年の健全育成&gt;          公園等の一部を活用し、子どもの創造力を生かした自由な遊びを行っているプレイパークの活動を支援。          (協働の相手方：各プレイパークの運営を支援しているNPO法人)</p>
<p><b>親と子のつどいの広場事業</b> [地域子育て支援課] &lt;子ども・青少年の健全育成&gt;          就学前の子どもとその保護者が気軽につどい、交流するスペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供を行う等、子育て中の親子をサポートする市民活動団体等を支援することで、保護者の育児にかかる負担を軽減し、子どもの健やかな育ちを促進。          (協働の相手方：法人又は任意団体)</p>
<p><b>地域子育て支援拠点事業</b> [地域子育て支援課] &lt;子ども・青少年の健全育成&gt;          こちらの事業の詳細については、本編 43 ページをご参照ください。</p>
<p><b>生活リスクを抱える女性のための総合相談支援事業</b> [こどもの権利擁護課] &lt;人権・男女共同参画&gt;          こちらの事業の詳細については、本編 44 ページをご参照ください。</p>

## 【健康福祉局】

<p><b>地域福祉保健計画推進事業</b>〔福祉保健課〕〈保健・医療・福祉〉</p> <p>誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、住民、事業者、支援機関が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進めることを目的として、市計画を策定・推進するとともに区計画・地区別計画の策定・推進を支援。</p> <p>(協働の相手方：地域住民、自治会町内会、民生委員児童委員、ボランティア団体、市民活動団体、特定非営利活動法人、公益法人、企業、社会福祉協議会等)</p>
<p><b>横浜市孤立予防対策事業</b>〔福祉保健課〕〈保健・医療・福祉〉</p> <p>日常業務で個人宅に訪問するサービスを提供する事業者に協力を依頼し、訪問時に異変を感じたときに、警察・消防や各区役所へ通報していただく「緩やかな見守り」を実施。</p> <p>(協働の相手方：民間事業者)</p>
<p><b>生活あんしんサポート事業</b>〔高齢在宅支援課〕〈保健・医療・福祉〉</p> <p>高齢者等が在宅で安心して暮らし続けられるよう、横浜市と、掃除や買い物などの生活支援サービスを提供する民間事業者が協定を締結。横浜市は高齢者に対し事業者の情報提供を、事業者はサービスを提供する際、利用者に異変などがあった場合に緊急連絡先に連絡するなどの見守りを行う協働事業を実施。</p> <p>(協働の相手方：介護事業者等)</p>
<p><b>横浜市ことぶき協働スペース事業</b>〔生活支援課〕〈保健・医療・福祉〉</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 45 ページをご参照ください。</p>
<p><b>介護保険総合案内パンフレット及び介護サービス事業者リストの作成</b>〔介護保険課〕</p> <p style="text-align: right;">〈保健・医療・福祉〉</p> <p>横浜市の介護保険パンフレットを企画提案募集で選定された事業者と協働で作成。</p> <p>(協働の相手方：企画提案募集資料に基づき、協働で介護保険パンフレットの作成を行える企業等)</p>
<p><b>よこはまウォーキングポイント事業</b>〔健康推進課〕〈保健・医療・福祉〉</p> <p>こちらの事業の詳細については、本編 46 ページをご参照ください。</p>
<p><b>禁煙支援薬局</b>〔健康推進課〕〈保健・医療・福祉〉</p> <p>禁煙を希望する市民がより気軽に相談できるように、横浜市と一般社団法人横浜市薬剤師会が協働し、市内の禁煙支援薬局で、薬剤師による無料禁煙相談を実施。禁煙方法の助言、禁煙補助剤の使用法や禁煙治療を実施している医療機関の紹介等を行った。</p> <p>(協働の相手方：一般社団法人横浜市薬剤師会)</p>
<p><b>よこはま健康応援団事業</b>〔健康推進課〕〈保健・医療・福祉〉</p> <p>「よこはま健康応援団」参加の飲食店等が、健康メニューの提供や栄養成分表示等の実施を通して、横浜市と協働して市民の健康づくりを推進した。</p> <p>(協働の相手方：横浜市内の飲食店等)</p>
<p><b>市民の健康づくり推進事業</b>〔健康推進課〕〈保健・医療・福祉〉</p> <p>協定を締結する民間事業者や大学等と連携し、市民の健康づくりや市内事業所の健康経営の推進につながる取組を実施した。</p> <p>(協働の相手方：企業、大学等)</p>
<p><b>食育推進事業</b>〔健康推進課〕〈保健・医療・福祉〉</p> <p>国立大学法人お茶の水女子大学と食環境づくりに資する研究に関する連携協定を締結し、横浜市第3期食育推進計画の策定と食環境づくりの推進に向けた検討を進めた。</p> <p>(協働の相手方：国立大学法人お茶の水女子大学)</p>
<p><b>食環境づくりにおけるモデル事業</b>〔健康推進課〕〈保健・医療・福祉〉</p> <p>相鉄ローゼン株式会社と連携協定を締結し、「ハマの元気ごはん弁当」の販売を通じ、自然に健康になれる食環境づくりに向けた取組を推進した。</p> <p>(協働の相手方：相鉄ローゼン株式会社)</p>

## 【医療局】

### パリ公立病院連合との MOU 締結〔救急・災害医療課〕〈保健・医療・福祉〉

横浜市立大学との連携のもと、フランスのパリ公立病院連合(AP-HP)との間に覚書を締結し、臨床・研究・教育に関する協力関係を構築。本覚書に基づき、横浜市・横浜市立大学それぞれの立場から、救急医療をはじめとした医療分野の連携や交流などを推進。

(協働の相手方：横浜市立大学)

### こどもホスピス（在宅療養児等生活支援施設）支援事業〔地域医療課〕〈保健・医療・福祉〉

「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」の、運営法人への市有地の無償貸付、運営費の一部補助と関係機関や地域との調整などの支援を実施。

(協働の相手方：認定NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト)

## 【みどり環境局】

### 環境教育出前講座「生物多様性で YES!」〔環境活動事業課〕〈環境の保全〉

生物多様性の損失や地球温暖化といった環境問題への理解を深めるため、市内の小中学校や地域の皆様を対象に、市民団体・企業・国際機関・市役所など専門知識を持った講師が講義を実施した。

(協働の相手方：企業、NPO、市内小中学校、自治会・町内会等)

### こども『エコ活。』大作戦!〔環境活動事業課〕〈環境の保全〉

夏に小学生が環境行動に取り組み、日常生活の中の身近な行動から環境問題を考える事業。チェックシートには、横浜 DeNA ベイスターズの選手に登場してもらった。小学生の取組を応援する市内企業から集まった協賛金は、国連WFP 協会を通じて海外の環境保全活動に寄付された。

(協働の相手方：横浜商工会議所、国連WFP 協会、株式会社横浜 DeNA ベイスターズ、市立小学校)

### はじめよう!横浜でエシカル消費プレゼントキャンペーン〔環境活動事業課〕〈環境の保全〉

環境や社会に配慮した商品を選んで買う「エシカル消費」を推奨するため、企業から環境に配慮した商品を提供していただき、SNS を活用したプレゼントキャンペーンを実施した。

(協働の相手方：商品提供をさせていただいた企業)

### 生物多様性に係る普及啓発の取組〔環境活動事業課〕〈環境の保全〉

生物多様性への理解、環境に優しい行動の促進を図るため「生物多様性に係る普及啓発協定」を締結。F・マリノススポーツクラブと共に、生物多様性についての情報発信・コミュニケーションを推進していくと共に、子どもたちをメインターゲットに、マリノスケとともに楽しく分かりやすい普及啓発を展開。

(協働の相手方：一般社団法人F・マリノススポーツクラブ)

### 地域緑のまちづくり事業〔環境活動事業課〕〈環境の保全〉

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯などさまざまな街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民と協働で進めた。

(協働の相手方：地域緑化計画を定め市と協定書を締結した団体。なお団体とは、町内会、商店街、店舗、企業などを構成員として本事業のために新たに設立されたものである。)

### よこはま森の楽校〔環境活動事業課〕〈環境の保全〉

大学からの事業提案に基づき、キャンパス等を利用し「森の楽しみづくり」をテーマに、市民が森に関わるきっかけとなる環境学習を盛り込んだ講座を実施した。

(協働の相手方：協定書を締結した大学)

### 森を育む人材の育成事業①〔環境活動事業課〕〈環境の保全〉

市内で森づくり活動を行うボランティア団体や市民の森愛護会等の活動を支援するために、アドバイザー派遣、ニューズレター発行による情報提供、森づくり体験会・個人ボランティアの派遣等を行った。

(協働の相手方：横浜市協働による森づくり要綱により活動承認を受けている団体、市民の森愛護会及びふれあいの樹林愛護会)

### 森を育む人材の育成事業②〔環境活動支援センター、環境活動事業課〕〈環境の保全〉

市内で活動するボランティア団体や市民の森愛護会等が行う森づくり活動に対して助成金の交付や研修の実施等により、樹林地の維持管理を行う人材の育成及び活動支援を行った。

(協働の相手方：横浜市協働による森づくり要綱により活動承認を受けている団体、市民の森愛護会及びふれあいの樹林愛護会)

<p><b>子ども「いきいき」生き物調査</b>〔環境科学研究所〕＜環境の保全＞</p> <p>市民に地域の自然や生き物への関心を高めてもらうとともに、生物多様性保全に資する基礎データを取得することを目的としている。過去 1 年間に家や学校の近くで見つけたり鳴き声を聞いたりした生き物について、丸をつけてもらうアンケート調査を実施。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：横浜市内の小学 5 年生）</p>
<p><b>公園愛護会活動等支援事業</b>〔環境活動事業課〕＜環境の保全＞</p> <p>公園の周辺の自治会町内会や老人会、子ども会等がメンバーとなり、「公園愛護会」を組織し、身近な公園の清掃・除草等を行っている。横浜市はその活動に対し、花壇づくり、堆肥置き場づくり等の技術支援、清掃道具や愛護会の腕章、看板等の物品支援や謝金の交付を実施。また、子どもの創造力を生かした自由な遊びができるプレイパークの開催を支援し、物品の貸出しや、安全講習などを実施。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：公園愛護会、プレイパーク活動団体）</p>
<p><b>市民や企業と連携した地産地消の展開事業、身近に農を感じる地産地消の推進事業</b>〔農業振興課〕 ＜環境の保全＞</p> <p>地産地消に取り組む個人や団体の活動に対して、横浜農場（※）PR 物品の貸出しや各種奨励・補助金の交付等による支援を行った。</p> <p>※食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など横浜らしい農業全体を一つの農場に見立てた言葉。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：地産地消につながる活動をされている方、地産地消・農業・食育等の活動を行う団体に所属している方や、生産者、栄養士、飲食店関係者、流通関係者、企業等で地産地消に取り組んでいる方等）</p>
<p><b>地域防犯活動及び公園緑地施設の損傷等による事故の未然防止に関する取組</b> 〔公園緑地維持課〕＜防犯・地域安全活動＞</p> <p>横浜市管理地における犯罪と、公園緑地施設の損傷等による事故の未然防止を図り、市民生活の安心感を高めることを目的に、建設関係の 4 協会と協働し、地域防犯活動や損傷箇所の報告を実施。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：一般社団法人 神奈川県測量設計業協会横浜支部、横浜市補償コンサルタント協会、一般社団法人 横浜市建設コンサルタント協会、一般社団法人 横浜市地質調査業協会）</p>

## 【下水道河川局】

<p><b>地域防犯活動及び下水道施設・河川施設の損傷等による事故の未然防止に関する取組</b> 〔技術監理課・河川企画課〕＜防犯・地域安全活動＞</p> <p>横浜市管理地における犯罪と、下水道施設・河川施設の損傷等による事故の未然防止を図り、市民生活の安心感を高めることを目的に、建設関係の 4 協会と協働し、地域防犯活動や損傷箇所の報告を実施。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：一般社団法人 神奈川県測量設計業協会横浜支部、横浜市補償コンサルタント協会、一般社団法人 横浜市建設コンサルタント協会、一般社団法人 横浜市地質調査業協会）</p>
<p><b>水辺愛護会活動支援</b>〔河川企画課〕＜環境の保全＞</p> <p>河川、水辺愛護意識の醸成を図り、地域の水辺環境を良好に保つことで市民が快適に水辺とふれあい親しむことができるよう、清掃・除草及びその他の自主的活動を支援。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：河川施設に関し営利を目的としない自主的なボランティア活動を行う、地域住民、自治会・町内会、商店会、学校、企業等に所属する 5 名以上の団体）</p>
<p><b>梅田川水辺の楽校プロジェクト</b>〔河川企画課〕＜環境の保全＞</p> <p>一級河川梅田川を国土交通省「水辺の楽校プロジェクト」に登録し、自然環境あふれる水辺をつくり、流域の自然と体験・学習を通じて子どもたちの健やかな成長を支え育むことを目的に、市民ボランティアが中心となり、行政、学校と協働で推進。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：梅田川水辺の楽校協議会に参画する自治会、各種愛護会、自主活動グループ、学校関係者）</p>
<p><b>川づくりコーディネーター制度</b>〔河川企画課〕＜環境の保全＞</p> <p>市民協働による河川環境改善を展開するため、川づくりを希望する市民に対して、専門家の派遣や資材の支給などの支援を実施。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：地域住民、自治会・町内会、商店会、学校、企業等に所属する 5 名以上の団体）</p>

## 【資源循環局】

### 食品ロス削減・プラスチック対策プロモーション協働事業〔3R推進課〕〈環境の保全〉

こちらの事業の詳細については、本編 47 ページをご参照ください。

### 小型家電リサイクル事業〔業務課〕〈環境の保全〉

平成 25 年に施行された小型家電リサイクル法に基づき、小型家電の回収、リサイクルを市施設 62 箇所の回収拠点に加え、15 店舗の大型スーパー・ホームセンターに専用の回収ボックスを設置し小型家電の回収、リサイクルを進めた。

(協働の相手方: イオンリテール株式会社、株式会社イトーヨーカ堂、ユニー株式会社、株式会社島忠、DM 株式会社)

## 【建築局】

### 総合的な空家等対策の推進〔住宅政策課〕〈まちづくりの推進〉

第 2 期横浜市空家等対策計画に基づき、空家化の予防、流通・活用の促進、管理不全の防止、空家除却後の跡地活用を取組の柱として、関係区局、地域住民、専門家団体等と連携して対策を進めた。

(協働の相手方: 専門家団体)

### 空家等対策に関する地域活用支援〔住宅政策課〕〈まちづくりの推進〉

こちらの事業の詳細については、本編 48 ページをご参照ください。

### 横浜市マンション管理組合サポートセンター事業〔住宅再生課〕〈まちづくりの推進〉

こちらの事業の詳細については、本編 49 ページをご参照ください。

### 地域の皆さまと連携した違反の未然防止〔違反对策課〕〈防犯・地域安全活動〉

違反建築物は地域の住環境や安全性を脅かすことがあるため、地域の皆さまと連携して、工事現場や電柱にルール順守を促す啓発看板等を設置することにより、違反の未然防止の啓発に取り組んでいる。

(協働の相手方: 地域のまちづくり委員会や自治会)

## 【都市整備局】

### 地域まちづくり支援制度〔地域まちづくり課〕〈まちづくりの推進〉

市民発意のまちづくりを推進するため、地域における組織づくり、プラン・ルールづくり等のまちづくり活動に対して、まちづくりコーディネーター（専門家）の派遣や活動費の助成、身近なハード整備に対する助成を行った。

(協働の相手方: 横浜市地域まちづくり推進条例に基づき登録した「地域まちづくりグループ」、同条例に基づき認定を受けた「地域まちづくり組織」又は建築協定運営委員会)

### ヨコハマ市民まち普請事業〔地域まちづくり課〕〈まちづくりの推進〉

こちらの事業の詳細については、本編 50 ページをご参照ください。

### 郊外住宅地における公民連携によるまちづくりの推進〔地域まちづくり課〕〈まちづくりの推進〉

京急沿線の横浜市南部地域（富岡・能見台圏）において、将来を見据えた沿線地域の魅力向上に向けたまちづくりに協働して取り組み、令和 3 年度に地域の方々と共にまとめた「みんなの富岡・能見台丘と緑のまちづくり IMAGE BOOK」に基づき複数の地域創発リーディングプロジェクトを引き続き推進するとともに、まちづくり懇談会等を実施した。

(協働の相手方: 京浜急行電鉄株式会社)

### まちの不燃化推進事業〔防災まちづくり推進課〕〈まちづくりの推進〉

防災上課題のある密集住宅市街地において、市民による防災計画づくりを支援するとともに、狭あい道路拡幅・公園整備等の手法を活用し、市民と協働して災害に強いまちづくりを図る事業を実施。

(協働の相手方: 横浜市地域まちづくり推進条例に基づき登録した「地域まちづくりグループ」、同条例に基づき認定を受けた「地域まちづくり組織」)

※対象地域…鶴見区、神奈川区、西区、南区、中区、磯子区、金沢区の各一部)

**横浜市交通政策推進協議会モビリティマネジメント推進部会**〔都市交通課〕〈まちづくりの推進〉  
高齢社会対応・環境負荷低減に向けて、横浜市の既存の公共交通を将来にわたって維持し、利用しやすいものにするため、過度なマイカー利用からモビリティマネジメントなどにより公共交通の適切な利用へ転換させる取組について議論します。

(協働の相手方：市民委員 ※本部会の活動に関心のある個人又は団体)

**地域交通サポート事業**〔都市交通課〕〈まちづくりの推進〉

生活に密着した地域交通の導入に向け、地域の主体的な取組がスムーズに進むよう、地域の取組に対して様々な支援を行う。

(協働の相手方：・地域まちづくり条例に基づくグループ登録を行うこと

・活動対象地域全ての自治会・町内会からの活動に対する承諾を得ること  
等の要件を満たす団体)

## 【道路局】

**ハマロード・サポーター事業**〔管理課〕〈まちづくりの推進〉

町内会、企業、学校等の地域団体が、身近な道路を守り育てていくことを目的に道路の清掃や美化活動等のボランティア活動を行い、横浜市はごみ処分や清掃用具の提供等を支援。

(協働の相手方：活動人数が概ね 10 名以上で活動範囲が概ね 100m以上であること等を満たす団体)

**地域防犯活動及び道路施設の損傷等による事故の未然防止に関する取組**

〔建設課〕〈防犯・地域安全活動〉

横浜市管理地における犯罪と道路施設の損傷等による事故の未然防止を図り、市民生活の安心感を高めることを目的に、道路局と建設関係の 4 協会が協働し、地域防犯活動や損傷箇所の報告を実施。

(協働の相手方：一般社団法人 神奈川県測量設計業協会横浜支部、横浜市補償コンサルタント協会、

一般社団法人 横浜市建設コンサルタント協会、一般社団法人 横浜市地質調査業協会)

**横浜市広域シェアサイクル事業社会実験**〔道路政策推進課〕〈まちづくりの推進〉

地域の移動手段としての自転車の役割の拡大等を見据え、横浜市広域でのシェアサイクル事業社会実験の協働事業者としてOpenStreet株式会社(他連携事業者 4 社)及び株式会社ドコモ・バイクシェアと令和 4 年 6 月 10 日に協定を締結し、社会実験を実施。

(協働の相手方：OpenStreet株式会社(他連携事業者 4 社)、株式会社ドコモ・バイクシェア)

## 【港湾局】

**みなとみどりサポーター**〔賑わい振興課〕〈環境の保全〉

市民が横浜港に一層の愛着を持てるよう、港湾緑地の定期的な清掃活動等を実施し、横浜市と市民との協働による「みなと横浜らしい水辺の魅力づくり」を推進。

(協働の相手方：一定の条件※を満たす認定を受けた団体(※水辺の魅力づくりにつながる自主的なボランティア活動を行う団体等))

**山下公園海底清掃大作戦事業**〔水域管理課〕〈環境の保全〉

ボランティアダイバーが山下公園前面の海底清掃を行い、海洋環境保全の意識啓発を図る活動を支援。

(協働の相手方：山下公園海底清掃大作戦実行委員会(海をつくる会))

## 【水道局】

**道志水源林ボランティア事業**〔広報課〕〈環境の保全〉

横浜市の水源である道志川が流れる道志村の森林のうち、人手不足等で管理が行き届かない民有林の水源かん養機能を向上させる保全活動(間伐作業等)を実施した市民ボランティア団体を支援するため、「横浜市水のふるさと道志の森基金」から活動経費の一部を助成。

(協働の相手方：一定の条件※を満たす市民ボランティア団体(※1回あたり 10 人以上参加する保全活動を年 2 回以上実施する等))

(活動地域：山梨県南都留郡道志村の民有林のうち、水源林管理所が指定する場所)

<p><b>水源エコプロジェクト W-eco・p (ウィコップ)</b>〔広報課〕＜環境の保全＞</p> <p>水道局が山梨県道志村に所有する水源林（公有林）の整備を、協定締結先の企業や団体からいただいたご寄附（原則3年間3ヘクタール以上の水源林整備に係る費用（30万円/ヘクタール））により進めるとともに、企業・団体及び水道局双方で水源林保全の大切さをPRする取組。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：協定を締結した企業・団体）</p>
<p><b>横浜市水道局広報サポーター事業者登録制度</b>〔広報課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>水道事業に係る広報活動に関し、自ら協力を希望する事業者を横浜市水道局広報サポーター事業者として登録する制度。水道事業に係る広報物の掲出、水道局主催イベントでの協働による水道事業のPRなどを実施。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：①本社又は事務所が横浜市内にある事業者、 ②水道局及び水道事業への広報協力計画を有している事業者）</p>
<p><b>大学連携による水道事業啓発事業</b>〔広報課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>水道局と大学が連携・協力し、双方の持つ知的、人的、物的資源を有効活用することにより、人材の育成、学術研究の向上、地域への還元及び水道事業全体の発展に貢献することを目指した取組。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：協定を締結した大学）</p>

## 【教育委員会事務局】

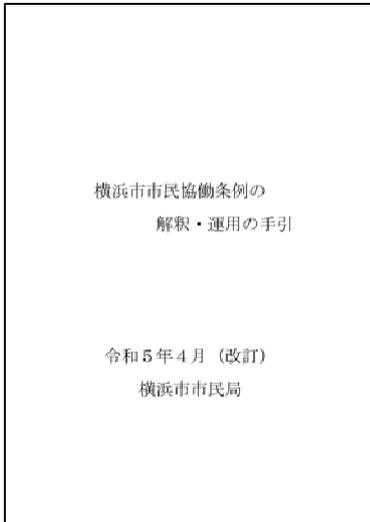
<p><b>はまっ子未来カンパニープロジェクト</b>〔小中学校企画課〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>子どもたちの地域貢献や社会参画意識の形成に向けた学習の方策を検討するため、地域経済団体、教育・学校関係者、学識経験者からなる「はまっ子未来カンパニープロジェクト推進委員会」を設置し、学校と企業等の外部機関の連携のもと、子どもたちが自分たちで社会課題を解決する実践学習を行った。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：横浜市内で公益的な活動を行う NPO 法人、特別民間法人、任意団体、民間企業、学識経験者）</p>
<p><b>親の交流の場づくり事業</b>〔学校支援・地域連携課〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>親子で参加する「体験活動」や、子育てについて学ぶ「講演会」「学習会」など、市立学校に在籍する保護者同士や保護者と地域住民の交流につながるきっかけづくりとなる事業を、運営委員会への委託により実施。多くの親子、地域住民が参加し交流できる事業（イベントなど）を実施した。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：学校、保護者及び地域の方から構成される運営委員会）</p>
<p><b>地域学校協働活動事業</b>〔学校支援・地域連携課〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校、家庭、地域が連携・協働し、社会全体の教育力の向上に向けた取組の一層の推進を図ることを目的に、地域学校協働本部等への委託により実施。学習支援活動や学びによるまちづくり、学校周辺環境整備など、学校や地域の実情に応じて活動を行う。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：地域住民や保護者等で構成する地域学校協働本部等）</p>
<p><b>歴史散策・歴史ウォーク</b>〔中央図書館サービス課〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>区民の地元理解を深めるための近隣史跡探訪。各所で横浜シティガイド協会講師がガイダンス、司書による郷土資料紹介実施。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：横浜シティガイド協会）</p>
<p><b>うみそらブックふえす</b>〔中央図書館サービス課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞</p> <p>横浜子どもホスピス（金沢区）が主催する地域交流イベントに、移動図書館はまかぜ号が特別運行。司書によるおはなし会を実施し、地域の子どもの読書活動を支援。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：NPO 法人横浜子どもホスピスプロジェクト）</p>
<p><b>西菅田団地ブックフェスティバル</b>〔中央図書館サービス課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞</p> <p>西菅田団地（神奈川区）及びその周辺地域の住民の読書活動推進と交流のため、移動図書館はまかぜ号が特別運行。そのほか、神奈川図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせ、神奈川区民文化センターによる参加型音楽劇、古本市などを開催。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：にこまちアートプロジェクト実行委員会）</p>
<p><b>つるみ子育て・個育ちフォーラム in やこう</b>〔中央図書館サービス課〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>矢向地区センター及び矢向地域ケアプラザを会場に、移動図書館はまかぜ号が特別運行。そのほか、乳幼児から思春期までの子どもとその保護者及び関係者が参加し、体験型イベント、絵本の読み聞かせ、子育て相談を実施。</p> <p style="text-align: right;">（協働の相手方：つるみ子育て・個育ちフォーラム運営委員会）</p>

<p><b>ミヤコタナゴ保護育成事業</b>〔生涯学習文化財課〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞</p> <p>国指定天然記念物ミヤコタナゴの減少を防ぐため、生息環境の調査、ミヤコタナゴの生存調査等により、生息環境保全を実施した。また、天然記念物の保護に対する理解促進につなげるため、普及啓発にも取り組んだ。</p> <p>(協働の相手方：特定非営利活動法人茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会)</p>
<p><b>読書活動推進（広報物配布・おはなし会）</b>〔鶴見図書館〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>高校生の委員会活動に関する広報物の寄贈を受け、市民への配布を行った。また、高校生によるおはなし会を開催した。</p> <p>(協働の相手方：鶴見高等学校)</p>
<p><b>読書活動推進（講座）</b>〔神奈川図書館〕＜子ども・青少年の健全育成＞健全育成＞</p> <p>わらべうたと絵本の講座を開催した。</p> <p>(協働の相手方：かなぶつく)</p>
<p><b>読書活動推進（講演会）</b>〔港南図書館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞</p> <p>地域の歴史に関する講演会等を開催。</p> <p>(協働の相手方：港南歴史協議会)</p>
<p><b>図書館の環境整備</b>〔港南図書館〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>庭の手入れ、鉢植えの水やり等。</p> <p>(協働の相手方：グリーンボランティア)</p>
<p><b>「リプラまつり」での紙芝居読み聞かせイベント</b>〔保土ヶ谷図書館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞</p> <p>JR保土ヶ谷駅東口の近くにある複合施設「リプラ保土ヶ谷」の開業一周年記念イベント「リプラまつり」で、地域の読書活動の担い手である「ほどがやえかたりーべ」が、保土ヶ谷区の昔話や伝説を題材にしたオリジナルの紙芝居3点、保土ヶ谷図書館所蔵の紙芝居2点を代わるがわるの口演した。</p> <p>(協働の相手方：横浜市住宅供給公社、ほどがやえかたりーべ)</p>
<p><b>保土ヶ谷図書館で保土ヶ谷宿について知ろう！</b>〔保土ヶ谷図書館〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>保土ヶ谷図書館の会議室に往時の宿場を再現したジオラマや浮世絵のタペストリー等と併せ、市立図書館の関連図書を展示した。さらに期間中の1日のみ、地域のボランティアによる宿場の歴史を題材にした紙芝居の読み聞かせや、展示物のガイドツアーを実施した。</p> <p>(協働の相手方：K I K C A F E 学生部、まちづくり協議会、保土ヶ谷ガイドの会)</p>
<p><b>星天<sup>クレイ</sup>qlayでおはなし会</b>〔保土ヶ谷図書館〕＜まちづくりの推進＞</p> <p>相鉄本線星川駅－天王町駅間の高架下施設「星天qlay」で今年初めて開催されたイベント「星天qlay フェス」で、地域の読書活動の担い手である「ばばーの会」が子ども連れの来場者向けにわらべうたや絵本の読み聞かせを行った。</p> <p>(協働の相手方：株式会社相鉄ビルマネジメント、YADOKARI株式会社、ばばーの会)</p>
<p><b>お外<sup>そと</sup>で紙芝居</b>〔保土ヶ谷図書館〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>JR保土ヶ谷駅西口周辺で4年ぶりに開催されたイベント「保土ヶ谷宿場まつり」で、地域で活動しているボランティア「K I K C A F E 学生部」が子ども連れの来場者向けに紙芝居の読み聞かせを行った。</p> <p>(協働の相手方：K I K C A F E 学生部)</p>
<p><b>図書館の環境整備</b>〔旭図書館、栄図書館〕＜市民活動・地域活動＞</p> <p>生け花作品の展示、庭の手入れ、屋上庭園の一般公開等。</p> <p>(協働の相手方：あさひ茶花道協会、グリーンボランティアほか)</p>
<p><b>読書活動推進（講演会）</b>〔南図書館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞</p> <p>区内の児童書専門書店と共に、絵本や児童書の著者を招いて講演会を実施。</p> <p>(協働の相手方：子どもの本&amp;クーパーチップ)</p>
<p><b>作ってみよう紙芝居</b>〔南図書館〕＜子ども・青少年の健全育成＞</p> <p>自分で創作した物語を紙芝居として手づくりし、参加者の前で上演し合った。</p> <p>(協働の相手方：かみしばい・いっぽ)</p>
<p><b>おはなしフェスティバル</b>〔南図書館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞</p> <p>ボランティア団体による紙芝居と朗読の実演、および子どもの本と紙芝居についての講演会を実施。</p> <p>(協働の相手方：市民グループ「子どもと本」)</p>

<p><b>読書活動推進（講演会）</b>〔南図書館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ 図書館で活動する読書グループが、講師を招いて読書講演会を実施。 (協働の相手方：本と対話を楽しむ・南)</p>
<p><b>読書活動推進（企画展示）</b>〔磯子図書館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ 磯子図書館での企画展示を実施(年2回程度)。 (協働の相手方：いそご図書館サポーターズクラブほびっと)</p>
<p><b>読書活動推進（読書会）</b>〔磯子図書館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ 継続的に読書会を実施(年7回程度)。 (協働の相手方：いそご図書館ブックサロン)</p>
<p><b>読書活動推進（上映会・講演会・図書展示）</b>〔港北図書館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ 郷土に関する映像の上映会、医療講演会、図書のテーマ展示を実施。 (協働の相手方：港北図書館友の会)</p>
<p><b>読書活動推進（講演会）</b>〔港北図書館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ 子どもの読書に関する講演会を実施。 (協働の相手方：港北文庫のつどい)</p>
<p><b>読書活動推進（パネル展示・講演会）</b>〔港北図書館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ パネル展示・講演会等を実施。 (協働の相手方：日吉台地下壕保存の会)</p>
<p><b>青葉おはなしフェスティバル</b>〔山内図書館〕＜子ども・青少年の健全育成＞ 毎年秋に山内地区センターで行われる、地域のボランティア団体による親子向けの人形劇、紙芝居、語り、パネルシアター等の催し。 (協働の相手方：青葉おはなしフェスティバル実行委員会)</p>
<p><b>「Dボックス」の設置</b>〔山内図書館〕＜まちづくりの推進＞ だれもが暮らしやすいまちづくりの一環として、認知症への理解を深めるための資料「Dボックス」を集めたコーナーを設置。 (協働の相手方：やさしい街あざみ野実行委員会)</p>
<p><b>図書館deマルシェ・よりみちHIROBA</b>〔山内図書館〕＜市民活動・地域活動＞ 地域の産品を販売する移動販売車と連携して図書館前で「図書館deマルシェ」を開催。あわせて、高齢者の健康増進や住民同士のつながりづくりを進める市民グループの協力で多様なワークショップを開催。 (協働の相手方：萬駄屋、やさしい街あざみ野実行委員会)</p>
<p><b>認知症サポーター養成講座</b>〔山内図書館〕＜保健・医療・福祉＞ 認知症への理解を深めるため、市民グループと協力して認知症サポーター養成講座を開催。 (協働の相手方：やさしい街あざみ野実行委員会)</p>
<p><b>読書活動推進（講演会・会議）</b>〔都筑図書館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ 講演会等のイベントを実施、意見交換等のための会議の実施。 (協働の相手方：都筑図書館から未来を描く協働の会)</p>
<p><b>おはなし会の実施</b>〔市立図書館全館〕＜子ども・青少年の健全育成＞ 各種のおはなし会（乳幼児向け、子ども向け、大人向けなど）を実施。 (協働の相手方：おはなし・にこっと、かながわこどもひろば、虹の部屋 ほか)</p>
<p><b>図書修理</b>〔市立図書館 15 館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ 破損した図書館資料の修理。一部の館ではボランティア・市民向けの修理講座等を開催。 (協働の相手方：各図書館図書修理ボランティアほか)</p>
<p><b>書架整理</b>〔市立図書館 12 館〕＜文化・スポーツ・生涯学習の振興＞ 図書館の書架を、見やすいようにs整える書架整理を実施。 (協働の相手方：各図書館書架整理ボランティアほか)</p>

## 協働推進に関する資料

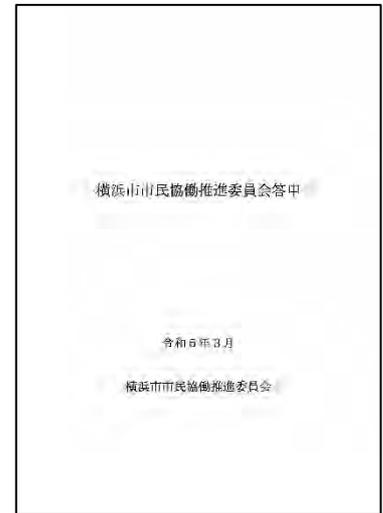
### 横浜市市民協働条例の 解釈・運用の手引き



### 協働推進の基本指針



### 横浜市市民協働条例の 施行状況の検討報告書

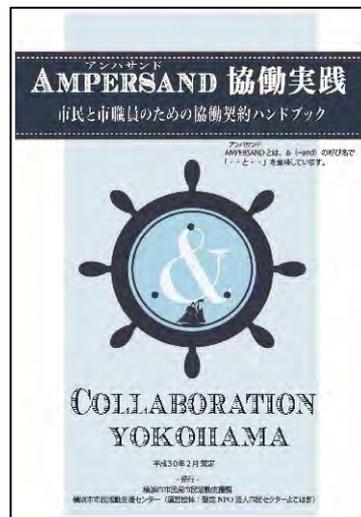


### Let's 協働入門



### AMPERSAND 協働実践

### -市民と市職員のための 協働契約ハンドブック-



■各資料は横浜市ホームページにて公開しています。

上記3冊については、以下のサイトをご参照ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/kyodo/jourei/>

下記2冊については、以下のサイトをご参照ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/kyodo/kyodokeiyaku/>